

公益財団法人 豊郷病院 年報

vol.24

2024

(令和6年度版)



日本医療機能評価機構
機能評価認定病院



公益財団法人 豊郷病院

年報発刊によせて

公益財団法人 豊郷病院
業務執行理事 病院長

難波江 正浩



令和6（2024）年度から病院長に就任致しました難波江正浩です。この1年はこれまでの法人100年の歴史の中でもとりわけ苦難の年でありました。前の4年余り入院・手術症例数が減少して病院の元気がなくなってきたところに、看護を中心とした職員の離職が進み更に運営が厳しくなってきました。

理事会においては、2025年1月に種村榮二・法人統括本部長が業務執行理事を退任して理事・顧問に、また3月には川村喜三郎・薬剤医療技術本部長が退職されるとともに理事を退任して評議員に、菅原幸一・介護事業部長が評議員を退任して理事に就任されました。

診療部では前年度に比べると、循環器内科・呼吸器内科医が1名ずつ減りましたが、しばらく欠員の続いていた回復期リハビリテーションセンターの専任医に若林正人先生が入職され、健康推進室長・健診センター長に泌尿器科部長の前田航規先生が就任されました。そして6月から私のほかにもう1名整形外科医長として宮武秀匡先生が赴任されました。マンパワーは十分とは言えませんが各先生方が精一杯業務に取り組んでくれています。これは診療部だけに限ったことではなく法人内の全職種にも言えることで、人が有り余っている部署などはなく限られた人員配置の下、皆全力で職務を全うしてくれています。こうした全職員の献身的な働きこそが豊郷病院が100年続いてきた所以であると思っています。

さて、日本国内に目を向けると2024年元日に発生した能登半島地震の被害が残るところへ、9月に再び能登半島豪雨が襲いかかりました。古くからヤオヨロズの神に畏怖の念を抱いてきた私たち日本人としては、この能登地域・石川県への自然の猛威が神様の仕打ちであるとするならば神がなぜこのように激しく怒っているのか今一度これまでの行いを顧みる機会を与えられているのではないかとも思いました。その後年が明けて5月、日本の神事である大相撲の世界では、初土俵からわずか2年で史上最速と言われる若き横綱が誕生しました。神の依り代である横綱がまさに当の石川県から輩出されたという快挙は単なる偶然とは思えず、荒ぶる神の怒りが鎮められたと捉えることができるのかも知れません。私自身は当院の設立者・伊藤長兵衛翁のように深く仏教の教えに帰依する者でもなく、一時期はキリスト教の幼稚園や学校に通ったりしたこともある典型的な日本の無宗教者と言えるかも知れません。しかし心の底には八百万の神を畏れ敬う気持ちをなんとなく持っているように感じます。

当院のみならず全国の病院が経営難に直面している状況ではありますが、公益財団法人豊郷病院がこれから100年も地域医療のために存続し貢献し続けることができるよう、創設の理念に帰って奉仕の精神を忘れず地域の皆様に支えられながら全職員で力を合わせて地道に謙虚に努力を重ねて参ります。

2025（令和7）年6月

目 次

年報発刊によせて 業務執行理事・病院長 難波江 正浩

公益財団法人 豊郷病院 基本理念

□ 法人の部

1 法人沿革	1
2 法人概要	3
3 施設認定・施設指定	4
4 施設基準	5
5 法人組織図	7
6 病院組織図	8
7 法人会議・委員会組織図	9
8 介護施設組織図	10
9 病院概要図	11
10 法人役員名簿	12
11 法人管理者組織名簿	13
12 法人部門別職員数	14
13 法人活動内容	15
14 公益財団法人 豊郷病院長期事業計画・中期計画	17
15 2025年度 経営方針	19
16 地域交流TQM活動	20
17 人権教育研修	21

I 医療事業の部

〈診療部門〉医師理念

1 診療部事業経過	23
2 各科の事業・業績報告	24
循環器内科	24
呼吸器内科・呼吸器外科	24
消化器内科	25
内科（糖尿病）	25
外科・消化器外科	26
泌尿器科	26
整形外科	27
脳神経外科	28
眼科	28
耳鼻咽喉科	29
小児科	30
皮膚科	30
婦人科	30
脳神経内科	30
精神科	31
歯科口腔外科	32
麻酔科	33
リハビリテーション科	33
放射線科	36
機能別病棟	39
臨床検査科	40
医療安全室	43
感染管理室	44
血液浄化センター	45
内視鏡センター	45
健診センター	46
認知症疾患医療センター	47
回復期リハビリテーションセンター	48
在宅療養サポートセンター(とよサポ)	49
3 愛知・犬上医師連絡会	50
4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル	51
5 全職員研修会	52

6	災害総合避難訓練	53
7	ボランティア活動	53
8	院内（外）地域交流活動	54
9	実習生受入状況	55
10	受賞・表彰関係	58
11	各種委員会報告	59

〈薬剤部門・医療技術部門〉 薬剤部理念

1	薬剤部事業報告	73
2	医療技術部事業報告	74
	栄養科	74
	放射線科	76
	臨床検査科	76
	臨床工学科	76

〈看護部門〉 看護部理念

1	看護部組織系統図	79
2	看護部運営委員会組織図	80
3	看護サービス提供組織図	81
4	看護部 単位別目標及び評価	82
5	各種委員会	94
6	看護教育委員会事業報告書	99
7	看護院内研究発表会	101

〈地域連携室部門・医療福祉相談室部門〉 医療福祉相談室理念

1	地域連携室事業報告	105
2	医療福祉相談室事業報告	108

〈事務部門・診療情報管理室部門・各種統計資料〉 事務部理念

1	事務部・診療情報管理室事業報告	113
2	各種統計資料	117

II 介護事業の部 パストラールとよさと きらら・ゆうゆう けやき・らくらく 経営理念

1	介護事業・各事業所業績	135
2	介護事業・各事業所別事業報告	136
	訪問リハビリテーション・イルとよさと	136
	訪問看護ステーション・レインボウとよさと・サテライトはたしょう・ひこね	137
	介護老人保健施設・パストラールとよさと	141
	居宅介護支援センター・マックスとよさと・ひこね	146
	彦根市デイサービスセンター きらら	148
	彦根市グループホーム ゆうゆう	151
	彦根市地域包括支援センター きらら	154
	甲良町デイサービスセンター けやき	158
	甲良町グループホーム らくらく	160
	認知症初期支援チーム オレンジファイブ	161

III 教育研究事業の部

臨床精神医学研究所報告	165
-------------	-----

基本理念

豊かな郷で心と体の健康を 家族のように

1. 郷土愛と博愛の創立精神に基づき、地域の医療・保健・福祉を支える。
2. 医学の進歩に同調し、わかりやすく信頼される医療を行う。
3. 温もりと心をこめたサービスで、快適な療養環境を築く。
4. 患者さまの権利を尊重し人権をまもる。
5. 職員の労働環境に配慮し、効率よい安定した病院経営を行う。



公益財団法人 豊郷病院



法 人 の 部

2024（令和6）年の世界経済全体では景気回復がみられ特に米国の堅調、欧州持ち直し、中国は不動産停滞から足踏み状態となっている。又、日本は昨年から回復基調で賃上げと相まってデフレ脱却になってきました。医療業界は、コロナ禍以降流動変化と物価高騰をもろに受け6割以上の病院が赤字決算となり病院協会をはじめ各団体が厚労省に窮状を訴え、又同時に人口減少から効率化や地域に合った体制にするために現在の病床の削減を行う方針が示され目標7,000床に対し54,000床の申請がつたことから現在の状況が反映されております。

2024年度の診療報酬・介護報酬の改定は職員の処遇改善やベースアップが主な内容で、法人では新年度から3カ年計画を策定しスタートしましたが、特に看護師の流動化と不足から特に病床稼働率の低下と更に、経費と原材料費増となりました。

医療事業については4月から新病院長が就任、整形外科は3名体制になり手術対応も増加しましたが、看護師不足等で低調に推移致しました。また、病棟別では回復リハ病棟のみが満床推移しましたが、他の病棟は人員不足から大きな打撃を受けました。一方、働き方改革の一環で土曜外来診療を第1、3のみとしましたが、大きなえいきょうを受けず前年並となりました。一方看護師の採用面においてはネット業界をはじめあらゆるルートからの呼び込みを行っており、また新規開拓の学校訪問も継続してまいります。その成果は今後出てくるものと思われます。尚、業績について収入はまずまずの推移をしましたが、後半から職員不足が影響し、また支出面の原材料・経費増から厳しい内容となりました。更に補助金収入が大きく減少しました。

一方、介護事業では訪問看護レインボウとよさとでは機能強化型3の取得、重症度の算定、緊急対応体制を算定し増収となりましたが、ひこねが利用者増とならず、苦戦しました。一方、パストラールとよさとでは超強化型が安定し、前年比+5.2%増となりましたが、経費の値上げ、光熱費の上昇に悩まされました。一方、デイサービス事業は、他社の施設と同様きらら、けやき共に総じて苦戦しております。

1 法人沿革

大正14年(1925)	4月27日	内務大臣の許可を得て、九代目伊藤長兵衛翁(1868～1941)の寄付により、財団法人 豊郷病院設立
15年(1926)	7月 6日	本館竣工 病床18床、内科・外科・耳鼻咽喉科・X線科開設
昭和 9年(1934)	10月 5日	産婦人科新設
16年(1941)	11月19日	高松宮殿下 御成
	12月10日	創立者 伊藤長兵衛翁逝去
17年(1942)	3月 1日	眼科新設
27年(1952)	2月20日	呼吸器科新設 病床80床となるように
	12月 1日	整形外科新設
	12月19日	豊郷村外11ヶ町村伝染病院組合立の伝染病床併設
28年(1953)	4月 1日	歯科新設
29年(1954)	1月29日	准看護婦養成所開設
32年(1957)	4月 1日	精神科・神経科新設 許可病床290床となる
33年(1958)	10月 1日	総合病院の指定
40年(1965)	5月31日	診療棟、病舎、鉄筋コンクリート3階建てに改築 許可病床372床となる
42年(1967)	3月 1日	救急病院の指定
	8月30日	精神科病棟3階建増築
45年(1970)	3月 1日	医療相談室開設
46年(1971)	11月30日	病棟、外来診療棟、リハビリ及び管理棟増築
47年(1972)	2月 1日	血液センター豊郷出張所開設
	11月 1日	脳神経外科新設
50年(1975)	5月20日	豊郷町外7ヶ市町伝染病組合立の伝染病棟改築15床
60年(1985)	11月20日	病院創立60周年(60年史刊行)
62年(1987)	7月 1日	肛門科新設
	7月 6日	泌尿器科新設
63年(1988)	11月 1日	財団法人豊郷病院総合近代化工事着工
平成 2年(1990)	7月 1日	一般病棟30床増床 総394床
3年(1991)	8月 1日	准看護婦養成所から准看護学院に変更
7年(1995)	6月 1日	認知症疾患医療センターならびに認知症外来開設
8年(1996)	3月25日	第7代理事長 成宮秀男就任
	6月 1日	老人保健施設パストラールとよさと開設(法人70周年記念事業)
9年(1997)	12月 5日	訪問看護ステーションレインボウとよさと開設
11年(1999)	4月 1日	皮膚科新設
	11月 1日	医療相談室から医療福祉相談室に名称変更
	12月 1日	訪問看護ステーションレインボウはたしょう開設
12年(2000)	4月 1日	介護保険制度発足
		寄付行為の目的を「医療事業と介護事業」に改定
		同時に各サービス事業開設
		居宅介護支援センターマックスとよさと開設
		ヘルパーステーションピンポンとよさと開設
	7月 1日	精神科 デイケア開始
	10月 1日	小児科新設
13年(2001)	5月 1日	訪問リハビリテーションアイルとよさと開設
14年(2002)	2月12日	彦根市デイサービスセンターきらら、グループホームゆうゆう、在宅介護支援センター開設
	10月 1日	近代化建築事業・3病棟新館開所

15年(2003)	3月10日	甲良町デイサービスセンターけやき、グループホームらくらく開設
	4月 1日	療養病棟開設 32床
	7月 1日	血液浄化センター開設 18床、地域連携室開設
16年(2004)	8月 1日	訪問看護ステーション レインボウとよさと サテライトひこね開設
		居宅介護支援センター レインボウひこね開設
	9月 1日	歯科口腔外科新設
	12月 8日	診療情報管理室設置
17年(2005)	11月 1日	訪問看護ステーション レインボウひこね開設
	12月 2日	言語療法室開設
18年(2006)	9月25日	日本医療機能評価認定(ver4)
20年(2008)	1月 1日	医療安全室開設
	4月 1日	麻酔科開設
	8月 1日	亜急性期病床開設
22年(2010)	4月 1日	豊郷病院附属臨床精神医学研究所設立
	5月 1日	精神療養病棟開設
23年(2011)	3月31日	事業目的を「医療事業・介護事業・教育研究事業」に改定
	9月25日	日本医療機能評価認定(ver6)
24年(2012)	4月 1日	公益財団法人豊郷病院認可・彦根市地域包括支援センターから開設
	5月 1日	回復期リハビリテーション病棟開所(30床)
	7月 1日	第8代 代表理事 佐藤公彦就任
25年(2013)	10月 1日	居宅介護支援センター マックスひこね開設
26年(2014)	3月 1日	びわこメディカルネットワーク事業参入
	9月 1日	一般病棟のうち地域包括ケア病棟(51床) 承認開設
	11月28日	第9代 代表理事 友吉唯夫就任
27年(2015)	12月10日	創立90周年式典・創業者75回忌法要
28年(2016)	3月19日	地域交流第1回 TQM 発表会
	4月 1日	認知症初期集中支援チーム“オレンジファイブ” 及び在宅療養サポートセンター“とよサポ”発足
29年(2017)	2月25日	地域交流第2回 TQM 発表会
	3月 3日	日本医療機能評価機構認定3回目(3rdG:ver.1.1.)
	5月 1日	電子診療録(電子カルテ)導入
30年(2018)	5月24日	地域交流第3回 TQM 発表会
	6月22日	第10代 代表理事 佐藤公彦就任
	8月 1日	第10代 理事・病院長 横田徹就任
31年(2019)	3月19日	地域交流第4回 TQM 発表会
令和元年(2019)	5月 1日	新元号「令和」
	7月 1日	療養病棟(32床)を地域包括ケア病棟へ
2年(2020)	2月20日	地域交流第5回 TQM 発表会
	4月 7日	「新型コロナ緊急事態宣言」
4年(2022)	9月28日	COVID-19 病棟整備(1-3病棟9床転換)
	11月 4日	日本医療機能評価認定4回目
5年(2023)	6月23日	第11代 代表理事 川上賢三就任
6年(2024)	3月13日	第6回 TQM 発表会
	4月 1日	第11代 理事・病院長 難波江正浩就任
7年(2025)	3月12日	第7回 TQM 発表会

2025年4月現在

2 法人概要

〈法人の事業目的〉

1. 医療事業 2. 介護事業 3. 教育研究事業

医療事業 日本医療機能評価機構認定病院 4回目認定 (2022.11.4)

〈病床数〉

一般病棟	186床	(内 一般病床、地域包括ケア病床51床、回復期リハビリテーション病床30床)
療養病棟	32床	(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
精神病棟	120床	(精神科急性期治療病床60床、精神療養病床60床)
計	338床	

〈診療科目〉 内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科	認知症疾患医療センター オアシス
呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科	内視鏡センター
脳神経外科・眼科・泌尿器科	血液浄化センター
耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科	健診センター
小児科・婦人科・皮膚科	在宅療養サポートセンターとよさぽ
精神科・心療内科・脳神経内科	
リハビリテーション科・放射線科	

介護事業

〈施設指定・事業所及び利用定員〉

1. 豊郷病院/居宅療養管理指導 在宅
2. 訪問看護ステーション レインボウとよさと 在宅
3. 訪問看護サテライト レインボウはたしょう 在宅
4. 訪問看護ステーション レインボウひこね 在宅
5. 訪問リハビリテーション アイルとよさと 在宅
6. 介護老人保健施設 パストラールとよさと 入所100床
7. 短期入所療養介護 パストラールとよさと (内4床)
8. 通所リハビリテーション パストラールとよさと 定員20人/日
9. 彦根市デイサービスセンター きらら 定員40人/日
10. 彦根市グループホーム ゆうゆう 利用者9床
11. 彦根市地域包括支援センター きらら 支援センター(要支援)
12. 甲良町デイサービスセンター けやき 定員25人/日
13. 甲良町グループホーム らくらく 利用者9床
14. 居宅介護支援センター マックスとよさと 支援センター(要介護)
15. 居宅介護支援センター マックスひこね 支援センター(要介護)
16. 認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ 在宅

教育研究事業

臨床精神医学研究所
准看護学院…2022(令和4)年4月～休校

(2025年4月現在)

3 施設認定・施設指定

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）
日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST稼働認定施設
日本手外科学会手外科専門医制度研修施設

施設指定

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関
救急告示病院
精神保護及び精神障害者福祉に関する法律に基づく指定病院
認知症疾患医療センター
指定自立支援医療機関（更生医療）
指定自立支援医療機関（育成医療）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
難病医療費助成指定医療機関
小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
臨床研修病院（協力型臨床研修病院）

その他

滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
滋賀医療技術専門学校実習病院
滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科専門医関連施設

(2025年4月現在)

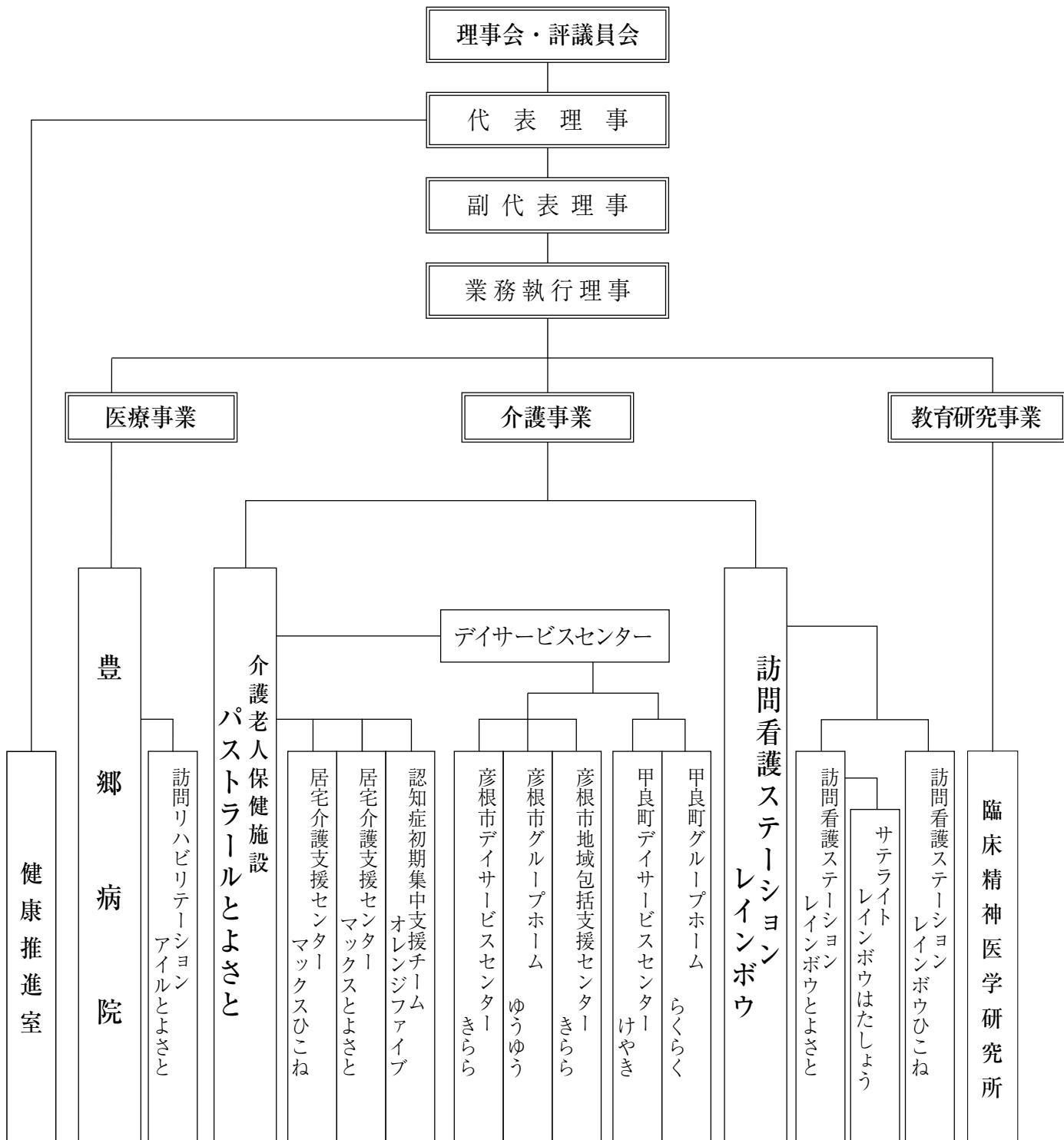
4 施設基準

受理届出名称	受理記号	受理番号	算定開始年月日
初診料（歯科）の注1に掲げる基準	歯 初 診	第 1 5 号	平 成30年 4月 1日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	病 初 診	第 2 5 号	令 和 6年 9月 1日
歯科外来診療医療安全対策加算2	外 安 全 2	第183号	令 和 6年11月 1日
歯科外来診療感染対策加算3	外 感 染 3	第183号	令 和 6年11月 1日
一般病棟入院基本料	一 般 入 院	第795号	令 和 6年10月 1日
救急医療管理加算	救 急 医 療	第 3 号	令 和 2年 4月 1日
診療録管理体制加算2	診 療 錄 2	第 1 号	平 成26年 4月 1日
医師事務作業補助体制加算1	事 补 1	第10号	令 和 2年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	急 性 看 补	第11号	令 和 4年10月 1日
看護配置加算	看 配	第632号	令 和 7年 4月 1日
看護補助加算	看 补	第754号	平 成22年 5月 1日
療養環境加算	療	第93号	平 成26年 9月 1日
重症者等療養環境特別加算	重	第74号	平 成14年10月 1日
精神科身体合併症管理加算	精 合 併 加 算	第 7 号	平 成20年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	栄 養 チ	第26号	平 成31年 1月 1日
医療安全対策加算1	医 療 安 全 1	第17号	平 成30年 4月 1日
感染対策向上加算2	感 染 対 策 2	第22号	令 和 6年10月 1日
患者サポート体制充実加算	患 サ ポ ⁺	第11号	平 成24年 4月 1日
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	精 救 急 受 入	第 2 号	平 成24年 6月 1日
後発医薬品使用体制加算1	後 発 使 1	第48号	令 和 4年 4月 1日
データ提出加算	デ ー タ 提	第23号	平 成31年 4月 1日
入退院支援加算	入 退 支	第21号	令 和 6年10月 1日
認知症ケア加算	認 ケ ア	第39号	平 成31年 3月 1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	せん 妄 ケ ア	第 2 号	令 和 2年 4月 1日
精神疾患診療体制加算	精 疾 診	第 1 号	平 成28年 4月 1日
協力対象施設入所者入院加算	協 力 施 設	第16号	令 和 7年 5月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料2	回 2	第16号	令 和 7年 6月 1日
地域包括ケア病棟入院料2及び地域包括ケア入院医療管理料2	地包ケア2	第 4 号	令 和 6年10月 1日
精神科急性期治療病棟入院料2	精 急 2	第 2 号	平 成30年 1月 1日
精神療養病棟入院料	精 療	第21号	平 成26年 4月 1日
入院時食事療養／生活療養（I）	食	第278号	平 成 2年 7月 1日
がん性疼痛緩和指導管理料	が ん 疼	第85号	平 成29年 8月 1日
二次性骨折予防継続管理料1	二 骨 管 1	第24号	令 和 6年10月 1日
二次性骨折予防継続管理料2	二 骨 繰 2	第25号	令 和 6年10月 1日
二次性骨折予防継続管理料3	二 骨 繰 3	第81号	令 和 6年10月 1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	救 搬 看 体	第 1 号	平 成30年 4月 1日

外来腫瘍化学療法診療料 1	外 化 診 1	第 2 号	令 和 6年10月 1日
連携充実加算	外 化 連	第 1 5 号	令 和 4年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	ニ コ	第 2 4 8 号	令 和 2年 7月 1日
がん治療連携指導料	が ん 指	第 4 5 0 号	平 成28年 6月 1日
こころの連携指導料（Ⅱ）	こ 連 指 Ⅱ	第 4 号	令 和 4年 4月 1日
薬剤管理指導料	薬	第 2 2 号	平 成22年 5月 1日
医療機器安全管理料 1	機 安 1	第 4 号	平 成20年 4月 1日
歯科治療時医療管理料	医 管	第 6 5 号	平 成28年11月 1日
在宅療養後方支援病院	在 後 病	第 7 号	令 和 4年12月 1日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	遠 隔 持 陽	第 3 9 号	令 和 3年 1月 1日
検体検査管理加算（Ⅰ）	検 I	第 5 3 号	平 成20年 4月 1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歩 行	第 1 5 号	平 成25年 3月 1日
CT撮影及びM R I撮影	C · M	第 1 0 9 号	平 成27年 4月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗 悪 処 方	第 1 0 号	平 成22年 4月 1日
外来化学療法加算 1	外 化 1	第 4 0 号	平 成24年 9月 1日
無菌製剤処理料	菌	第 3 1 号	平 成20年 4月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	脳 I	第 2 8 号	平 成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	運 I	第 2 6 号	平 成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	呼 I	第 9 号	平 成24年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	が ん リ ハ	第 2 2 号	平 成29年 8月 1日
精神科作業療法	精	第 8 号	平 成13年 8月 1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	抗 治 療	第 6 号	平 成29年 8月 1日
人工腎臓	人 工 腎 臓	第 1 号	平 成30年 4月 1日
導入期加算 1	導 入 1	第 1 号	平 成30年 4月 1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	透 析 水	第 2 3 号	平 成25年12月 1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	肢 梢	第 1 6 号	平 成28年 4月 1日
歯科技工士連携加算 1 及び光学印象歯科技工士連携加算	歯 技 連 1	第 3 7 号	令 和 6年 6月 1日
CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー	歯 C A D	第 6 2 1 号	令 和 5年 6月 1日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	腎	第 2 7 号	平 成26年11月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	胃 瘰 造	第 8 号	平 成26年 4月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補 管	第 4 9 1 号	平 成12年 4月 1日
看護職員待遇改善評価料 3 4	看 处 遇 3 4	第 2 号	令 和 7年 1月 1日
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	外 在 ベ I	第 3 9 号	令 和 6年 6月 1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	歯外在ベ I	第 8 8 号	令 和 6年 6月 1日
入院ベースアップ評価料 4 1	入 ベ 4 1	第 1 号	令 和 6年 6月 1日
酸素の購入単価	酸 单	第 5 3 7 9 号	令 和 7年 4月 1日

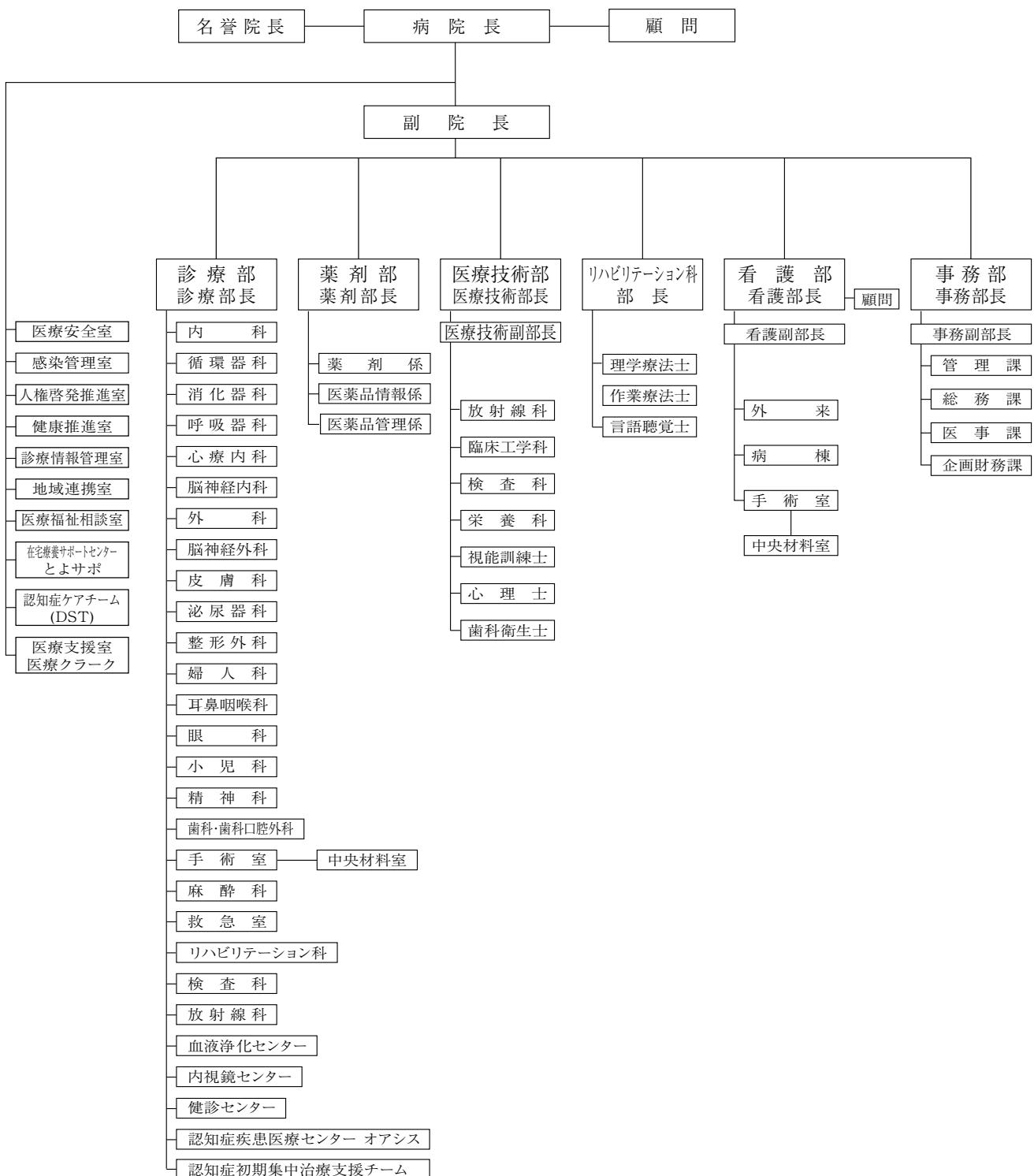
(2025年6月現在)

5 法人組織図



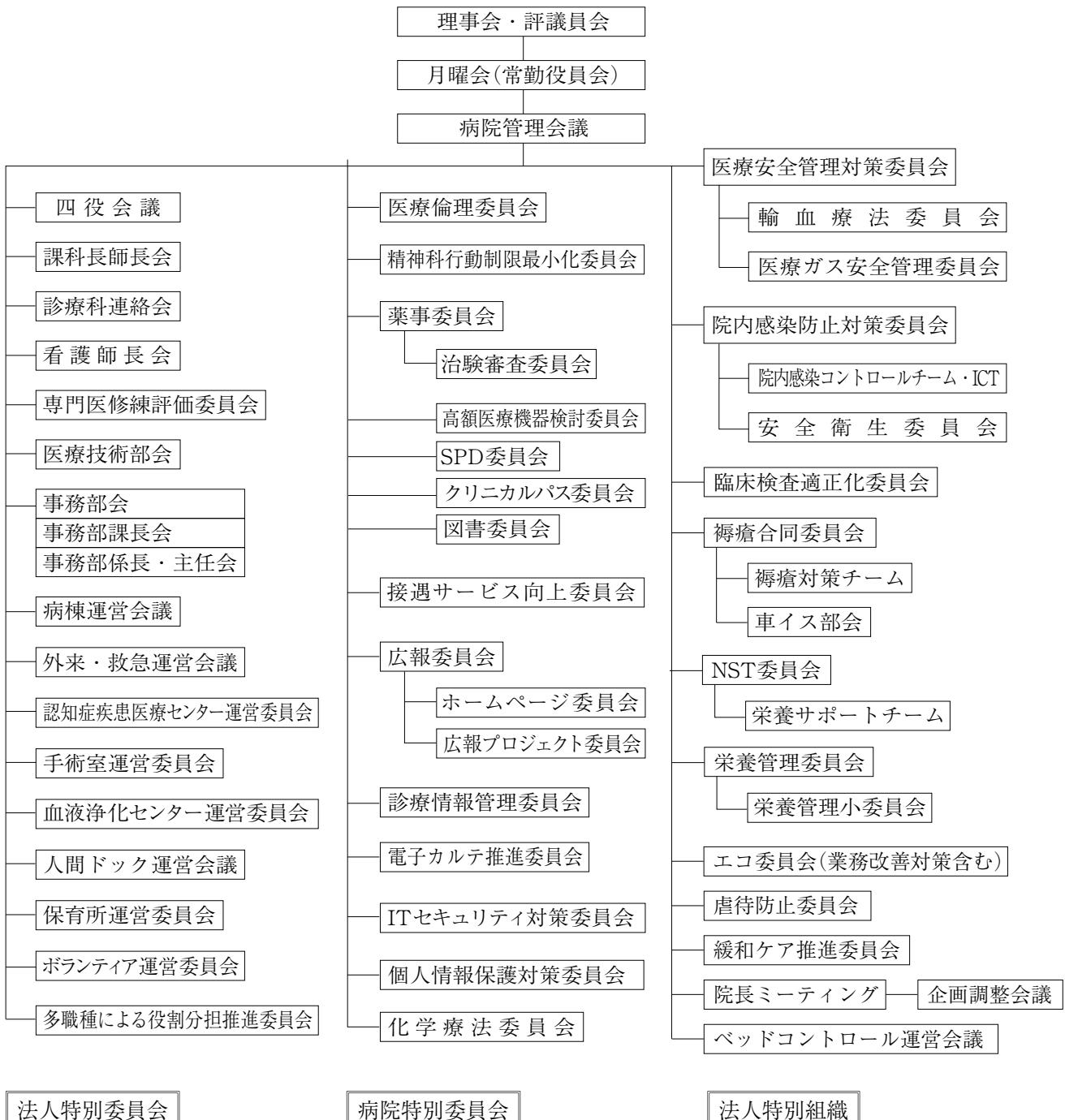
(2025年4月現在)

6 病院組織図



(2025年4月現在)

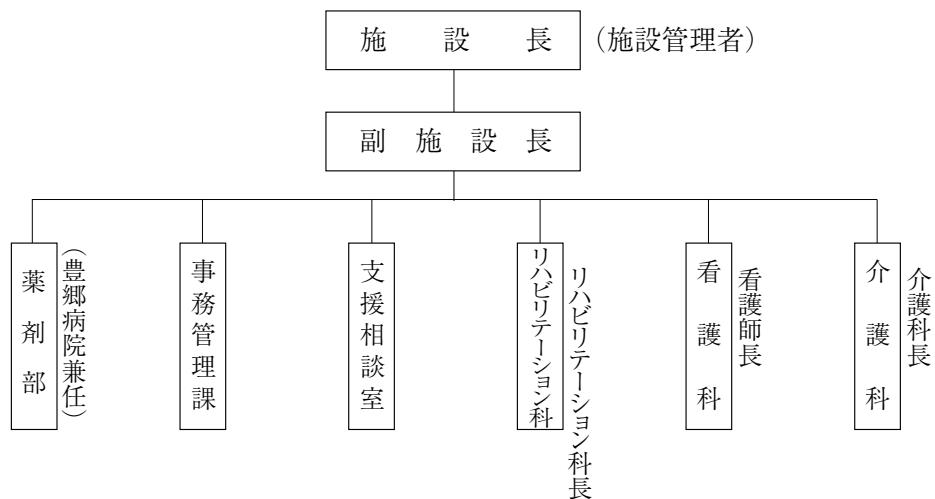
7 法人会議・委員会 組織図



(2025年4月現在)

8 介護施設組織図

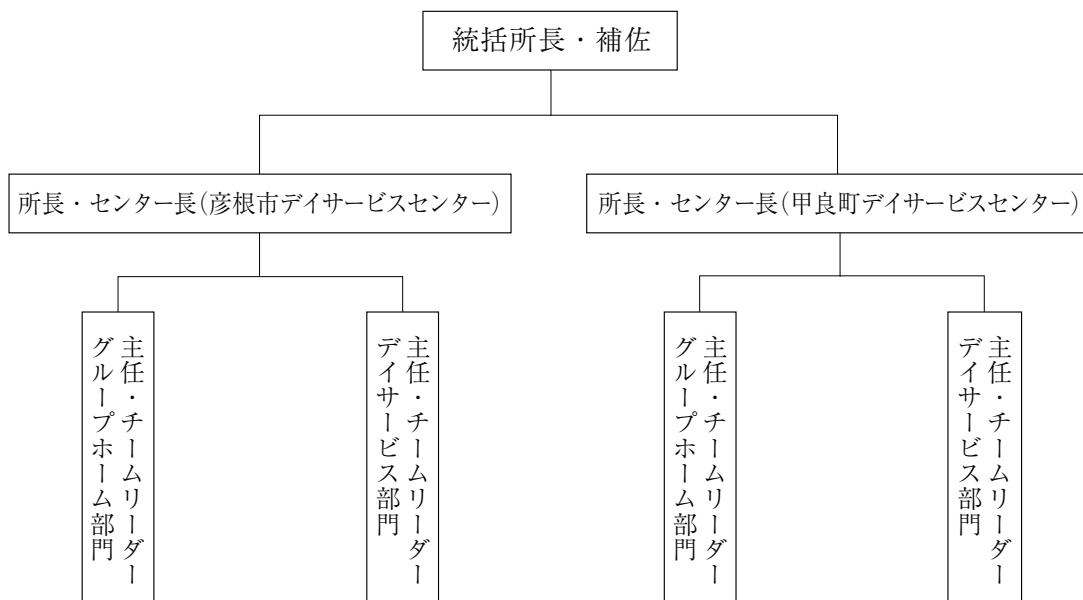
介護老人保健施設 パストラールとよさと 組織図



デイサービスセンター 組織図

彦根市デイサービスセンター きらら
彦根市グループホーム ゆうゆう

甲良町デイサービスセンター けやき
甲良町グループホーム らくらく



(2025年4月現在)

9 病院概要図

病院概要

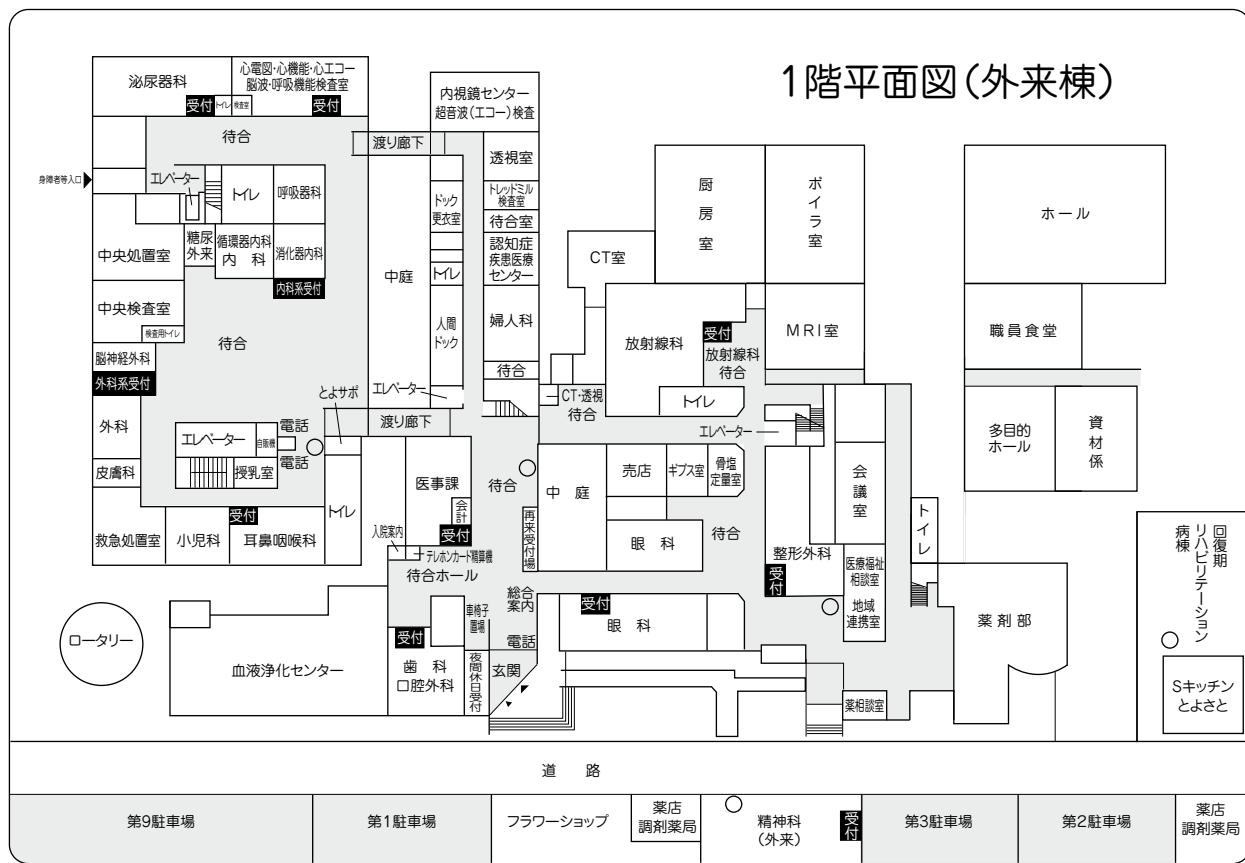
1. 病床数	3. 診療日
一般病床 （ 内 地域包括ケア病床51床 内 回復期リハビリテーション病床30床 ）	平日(月～金)、第1・3土曜日 【受付時間】 平日 午前8時30分～12時
療養病床 （ 地域包括ケア病床・初期認知症対応型 ）	第1・3土曜日 午前8時30分～11時
精神科病床 （ 内 急性期病床60床 内 療養病床 60床 ）	
2. 診療科目	4. その他施設
内科、外科、消化器外科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、歯科・歯科口腔外科、小児科、婦人科、皮膚科、麻酔科、精神科、心療内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科	・総合リハビリテーション施設 ・血液浄化センター ・認知症疾患医療センター オアシス ・内視鏡センター ・健診センター ・在宅療養サポートセンター とよサポ

各階概要 <新館>

屋上	機械棟、コーデネシステム他
6F	精神病棟(急性期)
5F	精神病棟(療養)
4F	一般病棟
3F	一般病棟
2F	一般病棟 (地域包括病床)
1F	脳波・心機能・心電図・心エコー・泌尿器科・循環器内科・消化器内科・内科・呼吸器内科・小児科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・外科・皮膚科・救急外来・脳神経内科

※整形外科・婦人科・眼科・歯科・精神科・認知症疾患
医療センター・アシスの外来及びリハビリテー
ション科・放射線科・手術室は従来通り旧病棟

病院平面図



○→ 意見箱設置場所

10 法人役員名簿

	役 員 名	氏 名	現 職
理 事	代表理事	川上 賢三	
	副代表理事	波床 将材	精神科顧問・臨床精神医学研究所所長
	業務執行理事	難波江 正浩	病院長
	業務執行理事	横田 徹	名誉院長
	理事	佐藤 公彦	名誉院長
	理事	松末 吉隆	滋賀医科大学名誉教授
	理事	上本 伸二	滋賀医科大学長
	理事	川村 宏	事務部長
	理事	菅原 幸一	介護事業部長・老健副施設長
	理事	種村 榮二	顧問
評 議 員	評議員	世一市郎	
	評議員	若山 喜久穂	
	評議員	若林 保幸	
	評議員	川村 喜三郎	
監 事	監事	山本 洋昭	
	監事	西山 憲和	
	監事	藤田 敦	顧問税理士
	監事	伊藤 豊	

(2025年4月現在)

11 法人管理者組織名簿

部署	役職	氏名
診療部 健康推進室	代表理事	川上 賢三
	副代表理事・顧問	波床 将材
	名誉院長	佐藤 公彦
	名誉院長	横田 徹
	院長	難波江 正浩
	顧問	種村 榮二
	病院長特別補佐・副院長	曾我 弘樹
	副院長	阪上 悅司
	副院長	土井 久和
	副院長	井内 武和
	診療部長	曾我 弘樹
	室長	前田 航規
	副院長(消化器内科)	土井 久和
内科	部長(糖尿病内科)	高木 敬文
	部長(循環器内科)	富田 行則
	部長(消化器内科)	門元 優
	代表理事	川上 賢三
呼吸器科	名誉院長	佐藤 公彦
	内科系統括部長・部長	坂下 拓人
	名譽院長	横田 徹
外科	副院長	井内 武和
	病院長特別補佐・副院長	曾我 弘樹
泌尿器科	部長	前田 航規
	医長	田中 翔
皮膚科		(非常勤医師)
脳神経外科		(非常勤医師)
整形外科	院長	難波江 正浩
	部長	宮原 健一郎
	医長	宮武 秀匡
眼科	部長	富田 靖之
	医員	弓削 智子
婦人科		(非常勤医師)
耳鼻咽喉科	部長	大道 千奈津
小児科	部長	三村 由卯
精神科	副代表理事・顧問	波床 将材
	副院長・精神科系統括部長	阪上 悅司
	部長	成田 実
	部長	中江 尊保
	部長	岡村 恭子
	医長	鈴木 伸吾
歯科口腔外科	医長	道場 生基
放射線科	医長	藤居 孝文
検査科	医長	土井 久和
手術室	室長	井内 武和
診療情報管理室	室長	難波江 正浩
内視鏡センター	センター長	門元 優
血液净化センター	センター長	曾我 弘樹
認知症疾患医療センター	センター長	成田 実
臨床精神医学研究所	所長	波床 将材
救急室	室長	高木 敬文
医療安全室	室長・医療安全管理担当医	井内 武和
感染管理室	室長	坂下 拓人
地域包括ケア病棟(3-2)	医長	富田 行則
一般病棟(3-3)	医長	井内 武和
一般病棟(3-4)	医長	坂下 拓人
精神科病棟(3-5)	医長	中江 尊保
精神科病棟(3-6)	医長	阪上 悅司
回復期リハビリテーション病棟(5-2)	センター長	若林 正人
薬剤部	部長	岡田 尚也
	科長	中村 薫

部署	役職	氏名
医療技術部	部長	福本 喜之
	副部長・放射線科技師長	川俣 佳彦
	臨床工学科技士長	北川 香里
	検査科主任	澤田 祐子
	栄養科主任	安西 麻里子
リハビリテーション科	顧問	吉田 環
	部長	山田 知美
	顧問	片山 美穂
	部長	西村 美穂
	回復期リハビリ病棟統括	外川 栄子
看護部	看護副部長兼3病棟2階師長	加藤 郁
	看護副部長兼3病棟3階師長	川口 恵子
	看護副部長兼3病棟5階師長	木村 千江
	在宅療養サポートセンター長	古川 みどり
	在宅療養サポートセンター副長	堀尾 素子
	外来師長	田中 和子
	師長	野田 静
	3病棟4階師長	森田 恵美
	3病棟6階師長	金丸 貴行
	回復期リハビリ病棟師長	山田 彩子
	手術室師長	大辻 和代
	血液浄化センター師長	鉢立 優作
	医療安全室	横田 こず江
	感染管理室	竹内 淑江
医療福祉相談室	相談室・介護事業統括所長	菅原 幸一
	室長	上野 志保
	地域連携室	上野 志保
診療情報管理室	担当課長	山本 保
	医療支援室	山本 保
	顧問	種村 榮二
事務部	部長	川村 宏
	部長補佐	辻 民男
	副部長	宇野 玲子
	副部長兼総務課長	岩佐 武
	企画財務統括	山本 保
	医事課長	岡村 昌彦
	管理課長	豊田 浩史
介護事業部	介護事業部長	菅原 幸一
	訪問看護ステーション	山田 里美
	レインボウとよさと	西川 くるみ
	所長	奥川 喜美枝
	施設長	奥田 和美
介護老人保健施設パストラールとよさと	副施設長	菅原 幸一
	介護事業顧問	山口 康子
	リハビリ科係長	奥村 陽一
	師長	川野 満寿美
	居宅介護支援センター	マックスとよさと
	所長	高田 奈緒
居宅介護支援センター	マックスひこね	
	所長	西野 祐生
彦根市デイサービスセンターきらら	所長	土川 裕人
グループホームゆうゆう	所長	小島 由香里
彦根市地域包括支援センターきらら	所長	上田 康正
デイサービスセンター	センター長	鎌野 亜紀
けやき	所長	林 和弥
グループホームらくらく	所長	山崎 京子
認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ	リーダー	菅原 幸一

(2025年6月現在)

12 法人部門別職員数

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
医療事業				
医局	医師	28		28
	歯科医師	1		1
薬剤部	薬剤師	7		7
	薬剤部事務	1	3	4
看護部	看護師	132	24	156
	准看護師	27	12	39
	ケアワーカー	46	7	53
眼科	視能訓練士	3		3
歯科	歯科衛生士	2		2
	助手		1	1
精神科	公認心理士	1	2	3
放射線科	放射線技師	6	1	7
リハビリテーション科	理学療法士	19		19
	作業療法士	17		17
	言語聴覚士	3		3
	助手	2	1	3
検査科	検査技師	3	1	4
臨床工学科	臨床工学技士	7		7
栄養科	管理栄養士	3		3
医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	7		7
	(うち精神保健福祉士)	(4)		(4)
事務部	事務員	36	6	42
	寮母	1		1
	営繕(工務)	3		3
	運転手		1	1
訪問看護ステーション				
レインボウとよさと	看護師	6	2	8
	作業療法士	1	1	2
	事務員	1		1
サテライト レインボウはたしう	看護師	2	2	4
	事務員		1	1
レインボウひこね	看護師	4	1	5
	理学療法士	1		1
	事務員	1		1
計				437

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
介護事業				
介護老人保健施設パストラール とよさと				
	医師	1		1
	看護師	10	3	13
	准看護師	1	2	3
	介護福祉士	30	1	31
	介護職員	7	5	12
	管理栄養士	3		3
	相談員	4	1	5
	理学療法士	2		2
	作業療法士	3	1	4
	事務員 他	4	3	7
居宅介護支援センター マックスとよさと				
	所長・管理者	1		1
	介護支援専門員 他	2		2
居宅介護支援センター マックスひこね				
	所長・管理者	1		1
	介護支援専門員 他	2		2
彦根市デイサービスセンター きらら				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	6	8	14
彦根市グループホーム ゆうゆう				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	3	2	5
彦根市地域包括支援センター				
	センター長	1		1
	介護支援専門員 他	4		4
甲良町デイサービスセンター けやき				
	センター長	1		1
	所長	1		1
	介護福祉士 他	6	5	11
甲良町グループホーム らくらく				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	5	3	8
計			98	34 135

総職員数：572名

(2025年4月1日現在)

13 法人活動内容

〈病院関係〉

- 2024年 4月 1日 入職式・新病院長難波江正浩医師就任式
 1～3日 新規採用者オリエンテーション
 16日 初期消火避難訓練
 23日 互助会献血
- 5月 9日 看護の日
 15日 互助会美化運動
 28～30日 職員健康診断（対象者のみ）
- 6月 4日 監事監査会
 14日 愛知・犬上医師連絡会
 演題 当院の整形外科診療について
 講師 病院長 難波江正浩医師
 26日 決算役員会（京都）
- 7月 6日 七夕コンサート
 24日 互助会美化運動
- 8月 1日 医療安全研修会
 演題 BLS研修
 21日 地蔵盆
- 9月 1日 個人情報保護対策・ITセキュリティ対策DVD研修
 演題 個人情報の取り扱いと法的責任
 1日 感染対策DVD研修
 演題 発熱診療の実際
 講師 呼吸器科部長 坂下拓人医師
 3日 精神科病院実地指導及び入院者実地審査（県庁健康福祉部）
 12日 医療安全（BLS）実地研修
 13日 愛知・犬上医師連絡会
 演題 アルコール関連問題～依存症から予防まで～
 講師 精神科 有福淳大医師・放射線技師 宮下明彦氏
 30日 医療安全研修会
 演題 患者の虐待の防止と職員のメンタルヘルス
 講師 合同会社Work 岸医師・松崎PSW・中川Ns
- 10月 10日 医療安全（BLS）実地研修
 15日 防火避難総合訓練
 17日 互助会美化運動
- 22～24日 職員健康診断
 31日 病院医療機能評価受審フォーラム
- 11月 1日 医療放射線安全管理DVD研修
 14日 医療安全（BLS）実地研修
 16日 公開セミナー
 9日 演題 骨粗しょう症について
 講師 病院長 難波江正浩医師
 演題 骨粗しょう症と運動
 講師 理学療法士 田中亮祐氏
 演題 丈夫な骨をつくろう
 講師 篠原ひづき

- 9日 演題 骨粗しょう症とくすり
講師 薬剤師 岡田尚也
- 22日 中間決算役員会（京都）
- 12月 9日 医療機関立入検査（彦根保健所）
- 12日 医療安全（BLS）実地研修
- 17日 生活保護法による指定医療機関の個別指導
- 24日 物故者追弔会・報恩講
- 2025年 1月 1日 レインボウとよさと サテライト豊郷病院の開設
- 6日 互札会
- 9日 医療安全（BLS）実地研修
- 31日 医療安全研修会
演題 パワーハラスメント対策を考える
講師 健康推進室長 前田航規医師
- 2月 10日 医療安全研修会
演題 パワーハラスメント対策を考える
講師 健康推進室長 前田航規医師
- 13日 医療安全（BLS）実地研修
- 18日 医療安全研修会
演題 パワーハラスメント対策を考える
講師 健康推進室長 前田航規医師
- 27日 愛知・犬上医師連絡会・新年会（竹平楼）
演題 私が考える救急医療のポイント
講師 滋賀医大脳神経科学講座 教授 塩見直人先生
- 3月 1日 人権DVD研修
演題 映像で学ぶ ジェンダー入門
- 1日 感染対策DVD研修
演題 手指衛生の重要性と血液体液曝露
- 4日 初期消火避難訓練
- 12日 TQM発表会
- 15日 公開セミナー
演題 認知症の人とのつきあい方 2～本人も困ってます
講師 認知症センター長 成田実医師
- 19日 褥瘡対策研修会
演題 排泄のコントロール
講師 皮膚排泄ケア認定看護師 香川愛氏
- 28日 電子カルテ相談会
- 28日 予算役員会（京都）
- 28日 虐待防止研修会
演題 医療者と患者の関係性を考える
講師 健康推進室長 前田航規医師

14 公益財団法人 豊郷病院 長期事業計画

(2018年度～2027年度)

テーマ step to 100

さあ 100周年に向けて!!

〈内容〉 sensibilty（感度）をあげteamwork（協調）して
energy（活力）をつけてperformance（実行）する
感度をあげ協調し活力をつけて実行し100年に向かう

2050年の脱炭素時代に向かって世界は大きく舵を切りSDGsの定着する社会に向けてガソリンからEV、ITやロボット化、デジタル化が更に進みキャッシュレス時代、働き方改革や、人員不足から外国人労働者の導入や高齢者雇用の増加がすすみ、特に2025年（創立100周年）には、全人口の18%が後期高齢者で3割以上が65歳以上となり今迄国を支えた世代が給付を受ける側となり社会保障費の膨張・資金不足・生産労働人口の減少の三重苦に見まわれることになる。

一方、滋賀県では地域別で見ると医療需要の緩やかな減少地域で医療費は全国平均程度でその内、二次医療圏別の湖東地域は人口の減少地域で医療需要が減少することが予測される。そのことから、今後各病棟をどのように機能転換するかが重要なポイントになる必要がある。

また、機能転換後の後方病床は地域の基幹病院の動向に大きく左右される時代になることから、どう特色を出す病棟にしてゆくかが問われることになる。このことから、法人としては更に研鑽し経営の健全化と良質な医療を効率的に提供するため安定した財務体質の法人経営を構築する。

法人は2025年に創立100年となるが、あらためて今日迄、創立精神である「郷土愛と博愛ならびに奉仕の心」で地域の発展と法人の拡大に努力してきたが、この背景となる時代の大きな変化の転換期に医療業界も入ってゆく重要なことと認識すると共に「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念が成長の基本であることを認識し、そして名実共に実践が組織を強くすることから今後も地域の医療・保健・福祉を支えるために医療事業・介護事業・教育研究事業の複合体組織で安定した法人経営を行い地域に貢献し発展させることになる。

また、前期から進めた医療事業では、地域包括ケアシステムにおいては急性期医療から回復期・慢性期の診療と精神医療の急性期・療養期、更には認知症医療も含め、介護事業では18事業の介護サービス事業で通所、訪問、施設、入所や入居施設を運営して、当法人グループ内連携の下で「医療から介護迄を一貫で支援」することを更に強化する。

尚、2020年度は年初から新型コロナウィルス感染症の世界的な流行から医療ならびに介護業界が大きな影響を受け4年間に亘り経営悪化したことから、今後は新しい仕組みを構築し運営する方法に大きく舵を切る経営に進んで行くことが重要となる。

長期計画書

※以下、詳細10項目については、掲載省略

中期計画

(2024年度～2026年度)

「より良い法人にするために」

テーマ “フレッシュ100 トヨサト”

A&A【活気(activity) と 行動(action)】

法人運営

I. 法人の基本方針：より良い法人にするために

2024年から第8次医療計画継続（2029年度迄）、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、障害者総合支援法等の各制度改正と合わせて診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の各改定及び2025年に向けた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」達成のための変革がさらに加速される年となる。

1. 第1目標 基本理念を中心とした原点運動

中期計画は、当院がこの中期3カ年計画中に創立100周年（2025）を迎えることからメインテーマを次の100年にむけて「より良い法人にするために」として当法人の基本理念を中心に置き、理念が成長の礎であり実践が組織を強くすることから各職場での実践型組織を構築する。またあらゆる活動事業や各委員会においても理念に結び付けた運動等（挨拶運動・接遇訓示・TQM活動等）を行うことでまず原点に立ち返ることを目標としたさらなる飛躍のためにフレッシュ100 トヨサトを提示し中期3カ年計画とする。

2. 活性化指針 フレッシュ100 トヨサトについて

当院が持っている“強み・魅力”を十分に発揮することとさらなる取り組み効果を高めてクオリティアップのために“フレッシュ100 トヨサト”と命名して、病院全体での周知徹底を図りA&Aに取り組む。

3. 病院を良くするためのスローガン「フィロソフィー」・・・既発表

- 1) 誰に対しても敬意を持って、丁寧な言葉・態度で対応しよう。
 - 2) 未来を見据え持続する職場環境を構築し職員が誇りを持てる病院にしよう。
 - 3) 職員・家族の健康と幸福が患者さん・地域の幸福につながると理解しよう。
- ～病院は、あなたの力を必要としています～

4. 法人全体の取り組み運動

全職員一丸となりの「みんなの法人・みんなの病院・みんなの介護事業」を目指す。

“フレッシュ100 トヨサト”の骨子

- ① ガバナンス運営の強化
- ② 強み・魅力を活かした基盤作りと経営戦略
- ③ 全職員参画の連携強化
- ④ 質ならびに生産性向上とデータの活用
- ⑤ リスクに対する持続可能なBCPの構築
- ⑥ 働き方改革・DXの導入・健康経営優良法人の取得

※以下詳細説明及び事業部門別・部科（課）別計画書ならびに法人の年間目標額については掲載省略

15 2025年度 経営方針

- | | |
|----------|---------------|
| 1.創立100年 | 新たな挑戦と実践・人材確保 |
| 2.攻めの経営 | 柔軟発想とスピード |
| 3.体質強化 | 改革と業務改善 コスト削減 |

(I) 人材確保・育成・教育・働き方改革の推進・職場の活性化

- ★職員の仕事と生活（ライフワーク）の調和
- ★人材確保、教育、リーダー育成
- ★専門性を活かしたチーム医療の推進
- ★部署責務実行・委員会、会議活動の活性化
- ★健康推進取り組み実践・健康経営優良法人取得
- ★医療安全、感染管理、人権への取り組み

(II) 強み・魅力を活かした経営戦略・質ならびに生産性向上

- ★強み(合併症診療、精神、認知症)を活かした地域包括ケアシステムの構築
- ★診療単価アップ実行・ベットコントロールの徹底に伴う回転率の向上
- ★目標設定に伴う効率化及びP D C Aサイクルの実践に伴う生産性向上
- ★現有体制での最大限の力量発揮
- ★経費削減・省エネ対策・価格交渉の徹底
- ★次年度の病院機能評価更新に向けた質の強化

16 地域交流 TQM 活動

2024年度発表会

当院でのTQM活動は2015年度に始まって以降毎年、職員一丸となり取り組んでまいりました。10年目の2024年度は10チームが参加し、業務改善・医療の質改善のために取り組んでまいりました。

3月12日に各チームが1年間取り組んだ結果を発表しました。

来年度も継続して行い、より良い病院にすべく職員一同邁進してまいります。

日 時：	2025年3月12日（水）17：15～19：00	14：30～会場準備（9-2ホール）
場 所：	9病棟2階ホール	16：50～会場受付
審査員：	委員長 川上代表理事 《他19名》	17：15～開会式
司 会：	岡村昌彦 北川由梨	17：20～審査員の紹介、開会宣言
事務局：	多林晴美 南典宏	17：25～発表会開始
		《発表時間：各チーム入替含む約8分程度》
		19：00 閉会

	開始時間	終了時間	部 署	チーム名	発表形式	発表者数
1	17:25	17:33	リハビリテーション科	リハ科 調査隊	パワーポイント	2名
2	17:33	17:41	訪問看護レインボウとよさと	とよにゃん	パワーポイント	2名
3	17:41	17:49	5-2病棟	5丁目2番地なでしこFamily	パワーポイント	6名
4	17:49	17:57	臨床工学科	#経営コンサルトCE	パワーポイント	8名
5	17:57	18:05	薬剤部	TY (ToyosatoByoin Yakuzaibu)	パワーポイント	1名
6	18:05	18:13	栄養科	そなえ～よう（備・栄・養）	パワーポイント	1名
7	18:20	18:28	看護部長室	ひまわりなでしこ さらに大輪に咲かせ隊	パワーポイント	2名
8	18:28	18:36	甲良町デイサービスセンター らくらく	らくらくファーマー	パワーポイント	5名
9	18:36	18:44	3-6病棟	特捜3-6 危険物調査班	パワーポイント	2名
10	18:44	18:52	パストラールとよさと	パットマイスター 初代更衣王子	パワーポイント	3名

各 賞	部 署	チーム名
代表理事賞	看護部長室	ひまわりなでしこさらに大輪に咲かせ隊
院長賞	5-2病棟	5丁目2番地なでしこFamily
インフルエンサー賞	訪問看護レインボウとよさと	とよにゃん
チームワーク賞	パストラールとよさと	パットマイスター 初代更衣王子
アイディア賞	栄養科	そなえ～よう（備・栄・養）
未来賞	甲良町デイサービスセンターらくらく	らくらくファーマー
努力賞	リハビリテーション科	リハ科 調査隊
エントリー賞	臨床工学科	#経営コンサルトCE
	薬剤部	TY (ToyosatoByoin Yakuzaibu)
	3-6病棟	特捜3-6 危険物調査班

17 人権教育研修

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2024年度 人権啓発活動目標

「誰か」のこと じゃない。違いを認め合い、相手の気持ちを考えよう

活動状況

(1) 開催時期 2024年 4月25日（木）
2024年10月21日（月）

(2) 研修・学習内容

院内 · 新入職員対象人権研修会

2024年4月3日（水） 新入職員24名

DVD研修 SNS時代における外国人の人権 「サラーマット～あなたの言葉で～」

· 2024 豊郷病院人権研修会 参加者530名

DVD研修 「映像で学ぶ ジェンダー入門 ②多様な「性」」

2月中旬から3月末までの間にDVD研修にて実施

· 職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外 · 外部研修会等に参加 事業主、人権担当者

主催 滋賀県

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック 等

I

医療事業の部

2024年度は、中期3年計画「フレッシュ100トヨサト」の初年度がスタートしました。

4月から難波江病院長が就任され整形外科は常勤3名（内1名外来専任）となり入院手術の強化が図られ、午前中から手術を開始し他科手術も効率的に運用が出来ました。しかしながら看護師不足から紹介会社や派遣、応援ナースなどの採用活動を最大限行ってまいりましたが、下期より入院患者数の制限を行いました。職員確保のために働きやすい環境をめざし人材確保と働き方改革の一環として土曜日を第2・4・5休診とし、夏期休暇とあわせたスマイルホリデーの導入で休暇日数を増加させました。また「職員のフィジカル（身体面）とメンタル（精神面）の両面の健康を守る」を目的に健康推進室を設置し、「働きやすい職場作り、離職防止」を主軸に運用を行い、産業医面談と管理者研修を行いました。診療の質の改善において、カルテの記載・記録の改善とデジタル化を推進しiPhoneを用いた音声入力システム（アミボイス）の導入で、業務効率化と負担軽減を行いました。

外来診療においては、第2・4・5土曜休診にしましたが、診療報酬の改定による賃金改善に伴うベースアップ評価料の見直しもあり、平均単価も収入も増加しました。

入院診療においては、急性期患者の受入れのため長期入院患者の退院促進や長期入院につながるよう入院前、入院早期からの退院調整を行いました。また、入院を必要としている看護必要度の高い新規患者・救急搬送患者の受入れ促進も併せて実施しましたが7~8月に回復期リハ病棟のクラスターの発生、また精神科の治療が向上したことから入院期間が短縮、入退院の回転が速くなつたため新規入院患者の獲得が追い付かず、稼働率増に繋がりませんでした。

一般病棟では、2023年度末で循環器医師1名が退職、2024年度途中で呼吸器科医師1名が非常勤医になったことも影響しましたが、診療単価については診療報酬改定のベースアップ評価料や入院基本料の増、更に平均在院日数を短縮しました。下期の2月からは人員配置と夜勤時間数を運用するにあたり、夜勤体制の見直しや入院患者数の受入れの制限を行った影響が響きました。常勤看護職員数の減少で、患者への医療提供と病棟の看護配置から長期入院患者の退院促進と、急性期・回復期の病棟機能を発展させることが重要となります。地域包括ケア病棟の運営では、新規の直接入院患者について今以上に転棟・退院等の調整が必要となります。その為にも看護部と事務部の連携を強化し、データの可視化による分析と、病棟カンファレンスでベッドコントロールの強化を図ります。

〈診 療 部 門〉

医師理念

安価な医療の提供！

患者さまには率直で心をこめて説明！

EBMにいり EBMから出でよ！

基本目標

- 1：的確で迅速な診断、最小限の検査と安全な治療を行う。
- 2：トータルコストは安く、在院日数を短縮し単価は維持する。
- 3：チーム医療を大切にし、お互いの職業理念を尊重する。
- 4：対面診察、説明と同意、診療情報管理を大切にする。
- 5：プライマリー・ケア、ACLSとEBMの基本を身につける。
- 6：患者さまの権利と個人情報の保護は重大な責務と認識する。

1 診療部事業経過

2024（令和6）年度の診療部における医師の異動は次の通りでした。

- 2024/4/1 整形外科 難波江正浩 病院長就任
2024/4/1 外科 横田徹 名誉院長着任
(2024/3/31 回復期リハビリテーションセンター 木築裕彦 センター長兼脳神
経外科部長退職)
2024/4/1 回復期リハビリテーションセンター 若林正人 センター長入職
(2024/3/31 泌尿器科 益田良賢 部長退職)
2024/4/1 泌尿器科 中村真俊 医長入職
2024/4/1 前田航規 泌尿器科部長 健康推進室室長着任（兼任）
2024/4/1 精神科 有福淳大 医員から医長に着任
2024/4/1 眼科 三ツ石智 医員から医長に着任
2024/4/1 呼吸器科 伊部邦宏 部長 常勤医師を退職し非常勤医師に
2024/5/31 循環器内科 川島明代志 部長退職
2024/6/1 整形外科 宮武秀匡 医長入職
2024/12/31 眼科 三ツ石智 医長 常勤医師を退職し非常勤医師に
2025/1/1 眼科 弓削智子 医員入職
2025/3/31 精神科 有福淳大 医長 常勤医師を退職し非常勤医師に
2025/3/31 泌尿器科 中村真俊 医長退職

病院長
難波江 正浩

2 各科の事業・業績報告

循環器内科

① スタッフ

川島明代志（部長）、富田行則（部長）（2024年5月末日で川島が退職）

常勤医師2人（2024年6月から1人）

非常勤医師6人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数；外来8,826人（実数1,901人）、入院3,622人（実数97人）

従来と大きな変化はなく、心臓カテーテル検査など侵襲的加療は行っておりませんが、侵襲的加療の適応外の患者様や侵襲的加療をお望みにならない患者様を薬物治療、リハビリテーションを用い、退院後への橋渡しという面に重点を置いております。高齢心不全患者の増加に伴い、必要な特色と考えて日々の診療を行っております。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

透析患者の管理に当科も関わらせて頂いております。当院は腎臓内科の常勤医がいないため、外来でもそれぞれの科で診ております。心腎貧血連関での講演を行いました。

④ その他特記事項

心臓超音波検査、ホルター心電図、ABIなど生理検査は他院と比較しても、比較的容易に施行するだけの枠がありますので、御紹介頂ければ幸いです。またホルター心電図は24時間のものだけでなく、あらたに7日間のものを導入しましたので、24時間では捉えられないかもしれませんからと諦めていたような症例も7日間であれば捉える可能性がありますので、御紹介頂ければ幸いです。

呼吸器内科・呼吸器外科

① スタッフ

川上賢三（代表理事）、佐藤公彦（名誉院長）、坂下拓人（部長）

常勤医師3名、非常勤医師7名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は、呼吸器感染症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・びまん性肺疾患・胸部悪性腫瘍・睡眠時無呼吸症候群などあらゆる呼吸器疾患に対応できるよう取り組んでいます。また地域医療への貢献のため、専門性を問わない診療も心がけています。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年度に引き続きCOVID-19チームとして発熱者外来の運営やCOVID-19患者の入院受け入れ・診療にあたりました。

<2024年度診療実績>

年間患者数：12,041人、入院13,126人

外来患者数：445.3名／日、新規入院患者数451名／年

<2024年度入院加療病名（退院時主病名より）（単位：名）>

肺炎（誤嚥性、気管支炎を含む）	157	気管支喘息	6
COVID-19 関連	61	慢性気管支炎・気管支拡張症	8
睡眠時無呼吸症候群	58	肺結核・非結核性抗酸菌症	11
間質性肺炎	21	胸膜炎・肺膿瘍	3
肺癌などの悪性新生物	22	その他（呼吸器疾患）	34
慢性閉塞性肺疾患	10	その他（呼吸器疾患以外）	69
気胸	3		

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

なし

消化器内科① スタッフ

土井久和（副院長） 門元優（部長・内視鏡センター長）

常勤医師 2人 非常勤医師 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

滋賀県内でも高齢者の割合が多い湖東地域において、複数の基礎疾患を持った高齢者の消化器疾患と、人間ドックによる無症候性消化器疾患治療の両面で診療を行っています。精神科を有する当院では、他病院では診療困難な精神疾患や認知症を持つ患者さんの消化器診療も可能です。

年間患者数：外来 5,845人、入院 6,090人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

なし

内科（糖尿病）① スタッフ

高木敬文（糖尿病内科部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 4,660人、入院 1,370人

外科・消化器外科

① スタッフ

常勤 2名 横田 徹

井内武和

非常勤 4名

② 特色・症例・治療・成績・実績

手術件数（主たるもののみ）

上部消化管 7件

下部消化管 13件

胆嚢 5件

肛門疾患 3件

ヘルニア 21件

乳がん 1件

年間患者数：外来 2,900人、入院 4,403人

③ 論文、学会・研究発表・講演・トピックス

豊郷病院における急性虫垂炎治療の現況 井内武和

滋賀医大誌 38(1),22-26,2024

泌尿器科

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・診療部長） 前田航規（部長） 中村真俊（医長）

常勤医師 3人 非常勤医師 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

泌尿器科の特徴

泌尿器科では、尿路（腎、尿管、膀胱、尿道）、男性生殖器（前立腺、精巣）、副腎の病気を扱っています。高齢化社会をむかえ、男女を問わず排尿の問題や、泌尿器科領域のがんが増加しています。

泌尿器科では、これらの臓器の病気を診断し、薬物や手術によって治療を行っています。また、腎不全に対する血液透析の導入・維持管理を内科医師と連携して行っています。シャント造設術・再建術、シャントPTAなども実施しています。

対象疾患と治療方法

前立腺肥大症

高齢男性では多くの方に前立腺肥大がみられます。主な症状は排尿困難ですが、放置すると尿の回数が増えたり、急に漏れそうになったりすることがあります。症状に応じて薬物治療や経尿道的手術を行います。また、近年新たに前立腺肥大症に対する低侵襲治療として承認された、経

尿道的動的水蒸気治療（WAVE：Water Vapor Energy Therapy）を導入しました。WAVEは水蒸気を前立腺に注入し、前立腺組織を縮小させる治療法です。従来の手術と比較して手術時間は短く、体への負担が少ないのが特徴です。

過活動膀胱

女性に多くみられ、急に尿意が起り、漏れそうになることが主な症状です。薬物治療が中心で、症状や全身状態に合わせて薬を選択します。

尿路結石症

尿管結石症は、急激な腰や背中、お腹の痛みで発症し、救急受診されることも多い病気です。痛みに対しては薬物治療を行います。小さな結石の場合は自然に排石が期待できますが、結石の大きさや位置によっては積極的な治療が必要な場合もあります。この場合、体外衝撃波結石破碎術（ESWL）や経尿道的結石除去術などを行います。

尿路感染症（膀胱炎、腎孟腎炎、男性生殖器の感染症）

排尿痛や頻尿、排尿困難などが主な症状で、高熱を伴うこともあります。尿路結石症や神経因性膀胱、前立腺肥大症を合併している場合は重症化することがあります。腹部超音波検査などの画像検査を行い、迅速かつ正確な診断と治療を心がけています。

泌尿器癌（腎癌、腎孟尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌）

がんの種類によって症状はさまざまですが、腎癌や前立腺癌はほとんど無症状、腎孟尿管癌や膀胱癌は血尿、精巣癌は陰嚢部の腫脹が主な症状です。近年では腎癌や前立腺癌が健診で無症状のうちに見つかることも増えています。PSA（前立腺特異抗原）高値で前立腺癌が疑われる方には、1泊2日の前立腺針生検を行います。超音波検査、内視鏡検査（膀胱鏡）、CT検査などを行い、進行度を診断したうえで、それに応じた治療（手術・薬物治療）を行っています。滋賀医大泌尿器科とも連携し、腎癌や腎孟尿管癌の腹腔鏡手術にも対応しています。

年間患者数：外来6,804人 入院3,090人 手術件数91件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

なし

整形外科

① スタッフ

難波江正浩（業務執行理事、病院長）

宮原健一郎（部長）

宮武秀匡（医長）

常勤医師3名、非常勤医師7名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数： 外来：10,995人 入院：7,244人

年間手術件数：201件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

<講演>

2024年6月29日 第29回 彦根ドクター交流会
「当院の現状について」～来年創立100周年を迎えるに当たって～
難波江正浩

2024年11月16日 第31回 豊郷病院 公開セミナー
「骨そしょう症について」～知ってのばそう！骨の健康寿命～
難波江正浩、田中亮祐、安西麻里子、岡田尚也

<学会>

2025年3月15日 第40回 SUMS骨・関節懇話会
特別講演① 座長；難波江正浩

脳神経外科

① スタッフ

鳴綾子（非常勤・湖東記念病院脳神経外科）

医学博士

日本脳神経外科学会 専門医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

② 特色・症例・治療・成績・実績

診療体制

外来

鳴綾子 水曜日

年間外来患者数 748例

眼科

① スタッフ

常勤 2名 富田靖之（眼科部長）、弓削智子（眼科医員）

非常勤 2名

② 特色・症例・治療・成績・実績

重点施策 手術件数増加（目標250人）を目指しています

年間患者数 外来7,532人、入院350人、手術202件

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

2024年11月15日

第78回 日本臨床眼科学会

「造影MRIにより診断に至り自然軽快した肥厚性硬膜炎の1例」

弓削智子（滋賀医科大学）

耳鼻咽喉科**① スタッフ**

大道千奈津（部長）

常勤 … 1名

非常勤 … 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、耳(難聴、めまい)、中耳炎、顔面神経麻痺)、鼻(アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻腔腫瘍)、咽(扁桃炎、嚥下障害、声帯ポリープ)、頭頸部(唾液腺(耳下腺、顎下腺)、甲状腺、頸部リンパ節腫脹)など、耳鼻咽喉科全般の診療を行っています。

一般的な画像・採血と共に、聴力検査や喉頭内視鏡など耳鼻咽喉科特有の検査を活用し、正確な診断・適切な治療を心がけています。当院での手術加療も行い、また集学的治療が必要な患者様には大学病院への紹介も行っており、病診連携の下、地域医療への貢献に尽力します。

年間患者数：外来5,048名 入院53名 手術件数 7例

③ 論文・学会・研究発表・講演

<研究発表>

第76回 滋賀医大耳鼻咽喉科関連病院合同症例勉強会 令和7年4月8日

「異所性甲状腺の2症例」

耳鼻咽喉科検査 2024年度

項目	外 来	入 院	合 計
気導純音聴力検査	805	23	873
標準純音聴力検査	91		91
ティンパノメトリー	10		10
平衡機能検査(標準)	179	12	191
平衡機能検査(頭位・頭位変換眼振検査)	151	12	163
静脈性嗅覚検査	4		4
EF-喉頭	329	18	347
合計	1614	65	1679

④ その他の特記事項

特になし

小児科

① スタッフ

三村由卯（部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来2,777人

年間健診数： 31人

皮膚科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,930人

婦人科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 692人

脳神経内科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

神経内科は近年の高齢化社会とともに神経内科に対する社会的ニーズも高まっていることから、地域医療をさらに充実・発展すべく平成28年10月より滋賀医科大学の全面的バックアップにより新規開設しました。

脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で専門医師が問診を神経学的な診察、画像検査や電気生理学的を駆使してその症状の原因となる体の場所や病態を診断いたします。

特に頭痛、しびれやめまい、筋力低下、歩行困難、ふらつき、けいれん、むせ、しゃべりにくい、二重に見える、勝手に体が動く、もの忘れなどの症状の方が対象です。

年間患者数：外来 868人（但し第2・4金曜、第1・3土曜日の月間4回）

精神科

① スタッフ

波床将材（顧問） 阪上悌司（副院長） 中江尊保（部長） 岡村恭子（部長）

有福淳大（医長） 鈴木伸吾（専攻医） 成田実（認知症担当）

常勤医師（認知症担当者含む）7人(精神指定医4人、精神科専門医4人 指導医3人)

非常勤医師4名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当精神科は、滋賀県湖東地域における中核病院として多様な患者を診る必要があり、外来・病棟とも内因性精神病を中心に老人疾患、アルコール、思春期、さらに精神遅延の患者も受け入れ、措置入院を引き受けている。

精神科病棟は、平成14年竣工の新病棟の5、6階のフロアを占め、3-6病棟（6階）は入院病棟（閉鎖病棟）であり、保護室4床と観察室2床を備え、3-5病棟（5階）は療養病棟（一部開放の閉鎖病棟）で、いずれも男女混合であり、低床はそれぞれ60床の計120床であるが、100床前後で運用されている。しかし、近年の精神科医療の趨勢を踏まえ、平成30年1月より入院病棟は精神科急性期病棟として運用し、近隣の精神科クリニックや病院と連携を深めながら新規入院患者を確保し、救急を含め地域の精神科医療に果たすべき役割を引き受けている。

治療としては通常の精神科治療のほかに、修正型電気けいれん療法を施行、難治性の統合失調症の治療剤であるクロザリルも使用している。

精神科外来は3診体制である。当初は医療観察法指定機関として通常患者の診察を担当し、大津地方検察庁長浜-彦根支部管内の刑事精神鑑定も随時引き受けている。

年間患者数： 外来 17,292人 入院 34,190人

③ 論文、学会、研究発表、トピックス

2024年8月5日

京都大学大学院 社会医学系夏期集中講義「行政医学・産業医学」
講義「地域精神保健～依存症と関連問題～」

2024年10月10日

京都市精神保健福祉相談員養成研修

講演「精神科の薬物療法」

2024年11月13日

愛犬合同介護支援専門員研修会

講演「精神疾患のある方の疾患別支援のポイント」

2024年11月17日

NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会滋賀県支部 ギャンブル依存症セミナー

講演「医療から見たギャンブル依存症」

2024年11月23日

関西アルコール関連問題学会 第30回京都大会

特別講演・シンポジウム「アルコール健康障害：飲酒関連死から予防」

シンポジスト「行政と依存関連問題」

2025年2月5日

京都府・京都市依存症実務者研修

事例検討会「入退院を繰り返すアルコール依存症への支援」スーパーバイザー

以上波床将材

2024年7月20日第134回近畿精神神経学会

「クロザピン治療中に強直間代発作を生じた統合失調症の一例」

鈴木伸吾

2024年7月20日第134回近畿精神神経学会

「大幅に身長が伸びた成人期重症遷延性神経性やせ症の1例」

道場生基

歯科口腔外科

① スタッフ

藤居孝文（歯科医師）

常勤歯科医師 … 1名

鈴木百美子（歯科衛生士）

非常勤歯科医師 … 2名

富田鈴果（歯科衛生士）

常勤歯科衛生士 … 2名

歯科助手

… 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、智歯（親知らず）の抜歯や炎症性疾患（化膿、腫れもの）、顎関節症、外傷（歯の破折・

脱臼、裂傷、骨折)、腫瘍性疾患や全身疾患があるため病院歯科での治療が必要である患者さんを中心に治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群と診断され、マウスピースでの治療が必要である方への口腔内装置作製や、脳血管障害などで摂食・嚥下(食べて、飲み込む)が困難である方に対し、嚥下リハビリテーションチームが行う摂食機能療法を行っております。

年間患者数：外来5,722名 入院206名 手術件数201件

③ 論文・学会・研究発表・講演

講演

「摂食嚥下機能のメカニズムと基礎知識」

藤居孝文

ことう地域チームケア研究会 2025.3.13

麻酔科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間麻酔件数：全麻 206件、腰麻 90件、局麻他 449件 合計 773件

麻酔科件数

麻酔別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻	11	13	14	17	20	15	27	19	17	16	22	15	206
腰麻	6	2	12	9	7	5	5	10	7	6	12	9	90
局麻	33	27	40	42	42	40	40	37	41	37	32	38	449
その他			2	2	5	5	3		2	1	3	5	28
計	50	42	68	70	74	65	75	66	67	60	69	67	773

(統計：手術室)

リハビリテーション科

① スタッフ

リハ医：難波江、佐藤、横田、曾我、井内、土井、富田、大道、藤井、宮原、若林

顧問：吉田環PT

部長：山田知美PT

一般病棟：係長 馬場浩伸OT、戸田健輔ST 主任 田中亮祐PT、甲斐牧恵OT

回復期病棟：副技士長 近藤則子PT、係長 織部恭史PT

主任 村瀬達也PT、小椋法子OT、日下部洋平OT、田中周子OT

精神病棟：主任 岩田夏彦OT

訪問リハビリテーション アイルとよさと：係長 北川恭子PT

パストラールとよさと：係長 奥村陽一PT

理学療法士：一般科11名・回復期6名・イルとよさと2名・パストラール2名・レインボウ1名

作業療法士：一般科7名・回復期6名・精神4名・パストラール3名・レインボウ2名

言語療法士：一般科2名・回復期1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

〈特色〉

リハビリテーション科では、急性期における一般科病床や在宅復帰に向けて支援したり準備したりする地域包括ケア病棟、よりリハビリを重視した回復期リハビリテーション病棟に介入しています。また言語聴覚士による摂食嚥下訓練・言語訓練も実施しております。一般病床では、呼吸器疾患の患者さんに対し呼吸リハビリテーションを実施しており、当施設では3学会合同呼吸療法認定士が理学療法士で11名、作業療法士で1名在籍しております。がん患者さんの生活機能と生活の質(QOL)の改善を目的とし、がんとその治療による制限を受けた中で最大限の身体的、社会的、心理的活動を実現に向けて行うがんリハビリテーションも行っております。その他、外来のリハビリも運動器疾患の患者さんをはじめ、呼吸器疾患などの患者さんを対象に介入させていただいております。

介護保険分野では訪問リハビリアイルとよさと、老人保健施設パストラールとよさとなど多岐にわたりサービス体制を整えており、急性期から回復期、そして生活期までシームレスなリハビリの提供が可能です。

精神科作業療法では、入院と外来で急性期から慢性期の治療、退院支援、引きこもり支援、復学・復職支援など多岐にわたります。作業活動を通して心身機能の回復を目指すだけでなく、患者さん自身が自分の特徴を振り返って学びになるよう取り組んでおります。さまざまな検査では結果をグラフや表にして視覚化しフィードバックして、生活や仕事で役立てもらっています。患者さまにも「やってよかった」と感想をいただいております。また、入院の短期化が進む中で、地域貢献や多職種連携が必要であり、アウトリーチ支援、ケースカンファレンスなどを多数実施しました。以前から取り組んでいる公認心理師との協働プログラムであるメタ認知トレーニングだけでなく、新たに医師、薬剤師、精神保健福祉士との協働プログラムの心理教育プログラムも実施しました。そして、外来患者さんが何年にもわたって外来OTを利用されることで新規患者さんの受け入れが滞りやすかったことについての改善に取り組みました。具体的には処方に期限を設け、連絡なしのキャンセルが続くと予約を外す、といったものです。このようにして今後もOTを必要とされる患者さんに必要なタイミングでリハビリテーションを届けられるよう、取り組んでまいります。

③ 論文・学会・研究発表・講演

・第20回滋賀COPD管理講習会 実技講師 2024.11.11 会場：彦根市立病院

・認知症カフェ出勤 OT 3名 毎月1回参加 (8.9月は休み)

・Bone!Labo出張個別支援 每月1回開催 OT 3名

・リハ職と地域をつなぐバトン事業への参加

「移乗・歩行介助」実技指導 2024.11.19 場所：アンジェス彦根城、河瀬 PT 1名 OT 2名

- 滋賀県作業療法学会 ポスター発表 2024.11.17 場所：かふか生涯学習館
日下部洋平 「右半球損傷により左手の不使用が見られた症例に対し行った能動的な探索訓練の報告」
橋本淑郎 「遂行機能障害の患者に対して張り子作業を用いて機能訓練を実施した症例」
村西航多 「移乗動作で体を向ける方向が分からなかった症例」
- 滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム（中核的人材）事業にかかる圈内推進チーム会議 入院者訪問支援事業推進会議 2025.3.6 滋賀県庁北新館多目的室2 岩田夏彦

療法別延患者数（病院）

2024年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳血管	外来	15	18	14	14	14	12	17	18	30	30	24	17	223
	入院	280	264	365	365	265	194	214	227	228	177	139	178	2,896
	合計	295	282	379	379	279	206	231	245	258	207	163	195	3,119
運動器	外来	127	152	145	174	171	159	175	145	148	150	144	198	1,888
	入院	1,116	1,091	987	861	744	906	981	854	894	790	754	898	10,876
	合計	1,243	1,243	1,132	1,035	915	1,065	1,156	999	1,042	940	898	1,096	12,764
理学療法	外来	16	18	18	19	22	20	20	18	19	17	18	17	222
	入院	151	121	109	140	181	141	114	128	101	37	65	139	1,427
	合計	167	139	127	159	203	161	134	146	120	54	83	156	1,649
呼吸器	外来	0	0	0	0	0	0	3	3	6	6	5	4	27
	入院	203	260	357	307	492	491	396	429	337	331	346	323	4,272
	合計	203	260	357	307	492	491	399	432	343	337	351	327	4,299
がん	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	46	41	26	62	16	19	10	23	12	27	63	9	354
	合計	46	41	26	62	16	19	10	23	12	27	63	9	354
合計	外来	158	188	177	207	207	191	215	184	203	203	191	236	2,360
	入院	1,796	1,777	1,844	1,735	1,698	1,751	1,715	1,661	1,572	1,362	1,367	1,547	19,825
	合計	1,954	1,965	2,021	1,942	1,905	1,942	1,930	1,845	1,775	1,565	1,558	1,783	22,185
作業療法	脳血管	6	4	4	4	4	6	7	6	7	10	6	7	75
	入院	272	252	333	369	280	198	193	234	246	179	140	163	2,859
	合計	278	256	337	373	284	204	200	240	253	189	146	170	2,930
運動器	外来	20	12	10	13	32	27	37	39	38	33	49	60	370
	入院	998	1,054	955	829	738	812	857	809	828	718	692	852	10,142
	合計	1,018	1,066	965	842	770	839	894	848	866	751	741	912	10,512
呼吸器	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	58	70	38	84	106	84	69	61	45	11	42	48	716
	合計	58	70	38	84	106	84	69	61	45	11	42	48	716
廃用	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	191	226	336	314	424	465	366	380	322	335	326	332	4,017
	合計	191	226	336	314	424	465	366	380	322	335	326	332	4,017
がん	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	48	36	24	59	14	18	10	23	15	31	57	5	340
	合計	48	36	24	59	14	18	10	23	15	31	57	5	340
合計	外来	26	16	14	17	36	33	44	45	45	43	55	67	441
	入院	1,567	1,638	1,686	1,655	1,562	1,577	1,495	1,507	1,456	1,274	1,257	1,400	22,965
	合計	1,593	1,654	1,700	1,672	1,598	1,610	1,539	1,552	1,501	1,317	1,312	1,467	18,515
言語療法	脳血管	4	4	4	4	6	5	4	6	8	11	8	7	71
	入院	121	114	144	139	121	103	101	14	10	30	35	60	992
	合計	125	118	148	143	127	108	105	20	41	41	43	67	1,086
精神OT		712	715	619	773	736	620	561	674	701	530	580	344	7,565
訪問リハ		107	139	119	95	123	125	132	116	110	114	114	126	1,420
パスト		1,444	1,602	1,664	1,798	1,666	1,262	1,590	1,670	1,508	1,411	1,300	1,273	18,188

(統計：リハビリテーション科)

放射線科

① スタッフ

放射線科医長	土井久和（副院長・医師）
医長	1名（常勤）
放射線科医	5名（非常勤・内4名は遠隔画像診断）
診療放射線技師	7名（常勤6名・非常勤1名）
看護師	1名（非常勤）

② 参加実績

2024年5月26日 第38回滋賀県放射線技師会学術研究発表会 キラリエ草津

2024年6月 厚生労働省告示243号研修（告示研修）オンライン研修

2024年12月13日 第1回滋放技 湖東支部研修会・総会 彦根市立病院

放射線撮影人数

【科別】

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全 科	撮影	1,234	1,181	1,239	1,281	1,279	1,177	1,504	1,423	1,473	1,420	1,150	1,179	15,540
	C T	450	461	469	500	459	468	524	444	525	452	438	474	5,664
	MRI	137	153	142	156	142	138	177	132	128	147	125	184	1,761
内 科 計	撮影	181	161	166	177	149	166	154	157	139	161	161	187	1,959
	C T	124	102	108	118	106	100	105	94	117	105	96	104	1,279
	MRI	11	10	7	16	3	5	12	16	7	17	7	8	119
循環器科	撮影	84	67	72	80	64	86	65	78	59	82	85	111	933
	C T	17	8	14	8	12	10	17	10	19	11	16	16	158
	MRI	1	1	1	1	1	0	1	2	1	2	3	1	15
消化器科	撮影	6	11	13	15	6	8	10	8	9	7	7	5	105
	C T	72	59	56	76	60	66	64	49	74	60	64	60	760
	MRI	9	8	5	13	2	5	11	11	5	15	3	6	93
心療内科	撮影	13	10	10	9	5	3	5	2	2	1	1	2	63
	C T	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	8
	MRI	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
一般内科	撮影	18	14	12	16	16	14	11	7	11	15	11	9	154
	C T	27	27	33	28	30	20	18	26	22	29	14	18	292
	MRI	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0	6
透析	撮影	60	59	59	57	58	55	63	62	58	56	57	60	704
	C T	6	7	4	5	3	4	5	9	2	5	2	9	61
	MRI	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
呼吸器科	撮影	312	304	278	270	325	269	312	305	324	299	268	226	3,492
	C T	142	126	143	150	148	159	144	132	154	122	110	129	1,659
	MRI	2	3	3	2	0	1	2	1	3	1	3	2	23
外 科	撮影	42	53	60	60	68	69	78	53	64	59	55	41	702
	C T	35	34	42	48	55	35	63	30	47	35	33	34	491
	MRI	2	3	2	5	1	2	3	2	0	4	0	3	27
泌尿器科	撮影	27	31	43	33	48	49	41	25	39	35	29	53	453
	C T	18	24	29	21	25	25	27	26	32	26	33	31	317
	MRI	9	6	5	4	8	5	9	6	9	12	9	13	95
皮膚科	撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	C T	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4
	MRI	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳神経外科	撮影	0	3	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	8
	C T	5	19	8	12	12	8	19	10	12	12	11	15	143
	MRI	6	5	5	5	4	6	7	2	3	7	2	6	58

整形外科	撮影	343	356	336	381	364	317	402	389	399	383	353	407	4,430
	CT	21	27	34	38	24	34	42	38	52	40	46	52	448
	MRI	39	49	42	42	53	43	52	36	45	29	38	57	525
小児科	撮影	8	16	41	7	18	21	8	14	25	9	7	4	178
	CT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRI	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	5
産婦人科	撮影	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	CT	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	MRI	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	6
耳鼻咽喉科	撮影	3	7	8	3	0	7	6	4	2	9	4	7	60
	CT	12	16	18	9	12	11	10	12	12	11	7	5	135
	MRI	2	1	3	1	2	2	5	1	3	5	2	7	34
眼科	撮影	9	14	9	11	11	11	18	13	8	12	6	7	129
	CT	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	6
	MRI	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	5
歯科口腔外科	撮影	104	98	88	126	128	97	130	105	111	108	111	134	1,340
	CT	20	18	10	15	9	12	17	11	11	15	12	20	170
	MRI	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
精神神経科	撮影	20	15	23	18	13	11	16	11	22	17	25	22	213
	CT	25	29	22	25	23	35	41	42	24	30	31	29	356
	MRI	1	3	4	4	3	3	3	2	5	5	4	3	40
認知症外来	撮影	3	1	3	2	3	5	3	0	1	3	4	3	31
	CT	21	25	22	28	17	17	21	15	22	29	19	20	256
	MRI	8	4	2	4	1	3	2	3	3	2	2	6	40
神経内科	撮影	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	CT	2	1	2	3	2	6	2	1	3	3	5	3	33
	MRI	3	4	4	5	2	2	6	8	2	3	6	4	49
健診	撮影	167	108	170	189	148	151	331	341	334	322	122	83	2,466
	CT	0	2	1	1	3	0	1	2	1	2	2	0	15
	MRI	0	0	1	6	7	3	4	5	1	2	2	1	32
老健科	撮影	1	1	0	1	1	0	30	1	3	4	1	3	46
	CT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	撮影	14	14	12	4	3	3	5	4	5	2	3	4	73
	CT	25	37	30	31	22	26	31	29	37	22	32	29	351
	MRI	54	63	62	61	57	59	70	50	44	57	49	74	700

(統計：放射線科)

【部位別】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	単純	7	6	5	3	7	4	6	4	2	9	5	8	66
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	頭部造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部	パノラマ	54	53	61	68	70	64	85	61	75	67	70	85	813
	デンタル	48	42	30	52	56	30	43	43	43	36	38	44	505
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部	小計	109	101	96	123	133	98	134	108	120	112	113	137	1,384
	単純	664	588	645	652	666	610	794	756	753	737	581	543	7,989
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部	血管	4	2	1	4	1	1	2	1	5	2	5	0	28
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳腺	18	15	33	38	30	27	35	28	53	43	20	22	362
その他	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	686	605	679	694	697	638	831	785	811	782	606	565	8,379

腹 部	單 純	99	109	111	131	114	143	131	126	151	137	120	169	1,541
	消化管 造影	24	20	31	24	17	25	87	92	92	105	23	11	551
	尿 路	3	6	7	1	7	5	6	1	4	0	4	4	48
	血 管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の 他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
小 計		126	135	149	156	139	173	224	219	248	243	147	184	2,143
脊 椎 四 肢 等	單 純	397	394	373	413	400	339	426	386	382	412	383	415	4,720
	造影 血 管	4	4	8	2	2	2	6	2	12	4	4	2	52
	その他の 他	3	4	1	0	0	0	1	5	2	2	2	3	23
	骨 塩 定 量	38	49	44	32	30	34	38	38	36	22	33	40	434
	その他の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	442	451	426	447	432	375	471	431	432	440	422	460	5,229
ポーダブル		74	79	91	63	60	63	77	68	63	62	59	28	787
外科イメージ		0	0	2	2	5	5	3	0	2	1	3	5	28
その他の 他		1	0	2	2	1	0	1	0	0	2	0	1	10
合 計		1,438	1,371	1,445	1,487	1,467	1,352	1,741	1,611	1,676	1,642	1,350	1,380	17,960

(統計：放射線科)

部位別【CT】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
頭 頸 部	Plain	106	122	98	110	112	105	140	119	102	133	97	118	1,362
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	Plain + CE	0	0	1	3	0	0	1	0	2	0	1	1	9
	(画像処理)	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	5
	小 計	106	122	99	115	112	106	141	119	105	133	100	119	1,377
胸部	Plain	150	145	153	168	155	154	152	144	184	143	123	143	1,814
	CE	0	2	2	1	2	2	1	3	3	0	3	4	23
	Plain + CE	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	151	147	155	169	157	156	155	147	187	143	126	147	1,840
腹部	Plain	141	137	129	142	135	128	168	114	147	116	132	139	1,628
	CE	3	5	2	7	3	3	8	2	6	2	6	0	47
	Plain + CE	18	11	22	23	17	26	21	14	19	16	17	19	223
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	162	153	153	172	155	157	197	130	172	134	155	158	1,898
脊 椎	Plain	4	7	1	6	3	3	2	4	13	4	5	8	60
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	4	7	1	6	3	3	2	4	13	4	5	8	60
関 四 節 肢 等	Plain	15	20	35	24	22	27	25	29	40	29	41	34	341
	CE	3	0	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	9
	Plain + CE	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	18	20	36	24	24	27	28	30	40	29	41	34	351
その他	Plain	17	21	30	23	26	27	11	22	17	19	13	13	239
	CE	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	2	1	9
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	17	21	30	23	26	27	14	22	21	19	16	14	250
計		458	470	474	509	477	476	537	452	538	462	443	480	5,776

(統計：放射線科)

画像処理には、3D, CTA, AngioCT, MPR, mip等の処理。

部位別【MRI】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 頸部	Plain	19	17	21	20	12	12	11	15	15	19	12	25
	CE	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	Plain + CE	1	1	1	1	0	1	2	0	1	2	1	0
	(MRA)	11	13	14	23	17	22	26	23	12	20	15	211
	小計	31	31	37	44	29	35	39	38	28	41	28	421
胸部	Plain	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
腹部	Plain	22	28	18	20	16	16	22	21	20	30	14	27
	CE	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	Plain + CE	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	1
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	24	28	18	21	16	16	24	23	20	30	15	263
脊 椎	Plain	66	69	55	56	54	60	69	41	38	46	49	79
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	66	69	55	56	54	60	69	41	38	46	49	79
関 四 節 肢 等	Plain	16	23	31	34	44	29	45	29	44	31	33	37
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(MRA)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計	17	23	31	34	44	29	45	29	44	31	33	37
その 他	Plain	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		138	153	142	156	143	140	177	132	130	148	125	1,769

(統計：放射線科)

MRAは腹部の場合にはMRCPを含む。

機能別病棟

- (1) 2025年に向けて、より効率的な医療提供体制の方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の医療提供を行い、精神科医療と併せて入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を目指し在宅療養後方支援病院として“かかりつけ医”と連携を強化しました。しかし、コロナウイルス感染症が落ち着くも、病棟での一次クラスターが発生し、影響しました。また、看護師不足により、看護配置基準の人員配置と夜勤時間数を運用するにあたり、夜勤体制の見直しや入院患者数の受け入れの制限を行った影響が響きました。
- (2) 業務効率向上・情報の共有化・データー一元管理・医療安全の確保、退院促進を実施し効果的な運用を目指しました。
- (3) 平均在院日数短縮にむけて積極的新規入院患者の獲得や退院・転棟を目指しました。
- (4) 初期認知症対応型地域包括ケア病床32床の再開を目指しましたが、看護師確保が難しく再開の目途が立たず休床を継続しました。この休床が運営に大きな栄養を受けました。

- (5) 地域包括ケア病棟では、一般病棟の稼働の影響から転棟患者が減少し、また算定期限超え患者（60日）も増加しました。
- (6) 回復期リハ病棟は、脳血管疾患患者の増加にて安定稼働が出来ていきましたがクラスターの影響により一時的に稼働率が低下しました。
- (7) 精神科病棟については、急性期患者の増加により高稼働で推移していましたが、クラスターの影響があり急性期から療養への転棟がスムーズにいかない時期もあり、長期患者の退院により新規入院患者の獲得に苦戦し空床期間が多くなりました。

機能別病棟

2024（令和6）年度実績

病棟	定数	年間延人数	一日当り	稼働率
一般病棟	186	52,301	143	77%
3-3 (一般急性期)	51	13,313	36	72%
3-4 (一般急性期)	54	14,637	40	74%
3-2 (地域包括ケア)	51	13,891	38	75%
5-2 (回復期リハ)	30	10,460	29	96%
療養病棟1-3 (地域包括ケア・初期認知症)	32	0	0	0%
精神病棟	120	34,190	94	78%
3-5 (精神療養)	60	16,879	46	77%
3-6 (精神急性期)	60	17,311	47	79%
合計	338	86,491	237	70%

臨床検査科

① スタッフ

臨床検査科医長 高木敬文

臨床検査技師 7名

(常勤3名、非常勤1名、メディック3名)

② 特色・成績

臨床検査科は、生理検査部門・検体検査部門の2部門で構成されており、検査科の基本理念である「迅速・正確・丁寧な臨床検査」を心掛け、日々の内部精度管理はもとより、外部精度管理の参加によって、検査データの正確性を高めるよう努めています。

皆様に安心して検査を受けていただけるよう、日々努力を重ね、検査を実施しています。

2024年度における検査件数は、検体検査が424,550件（100.5%）生理検査が9,338件（124.8%）で検体検査は前年度比0.5%増、生理検査は前年度比24.8%増となった。

2024年度は、検体検査、生理検査ともに前年度増の実績をあげました。

生理検査は前年度に比べ全体で24.8%増。この増加数は2023年11月から再開した健診時の簡易聴力検査が大きく影響しており、増加率は235.1%。そのため、生理検査全体として24.8%の増となった。

細かく検査種別でみると、呼吸器系検査が大きく増加、N〇ガス分析検査が昨年に引き続き

49.7%、肺機能検査（V C + F V C）30.2%増加。また2024年度から超音波検査可能項目増加に伴い、下肢静脈超音波検査が214.2%と大きく増減率を引き上げた。減少した検査項目については、脳波が-50.7%、鼻腔通気度検査-35.4%、睡眠時無呼吸検査-1.7%。年々、脳波検査が減少の傾向を示している。

2024年度の成績としては、検体検査部門においては外部精度管理として、日本医師会、日本臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会のサーベイに参加。滋賀県技師会の精度管理では全ての項目でA評価を、日本医師会の精度管理では99.2点と高評価を獲得。（本精度管理は検査のレベルを計る指標となっている。）また2024年度、新たに輸血精度管理ににも参加、A評価を獲得。

生理検査部門においても外部精度管理（生理検査部門）に参加。当院で実施している心電図検査・呼吸機能検査・無呼吸睡眠時検査・聴力検査・神経生理検査（脳波検査含む）・超音波検査（4項目）の6部門に参加し、92.3%の正解率を修めた。

2024年度は4月より1名が入職。体制基盤の強化に努め、2023年度より健診業務にも従事。健診時の検査だけでなく、読影・成績管理などの業務を担当し、健康診断受診者の増加に繋げた。

さらに、当検査科においても実施可能と考えられる業務については積極的に行っていけるよう、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に参加、資格認定を取得した。

各種学会・研修会への参加等、日常業務における検査レベルの向上を行っている。

③ 研修等参加実績

2024年10月5日 滋賀県臨床検査技師会主催

臨床生理研修 超音波検査実技講習会参加 星野遼

2024年10月12,13日 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

履修認定 澤田祐子

2024年10月27日 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

履修認定 浅野千絵

2025年3月1日 心電図検定2級取得 星野遼

生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心 電 図	342	285	343	357	322	335	446	412	384	400	288	261	4,175
負荷心電図	0	6	15	0	1	1	0	0	1	0	0	1	25
ホルター心電図	5	5	9	8	5	7	0	4	7	4	5	6	65
肺気量分画・FVカーブ	63	67	79	94	95	82	98	84	106	101	70	47	986
フローボリュームカーブ	0	2	4	2	2	2	1	4	1	5	4	6	33
NOガス分析	47	32	43	41	46	51	46	58	51	46	49	32	542
鼻腔通気度検査	3	3	3	6	2	1	2	5	1	7	6	3	42
脳波12L	4	3	2	2	4	4	2	3	3	2	2	4	35
脳波12L負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴力検査	128	77	116	147	106	109	203	184	194	186	88	57	1,595
終夜睡眠ポリグラフ	4	6	5	10	3	6	5	3	2	3	7	4	58
血管伸展性検査	14	13	13	15	10	12	14	20	14	10	21	10	166
内臓脂肪検査	0	0	0	4	3	0	3	0	3	1	3	0	17
心エコーグラム	62	66	80	68	60	81	62	63	40	66	42	57	747
腹部エコーグラム	46	40	51	53	57	55	65	56	69	53	40	18	603
頸動脈エコーグラム	4	5	5	13	8	4	11	13	6	4	7	5	85
下肢血管エコーグラム	3	7	4	6	5	5	5	8	4	5	3	6	61

乳腺エコーグラム	1	1	1	0	1	0	1	5	2	1	0	0	13
甲状腺エコーグラム	0	0	4	6	2	1	5	4	5	2	3	2	34
表在エコーグラム	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	6
尿素呼気検査	4	5	5	5	2	6	4	1	4	4	5	5	50
健診採血	128	81	139	154	118	140	226	194	213	196	105	60	1,754
計	858	704	922	991	853	902	1,199	1,122	1,111	1,097	748	585	11,092

検体検査件数

【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	752	791	700	720	714	681	928	692	772	701	602	572	8,625
血液学検査	3,203	2,993	2,890	3,091	3,213	3,101	3,331	3,063	3,089	3,048	2,887	3,011	36,920
生化学検査Ⅰ	22,613	21,112	20,501	22,020	22,649	21,984	23,521	21,070	21,818	20,721	20,042	20,987	259,038
生化学検査Ⅱ	377	359	329	363	387	368	357	336	344	340	350	356	4,266
免疫学検査	1,123	1,089	1,031	1,127	1,159	1,135	1,209	1,105	1,180	1,080	1,055	1,035	13,328
微生物学検査													
病理学検査													
血中薬物検査	20	20	18	16	17	22	18	16	19	11	8	16	201
輸血検査	27	17	30	20	19	19	32	36	26	34	21	30	311
合計													322,689

【院外】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	223	199	265	272	239	236	294	241	207	143	205	145	2,669
血液学検査	797	674	772	1,011	766	806	889	763	733	724	539	672	9,146
生化学検査Ⅰ	5,265	4,468	5,795	6,750	5,226	6,328	6,136	4,807	5,027	4,846	3,853	5,423	63,924
生化学検査Ⅱ	840	709	796	861	672	1,058	844	692	704	761	672	917	9,526
免疫学検査	603	584	662	799	611	576	665	578	541	603	452	546	7,220
微生物学検査	807	781	769	720	659	410	673	742	580	471	501	395	7,508
病理学検査	127	100	109	133	109	142	149	117	142	108	124	129	1,489
血中薬物検査	25	14	9	17	19	88	24	16	11	12	9	90	334
輸血検査	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2	0	3	10
機能検査	2	4	2	6	0	0	2	4	4	5	0	6	35
合計													101,861

【分類別合計】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	975	990	965	992	953	917	1,222	933	979	844	807	717	11,294
血液学検査	4,000	3,667	3,662	4,102	3,979	3,907	4,220	3,826	3,822	3,772	3,426	3,683	46,066
生化学検査Ⅰ	27,878	25,580	26,296	28,770	27,875	28,312	29,657	25,877	26,845	25,567	23,895	26,410	322,962
生化学検査Ⅱ	1,217	1,068	1,125	1,224	1,059	1,426	1,201	1,028	1,048	1,101	1,022	1,273	13,792
免疫学検査	1,726	1,673	1,693	1,926	1,770	1,711	1,874	1,683	1,721	1,683	1,507	1,581	20,548
微生物学検査	807	781	769	720	659	410	673	742	580	471	501	395	7,508
病理学検査	127	100	109	133	109	142	149	117	142	108	124	129	1,489
血中薬物検査	45	34	27	33	36	110	42	32	30	23	17	106	535
輸血検査	28	18	31	21	19	19	32	36	27	36	21	33	321
機能検査	2	4	2	6	0	0	2	4	4	5	0	6	35
合計													424,550

注) 検体検査は1項目1件とする

輸血検査の交叉試験では1パック1件とする

医療安全室

- ① 医療安全の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、個人の責任追及ではなく医療安全管理システムの問題として捉え、医療安全室のメンバーが中心に組織横断的に取り組む。
また、地域施設とも連携を図り、地域全体の医療安全の質向上を目指し取り組んでいる。

② スタッフ

井内武和	医療安全室室長	横田こず江	医療安全管理者
岡田尚也	医薬品安全管理責任者	福本善之	医療機器安全管理責任者
川俣佳彦	放射線安全管理責任者	岡村昌彦	医事課長
田畠靖代	医療安全管理者（2024年7月まで）		

③ 活動内容

- ・インシデント・アクシデントレポートの内容確認、集積の集計と分析、再発防止策の立案
- ・院内を巡回し、マニュアルの遵守、改善策の状況確認を行うとともに、必要な指導
- ・医療安全マニュアルの作成と見直し
- ・M&Mカンファレンスの実施
- ・医療事故発生時には報告または連絡後、状況把握と対応
- ・医療安全地域連携に関する活動（連携訪問による相互評価 年1回）
- ・医療安全の教育・指導・研修会の計画・実施・評価
- ・医療安全推進週間活動
- ・患者相談窓口担当者と連携及び医療安全対策に係る患者・家族の相談対応

④ 医療安全研修会報告

(全職員対象)

第1回 「患者虐待の防止と職員のメンタルヘルス」(虐待防止委員会と共に)

受講者：391名 (受講率：99%)

第2回 「パワーハラスマント対策を考える～心理的安全性の高い職場を目指して～

受講者：385名 (受講率：100%)

⑤ 2024年度の取り組み

- ・インシデント・アクシデントレポート報告を分析し改善策を立案し業務改善につなげる。
- ・インシデント・アクシデントレポート報告によりマニュアル作成や修正を行う。
- ・医療安全地域連携の活動
- ・医療安全研修会（企画・運営）
- ・医療安全推進週間活動
- ・チーム活動

感染管理室

感染制御医（ICD）1名と感染管理認定看護師（CNIC）2名が感染対策チーム（ICT）の中核となり、それぞれの専門性を活かし連携しながら、施設における効果的な感染対策の推進のため、組織横断的に活動を行っています。また、近隣の医療機関とも連携・協力しながら地域全体の感染対策のレベルアップに取り組んでいます。

① スタッフ

佐藤公彦 室長 感染制御医（ICD）2025年1月まで
坂下拓人 室長 感染制御医（ICD）2025年2月から
竹内淑江 感染管理認定看護師（CNIC）
小倉幸雄 感染管理認定看護師（CNIC）
中村 薫 薬剤部科長
澤田祐子 臨床検査技師主任

② 活動内容

- 1) 各種関連委員会との連携・調整
- 2) 感染症の流行状況・感染情報の収集と把握、対策検討
- 3) サーベイランス（耐性菌、手指消毒剤使用量、中心ライン関連血流感染、カテーテル関連尿路感染、血液体液曝露など）
- 4) ICTラウンド・ASTカンファレンス；1回/週
- 5) 職業感染対策（B型肝炎、流行性ウイルス疾患等）の推進
- 6) 感染対策システムの構築とマニュアル作成・改訂
- 7) 感染対策の教育・指導、研修会の計画・実施・評価
- 8) 感染対策相談（コンサルテーション）
- 9) アウトブレイク対応
- 10) 感染対策地域連携に関する活動

③ 研修会

*院内全体研修

第1回 発熱診療の実際～発熱外来のこれまでとこれから～

第2回 1部；手指衛生の重要性 2部；血液体液曝露後対応

*彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 福祉人材育成定着促進事業研修

平時からの感染対策～福祉現場での対応～

④ 2024年度の取り組み

- 1) 手指消毒剤使用量向上のための取り組み（使用量の見える化、強化月間等）
- 2) アウトブレイク対応（ウイルス感染症、MDRP）
- 3) 地域連携活動
 - *4医療機関との合同カンファレンス、新興感染症発生時の想定訓練への参加
 - *湖東地域感染症対策ネットワーク会議への参加
 - *高齢者施設への実地調査およびクラスター発生時のラウンド

血液浄化センター

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・センター長）

常勤兼務 3人 非常勤 4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2003年8月以来、導入・維持期の血液透析血液濾過透析を中心に実施している。

透析看護認定看護師在籍。

人工透析実績

月	患者数	外来数	入院数	新規導入			転帰			治療方法										手術 (当院)
				新規 患者	紹介 (転入)	導入	離脱	転院	死亡	血液 透析	腹水 透析	吸着 療法	血漿 交換	白血球 採取	幹細胞 採取	体外 循環	HDF	CAPD	他	
4	679	606	73	1	0	1	0	0	1	614	0	0	0	0	0	0	0	0	65	2
5	695	626	69	0	0	0	0	0	0	627	0	0	0	0	0	0	0	0	68	1
6	635	573	62	1	0	0	0	0	1	575	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1
7	693	655	38	3	2	1	0	0	1	626	0	0	0	0	0	0	0	0	67	2
8	691	616	75	0	0	0	0	1	0	625	0	0	0	0	0	0	0	0	66	1
9	633	601	32	0	0	0	0	0	0	570	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1
10	703	678	25	2	1	1	0	1	0	650	0	0	0	0	0	0	0	0	53	2
11	674	644	30	0	0	0	0	0	0	623	0	0	0	0	0	0	0	0	51	3
12	676	607	69	2	0	1	0	1	2	628	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2
1	678	641	37	1	0	0	0	0	0	624	0	0	0	0	0	0	0	0	54	2
2	614	575	39	1	0	0	0	0	0	566	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2
3	683	630	53	4	2	1	0	0	0	630	0	0	0	0	0	1	0	0	52	2
合計	8,054	7,452	602	15	5	5	0	3	5	7,358	0	0	0	0	0	1	0	0	695	21

内視鏡センター

① スタッフ

医師

常勤 門元優（消化器科） 横田徹（外科） 川上賢三（呼吸器科） 坂下拓人（呼吸器科）

非常勤（消化器科のみ） 今井隆行 宇田勝弘 重森恒雄 安食元

看護師

常勤 笠井雪乃（内視鏡技師） 西澤ひろ美

非常勤 内田知子

常勤ケアワーカー 本庄志織

臨床工学技士 福本喜之 外川巧 畠地陸斗 岡田明希歩 川邊悠斗

② 特色・症例・治療・成績・実績

人員の問題もあり緊急の対応はやや不得手ですが待期的な処置としては胆嚢内視鏡や内視鏡治療にもある程度対応しています

2024年度検査件数

上部内視鏡1,070件

うちESD 1件

下部内視鏡394件

うちEMR119件

気管支鏡27件

胆膵内視鏡 6 件

PEG造設 1 件

PEG交換11件

2024年度 内視鏡件数

	BF	CF			GF						その他	合計	
		BF	CF	ポリペク EMR	その他	GF	生検	ERCP	ESD	PEG造設	PEG交換		
4月	2	24	5	0	90	0	0	0	0	0	2	0	123
5月	7	22	4	0	84	0	0	0	0	0	2	0	119
6月	3	25	6	0	90	0	0	0	0	0	1	0	125
7月	1	25	8	1	106	0	0	0	0	1	0	0	142
8月	3	33	13	0	1	105	6	0	0	0	1	1	163
9月	0	24	15	3	97	10	0	1	0	0	0	0	150
10月	3	29	17	3	97	9	0	0	0	0	2	0	160
11月	1	18	6	0	101	0	0	0	0	0	2	1	129
12月	0	27	13	0	81	0	0	0	0	0	0	1	122
1月	0	19	13	2	59	10	0	0	0	0	1	1	105
2月	5	14	7	1	64	0	0	0	0	0	0	0	91
3月	2	15	12	0	65	0	0	0	0	0	0	1	95
合計	27	275	119	10	935	134	6	1	1	11	5	1,524	

(統計：内視鏡センター)

健診センター**① スタッフ**

健診センター長 前田航規

健診センター長補佐 澤田祐子

医事課 2 名 放射線科 6 名 臨床検査科 2 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

2024年度より、新たな体制で健診センターを稼動。『予防医療の第一歩を地域の皆さんとともに築く』を健診センター基本理念とし、早期発見・早期治療を目指して、健康維持をサポートしています。また、病院ならではの各種専門医療機器を用い、健康診断から特定疾患のスクリーニングまで、受診者さまのご希望に添える多様なニーズに対応可能です。経験豊富な医師やスタッフが丁寧に案

内し、質問や不安にもしっかりと対応しています。

健診後は、各項目に沿った専門分野のスタッフがデータを管理し、正確な検査結果を提供し、必要に応じて適切なフォローアップやアドバイスを行っています。

主な健診コース：一般健診(法定項目健診)・生活習慣病予防健診・日帰り人間ドック・脳ドック・雇用時健診・特定健診・乳がん・子宮がん検診・肺がん検診・胃がん検診 他

2024年度 受診者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	25	28	31	32	42	34	41	38	50	44	23	5	393
// 職員							4	12	21	18			55
生活習慣病予防健診	35	46	77	86	57	52	83	69	34	21	60	42	662
// 職員							60	65	82	95	1		303
一般健診	5	9	19	32	6	45	25	11	16	12	8	13	201
(職員健診)	25	2	2	4	1	2	1	1	1	1	3	1	44
脳ドック	0	0	1	6	6	3	3	5	1	2	1	1	29
子宮がん検診	13	7	11	10	10	8	15	10	10	7	11	12	124
胃がん検診	0	0	3	2	4	4	3	4	2	2	3	5	32
合計	103	92	144	172	126	148	235	215	217	202	110	79	1,843

人間ドック : 企業人間ドック・(住民健診)人間ドック・生活習慣病予防健診(付加健診)

生活習慣病予防健診 : 生活習慣病予防健診(協会けんぽ)・成人病健診

一般健診 : 企業健診・医師会健診・特定健診・雇用時健診・後期高齢者

オプション検査

乳がん検査(マンモ)	13	5	8	16	13	11	21	17	40	28	9	8	189
乳腺超音波検査	1	0	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	8
PSA(前立腺がん腫瘍マーカー)	2	3	2	8	5	3	8	10	7	6	3	0	57
肝炎検査	2	1	3	2	6	2	5	4	4	3	1	5	38
A B I	2	1	2	3	4	0	4	2	5	5	5	0	33
VFA(内臓脂肪測定)	0	0	0	4	3	0	3	0	3	1	3	0	17
I n B o d y	0	0	1	0	1	1	2	2	1	2	1	0	11
骨密度検査	1	0	0	1	4	1	4	4	0	1	3	2	21
胸部CT	0	2	1	1	3	0	1	2	1	2	2	0	15
その他													
合計	21	12	18	35	39	18	49	43	63	49	27	15	1,793

認知症疾患医療センター

① スタッフ

成田 実(部長・センター長)

常勤 1人 非常勤 1人

精神保健福祉士 専属1名、兼務1名

臨床心理技術者 兼務1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理件数	28	15	14	24	6	15	27	17	10	20	18	20	214

新規受理件数（地域別）

地域別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
彦根	14	10	8	9	4	6	14	10	5	8	8	9	105
多賀	1	1	1	3	0	2	4	1	1	4	0	1	19
甲良	2	1	0	4	0	2	1	1	3	3	2	2	21
豊郷	1	0	1	2	1	3	2	1	0	1	1	2	15
愛荘	7	1	2	3	1	1	3	4	1	1	4	3	31
東近江	2	2	0	2	0	1	3	0	0	1	1	3	15
その他	1	0	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	8
小計	28	15	14	24	6	15	27	17	10	20	18	20	214

新規受理件数（紹介元別）

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	3	1	2	0	1	1	1	1	1	2	0	1	14
家族等の介護者	16	7	6	15	3	6	15	9	4	11	11	10	113
地域包括支援センター	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
医療機関 (かかりつけ医など)	6	5	1	4	2	4	7	5	4	7	5	6	56
居宅介護支援事業所 介護サービス事業所	2	2	4	2	0	2	1	2	0	0	0	1	16
行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院内他科	1	0	0	3	0	1	2	0	1	0	2	2	12
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	28	15	14	24	6	15	27	17	10	20	18	20	214

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

日 時：2025（R7）年3月15日

場 所：豊郷病院

豊郷病院 公開セミナー 「認知症の人との付き合い方2」

認知症疾患医療センター長 成田実 医師

回復期リハビリテーションセンター

① スタッフ

医師（センター長）	若林正人	言語療法士	1名
看護師長	横田こず江	薬剤師	1名
看護師（准看護師）	19名	管理栄養士	1名
リハビリテーション副技師長	近藤則子	CW・クラーク	7名
理学療法士	7名	MSW	2名
作業療法士	7名		

② 特色・症例・治療・成績・実績

豊郷病院 回復期リハビリテーション病棟では、急性期での治療を終えた患者様が、在宅での生活を安心安全に過ごして頂くために、日常生活動作の援助やリハビリテーションを行っております。

2024年度 紹介元 医療施設		2024年度 疾患別症例件数	
彦根市立病院	89件	運動器リハビリテーション	378件
湖東記念病院	14件	脳血管疾患リハビリテーション	137件
院内	56件	廃用性症候群	0件
その他	33件	合計	515件
合計	192件		

在宅療養サポートセンター（とよサポ）

① スタッフ

古川みどり（センター長・師長）
 堀尾素子（認知症看護認定看護師・師長）
 羽座岡美香（常勤看護師）
 谷川明実（非常勤看護師：オレンジ5兼務）

② 特色・症例・治療・成績・実績

2024年度の院内外からの相談件数は3,467件。総相談件数のうち、認知症に関するものが1,406件。全体の41.77%を占める。看護師に気軽に相談して頂ける敷居の低い相談窓口として地域に浸透してきたと自負している。

- * 認知症看護認定看護師が、認知症疾患医療センターの外来を担当（10回/月）
- * 認知症初期集中支援チーム「オレンジ5」の一員として活動（4回/週）
- * 訪問診療に同行（延63件/年）
- * 湖東圏域の自殺未遂者支援事業の窓口（2回/年会議に参加）
- * 協力医療機関として、地域の施設と毎月のカンファレンスに参加（毎月・5施設）

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

2024年度 滋賀県入退院支援看護師養成研修 検討医院・講師
 2024年度 滋賀県看護協会 看護職員認知症対応力向上研修 検討委員・講師
 2024年11月30日 出前講座「甲良町 認知症フォーラム」 講師
 2025年1月26日 令和6年度滋賀県認知症フォーラム
 「重度認知症患者に対する院内デイケアの運用方法とその効果・課題」 発表
 2024年度 豊郷町「いのちを支えるまちづくり協議会」 委員・会長
 2024年度 豊郷町多職種協働会議 委員
 2024年度 湖東地域自殺対策連絡協議会 委員
 オレンジ5の活動：認知症についての出前講座（事業所・4町・キャラバンメイトの育成）
 家庭訪問。認知症についての普及活動。4町会議への出席。
 県内の包括支援センター視察。

3 愛知・犬上医師連絡会

講演・研究発表

日時・場所・内容：

◇2024年6月14日（金）14：00～15：00

パストラールとよさと 研修室

「当院の整形外科診療について」

病院長（整形外科） 難波江 正浩 医師

◇2024年9月13日（金）14：00～15：00

パストラールとよさと 研修室

「アルコール関連問題」～依存症から予防まで～

精神科顧問 波床 将材 医師

◇2025年2月27日（木）17時30分～

「私が考える救急診療のポイント」

滋賀医科大学医学部付属病院

救急集中治療医学講座 教授 塩見 直人先生

地域連携事業

4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル

□ 公開セミナー

- ◇日 時：2024年11月16日（土）14時00分～15時00分
 場 所：豊郷病院 内科外来（3病棟1階）待合いスペース
 テーマ：『骨粗鬆症について』
 講 演：「骨粗しょう症について」病院長(整形外科) 難波江 正浩 医師
 「骨粗しょう症と運動」リハビリテーション科 田中 亮祐 理学療法士
 「丈夫な骨をつくろう」～栄養・食事のポイント～
 栄養科 安西 麻里子 管理栄養士
 「骨粗しょう症とくすり」薬剤部部長 岡田 尚也 薬剤師
- ◇日 時：2025年3月15日（土）14時00分～15時30分
 場 所：豊郷病院 内科外来待合い
 講 演：『認知症の人とのつきあい方2』 一本人も困っています—
 認知症疾患医療センター長 成田 実 医師

□ 出前講座

- ◇日 時：2024年9月28日（土）13時30分～15時00分
 場 所：多賀町中央公民館
 依頼元：多賀町地域包括支援センター
 テーマ：「認知症の方とその家族の気持ち」
 講 師：認知症疾患医療センター長 成田 実 医師
- ◇日 時：2024年11月13日（水）13時30分～15時00分
 場 所：豊郷町役場 3階会議室1・2・3
 依頼元：豊郷町地域包括支援センター
 テーマ：「精神疾患のある方の支援」～疾患別支援のポイント～
 講 師：精神科顧問 波床 将材 医師
- ◇日 時：2025年2月7日（金）9時30分～10時00分
 場 所：愛荘町東出ふれ愛公民館
 依頼元：愛荘町地域包括支援センター
 テーマ：「お薬の安全な服用について サプリメントの服用について」
 講 師：薬剤部長 岡田 尚也 薬剤師

□ 豊郷町健康フェスティバル

- ◇日 時：2024（R6）年10月14日（月・祝）
 ・健康啓発コーナー（各種測定、相談など）
 場 所：豊郷町民体育館 談話室
 ・救護班（けがや体調不良の救急処置など）
 場 所：豊郷町民体育館玄関前大会本部

地域連携室事業

5 全職員研修会

	日 時	テマ	担 当
1	8月	医療安全研修会 「BLS研修 DVD研修」	医療安全対策管理委員会 医療安全室
2	9月	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策 DVD研修会 「個人情報の取り扱いと法的責任」	個人情報保護対策・ ITセキュリティ委員会
3	9月30日 17:00～18:30	医療安全研修 「患者の虐待の防止と職員のメンタルヘルス」	虐待防止委員会 医療安全室
4	9月	感染対策DVD研修会 「発熱診療の実際」	院内感染防止対策委員会/ 感染管理室
5	9月～2月第2木曜日 17:10～17:40	医療安全研修会 「BLS研修 実技研修」	医療安全対策管理委員会 医療安全室
6	11月16日 14:00～15:00	公開セミナー 「骨粗しょう症について」	地域連携室
7	11月	医療放射線安全管理オンライン研修	医療放射線安全管理委員会
8	1月31日・2月10日 17:10～18:10	医療安全研修会 「パワーハラスマント対策を考える」	医療安全対策管理委員会 医療安全室
9	2月18日 12:30～13:30	医療安全研修会 「パワーハラスマント対策を考える」	医療安全対策管理委員会 医療安全室
10	3月15日 14:00～15:30	公開セミナー 「認知症の人とのつきあい方2」	認知症疾患医療センター長 成田実医師／地域連携室
11	3月	人権DVD研修 「映像で学ぶ ジェンダー入門」	人権教育推進委員会
12	3月	感染対策DVD研修 「手指衛生の重要性と血液体液曝露」	院内感染防止対策委員会/ 感染管理室
13	3月19日 17:15～18:15	褥瘡対策研修会 「排泄のコントロール」	褥瘡対策委員会
14	3月28日 17:00～18:15	虐待防止研修会 「医療者と患者の関係性を考える」	健康推進室・虐待防止委員会

6 災害総合避難訓練

目的 地震・火災などの災害時に、病院機能の維持、災害医療の対応、組織利用した情報収集、救護班派遣等の対応による人命救助、被害の軽減・減災を図り、平素より組織化した訓練を実施、並びに職員への啓蒙による災害予防と、避難器具を体験して技術を習得することを目的とする。

日時 2024（令和6）年10月15日（火）午後2時00分（想定 午後2時00分）

訓練の内容

- ①M6.5の地震発生、直ちに全館放送にて全職員に連絡を行い、各所属長が施設等に被害の状況を確認し本部（3病棟1階北出入口付近）へ報告。
- ②訓練火災警報発令（①から約3分後）

地震訓練に引き続き火災訓練を実施。
現場は3病棟4階デイルーム付近から、火災報知機のベルが鳴り、自動火災警報が作動。延焼の恐れあり。直ちに全館放送が流れ、消火器・散水栓による初期消火訓練と、避難訓練を行う。
- ③避難器具の訓練

スカイダー（らせん階段）を利用して避難訓練を実施する。
- ④トリアージ訓練
- ⑤消防署員による講評、消火器の取り扱い説明と実射訓練

7 ボランティア活動

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート、生け花の展示、病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動

1、拡大紙芝居	毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
2、生け花展示	①2024年7月1日～7月8日 ②2024年12月19日～12月26日 ③2025年3月24日～3月31日
3、七夕コンサート	2024年7月6日（土）開催
4、花壇の整備	2024年6月24日（月） 2024年10月28日（月）
5、精神科病棟、回復期病棟でのボランティア	臨時（単発）

(4) 交流会の開催

目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等

2024年4月24日（水）、9月25日（水）

ボランティア運営委員会事業

8 院内（外）地域交流活動

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 職員献血運動 | 4月23日（火）、10月30日（水） |
| 2. 院外周辺美化運動 | 5月15日（水）、7月24日（水）、10月17日（木） |
| 3. 宇曽川・街並みクリーン作戦
(豊郷町行事参加) | 中止（各事業所にて） |
| 4. とよさと江州音頭夏まつり
(豊郷町行事参加) | 8月17日（土） |
| 5. 豊郷町健康フェスティバル
(各種測定・看護栄養相談) | 10月14日（月） |
| 6. 物故者追弔会 | 12月24日（火） |
| 7. 地蔵盆 | 8月21日（水） |
| 8. 公開セミナー | 11月16日（土）、3月15日（土） |
| 9. 七夕コンサート | 7月6日（土） |
| 10. 出前講座 | 9月28日（土）、11月13日（水）・2月7日（土） |
| 11. 認知症カフェ「豊豊」
(豊郷町委託事業) | 毎月第3土曜日 9:30~11:30 |

9 実習生受入状況

診療部

彦根市立病院 精神科研修医 2024年 7月29日～2024年 12月13日 4名
 滋賀医科大学医学部附属病院 医学部医学科6学年「学外臨床実習」
 2024年 5月 7日～2024年 5月31日、2023年 6月 5日～2023年 6月30日 3名

[理学療法 (一般科・回復期)]

びわこリハビリテーション専門職大学	2024年 4月 8日～ 5月19日	4名
	2024年 7月 1日～ 7月28日	4名
	2025年 1月13日～ 2月25日	4名
	2025年 3月 3日～ 3月 9日	4名
京都橘大学	2024年 4月 8日～ 5月17日	1名
	2025年 2月17日～ 2月22日	1名
	2025年 2月24日～ 3月 1日	1名
佛教大学	2024年 6月 3日～ 7月27日	1名
京都医健専門学校	2024年 5月13日～ 7月 5日	1名
	2024年 7月29日～ 9月20日	1名
愛媛十全医療学院	2024年 5月 1日～ 6月22日	1名
	2024年 7月 8日～ 8月24日	1名
	2024年 9月 2日～10月26日	1名
	計 25名	

[作業療法 (一般科・回復期病棟)]

びわこリハビリテーション専門職大学	2024年 4月 8日～ 5月19日	2名
	2024年 7月 1日～ 7月28日	2名
	2024年 9月 2日～ 9月 6日	2名
	2025年 1月13日～ 2月24日	2名
	2025年 3月 3日～ 3月 9日	2名
京都橘大学	2024年 5月13日～ 6月17日	1名
	2024年 2月17日～ 3月 7日	1名
佛教大学	2024年11月25日～12月18日	1名
	2025年 2月10日～ 2月21日	1名
	2025年 2月17日～ 3月 7日	1名
	計 16名	

[言語聴覚療法学科（一般科・回復期病棟）]

京都医健専門学校	2024年10月16日～11月27日	1名
大阪医療技術学園専門学校	2024年5月27日～7月19日	1名
	2025年1月27日～2月25日	1名
		計 3名

看護部

[看護実習]

滋賀学園高等学校 基礎看護学実習Ⅰ(3日間)	2024年8月	3-2、5-2病棟	2グループ(8名)
聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(10日間)	2024年4月	3-2病棟	1グループ(4名)
聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(10日間)	2024年4月	5-2病棟	1グループ(2名)
聖泉大学 成人看護学実習(外来)(3日間)	2024年10月	外来	1グループ(4名)
聖泉大学 成人看護学実習(慢性期)(6日間)	2025年1月	3-4病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 成人看護学実習(慢性期)(6日間)	2025年2月	3-4病棟	1グループ(3名)
聖泉大学 老年看護学実習(8日間)	2024年12月	3-2病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 老年看護学実習(8日間)	2025年1月	5-2病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 老年看護学実習(4日間)	2025年2月	5-2病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 精神看護学実習(7日間)	2025年2月	3-5病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 精神看護学実習(4日間)	2025年2月	3-5病棟	1グループ(6名)
聖泉大学 精神看護学実習(5日間)	2025年3月	3-5病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 精神看護学実習(7日間)	2025年2月	3-6病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 精神看護学実習(7日間)	2025年3月	3-6病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 老年看護学実習(8日間)	2025年3月	5-2病棟	1グループ(5名)

[養護実習]

びわこ学院大学	養護教諭看護臨床実習(10日間)	2025年2月6日～20日	3名
---------	------------------	---------------	----

[中学生・高校生]

愛知高等学校	プレジョブシップ(2日間)	2024年4月25日、26日	2名
甲良中学校	中校生一日看護体験	2024年8月1日	2名
多賀中学校	中校生一日看護体験	2024年8月1日	1名
日野中学校	中校生一日看護体験	2024年8月5日	2名
八幡高等学校	高校生一日看護体験	2024年8月2日	2名
八幡高等学校	高校生一日看護体験	2024年8月5日	1名
秦荘中学校	職場体験学習(3日間)	2024年6月4日～6日	4名
稲枝中学校	職場体験学習(3日間)	2024年6月12日～14日	3名
彦根中学校	職場体験学習(3日間)	2024年7月9日～11日	4名
愛知中学校	職場体験学習(3日間)	2024年10月2日～4日	4名
豊日中学校	職場体験学習(3日間)	2024年10月23日～25日	4名
彦根総合高校	体験学習(半日)	2024年12月11日	10名

医療福祉相談室

●中学校職場体験学習

秦荘中学校	2024年6月4日	4名
稻枝中学校	2024年6月12日	4名
彦根中学校	2024年7月9日	8名
愛知中学校	2024年10月2日	7名
豊日中学校	2024年10月23日	4名

●その他実習

びわこ学院大学看護臨床実習	2025年2月7日	3名
---------------	-----------	----

10 受賞・表彰関係

【院内表彰】

2025年1月4日 永年勤続20年表彰

看護師（統括所長）	山田 里美
看護師（係長）	鉢立 優作
看護師（師長）	金丸 貴行
介護福祉士（係長）	神崎 増美
介護支援専門員（所長）	高田 奈緒
看護師（主任）	田井中 優子
臨床工学技士（係長）	北川 香里

【院外表彰】

2024年度 滋賀県病院協会永年勤続15年表彰

視能訓練士（主任）	田口 いづみ
理学療法士（係長）	奥村 陽一
理学療法士	村瀬 達也
看護師（係長）	小塚 美和
看護師（主任）	山田 珠生
看護師（主任）	須賀 香織
ケアワーカー	門居 昌子
事務職員	茶木 依久子
介護福祉士	塚本 典子

11 各種委員会報告

医療倫理委員会

人間を直接の対象とした医療行為および医学的研究行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に添った倫理的配慮のもとに行なわれること。

活動状況

(1) 開催時期 隨時

- (2) 審議事項
- ・当院における虫垂炎治療の現況
 - ・今後の治療方針と急変時の対応について
 - ・転移性前立腺癌に対する薬物治療の有効性・安全性の検討
 - ・意思疎通が困難な患者様と家族へのACPについて
 - ・血管腫に対する薬物硬化治療
 - ・小児期崩壊性障害の1例
 - ・陰茎癌と尿路扁平上皮癌の有転移患者に対する抗がん剤（パクリタキセル、イホスファミド、シスプラチニン）投与

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名（内地域住民代表1名）

輸血療法委員会

輸血、輸注の適切な使用および実施に伴う事故防止を図る。輸血療法が安全・適正かつ経済的に行われることを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 年6回 偶数月の第1金曜日

- (2) 審議事項
- ・血液製剤の適正使用の徹底化
 - ・輸血の副作用
 - ・輸血関連の感染症
 - ・過誤輸血の防止
 - ・血液製剤の保管・供給・返血
 - ・成分輸血・自己血輸血などの分野
 - ・輸血関連の記録・書式
 - ・本規定の改正に関すること
 - ・その他、必要と思われる事項

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名

薬事委員会

病院の薬事に関する基本方針を定め、その方針にそって院内薬事業務を円滑に遂行する。

活動状況

(1) 開催時期 原則 月1回 第3金曜日

- (2) 審議事項
- ・新規仮採用医薬品の審議

新規仮採用医薬品の「医薬品仮採用願」の提出期限は前月25日までとし、申請で

きる医師は原則として医長以上とする。

・採用削除医薬品の審議

削除する医薬品については残量を全医師に報告し、使用を促進する。

・本採用医薬品の審議

本採用医薬品とは仮採用後、3か月経過した医薬品のことをいう。

副作用の発現など問題がなければ本採用。

・医薬品の適切な使用方法の協議

・在庫医薬品の適切な管理と運用

・医薬品の副作用の検討

院内副作用報告書、厚生労働省医薬品等安全性情報など

・その他薬事関係で円滑な病院運営に必要な事項の審議

(3) 人員構成 委員長（薬剤部長）、常勤医師、看護部長（必要時他部門も出席）

※委員長に事故ある時は、病院長がその職務を代行する。

安全衛生委員会

職場における従業員の安全と健康を確保するため必要な業務を行う。

法人内各部署と連携し、職場における従業員の安全と健康を確保する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回第1金曜日

(2) 審議事項 ・健康診断の実施

春の健康診断 5月28日（火）～30日（木）の3日間実施

都合の悪い職員に対し、後日追加実施

対象者：夜勤・当直・電離則関係者

秋の健康診断

・生活習慣病予防検診（35歳以上の協会けんぽ加入者）

10月から1月の間に実施

・定期健康診断（35歳未満と協会けんぽ未加入者）

10月22日（火）～24日（木）の3日間実施

・春・秋・年末の交通安全運動の推進

・労働災害減少に向けた啓発活動

・労働者の精神的健康の保持増進に向けた取り組み

・ストレスチェック実施 2025年1月14日（火）～2月28日（金）

(3) 人員構成 委員長、産業医、衛生管理者3名、感染管理1名、委員11名

院内感染防止対策委員会

院内感染防止に関する事項を審議し必要な感染対策の方針を決定する。

活動状況

(1) 開催時期 毎月1回 第4木曜日 16:30～

(2) 審議事項 ①抗菌薬使用量サーベイランス結果（湖東医療圏との比較）

②耐性菌サーベイランス結果（湖東医療圏との比較）

- ③病院全体の細菌検出状況
- ④入院患者のMRSA、ESBL産生菌等の耐性菌の検出状況
- ⑤血液培養検査の実施状況と検出結果等
- ⑥CLABSI（中心ライン関連血流感染）サーベイランス結果
- ⑦CAUTI（カテーテル関連尿路感染）サーベイランス結果
- ⑧手指消毒剤の使用量結果、向上のための取り組み
- ⑨感染症の流行状況（院内・院外）の把握、早期発見、対応
- ⑩ウイルス感染症のアウトブレイク発生状況と振り返り
- ⑪MDRP患者発生に伴うスクリーニング検査・環境調査について
- ⑫CRE患者発生に伴う遺伝子検査の実施等について
- ⑬血液・体液曝露報告
- ⑭職員のインフルエンザ予防接種関連について
- ⑮感染対策研修会の計画・実施・評価
- ⑯インフルエンザマニュアルの改訂

●全体研修

第1回 発熱診療の実際～発熱外来のこれまでとこれから～

2024年9月

第2回 1部：手指衛生の重要性

2部：血液体液曝露後対応

2025年3月

(3) 人員構成 委員長1名 委員13名 メディック職員1名

院内感染コントロールチーム（ICT委員会）

院内感染の予防を目的に、各部署の現状を把握してチームとして取り組む。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2金曜日

(2) 審議事項

- ・院内ラウンドの実施（毎週1回）

・抗菌薬ラウンドの実施（第1週・第2週・第5週 木曜日）

(第3週・第4週 金曜日)

- ・院内ラウンドの結果報告及び対策についての検討

- ・抗菌薬の使用状況及び抗菌薬ラウンドの結果報告

- ・入院患者における耐性菌の検出状況の報告

- ・耐性菌別検出状況の報告（MRSA・ESBL・MRCNS）

- ・Clostridium difficile（クロストリジウムディフィシル）の検出結果の報告

- ・手指消毒剤使用量（部署別）の報告

- ・血液・体液曝露サーベイランス結果の報告及び毎月の状況報告

- ・インフルエンザの発生状況の報告

- ・各種感染症に対する予防方法やリスク回避の検討

- ・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの結果及び報告

- ・ノロウイルスの発生状況の報告

- ・感染防止対策加算3における合同カンファレンス及びラウンドの報告

- ・地域連携加算取得におけるラウンドの報告
- ・新型コロナウイルス感染症の予防対策及び当院でのクラスター事例について
- ・院内感染対策研修会（DVD研修）の開催
　　新型コロナウイルス特別講習会
　　災害時の感染対策

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員16名

リスクマネージメント委員会

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4金曜日

- (2) 審議事項
- ・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告
 - ・事例発生の内容を検討と各部署、委員会への業務改善依頼
 - ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
 - ・各部署からの事例報告からの改善策の提案と検討
 - ・医療機器に関する事例報告からの改善策の報告
 - ・医薬品に関する事例報告からの改善策の報告

(3) 人員構成 委員長1名 委員26名

医療安全管理対策委員会

適切な医療安全管理を推進し、医療事故防止と対策の充実、かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4金曜日

2024年4月にリスクマネジメント委員会を医療安全管理対策委員会へ統合する

- (2) 審議事項
- ・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告
 - ・各部署からの事例発生報告及び内容の検討と各部署、委員会への業務改善依頼
 - ・医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全責任者から提案された事項について審議や決定
 - ・医療安全に関する規定の見直し、委員の変更
 - ・医療安全地域連携訪問の報告
 - ・医療安全研修の企画と運営
 - ・患者相談窓口でのクレーム内容などの報告と対応の検討

(3) 人員構成 委員長1名 委員26名

重大医療事故対策委員会

重大事故発生時に、事故の経緯、原因の確認を実施し、再発防止するための体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 隨時（2024年度は開催なし）

- ・医療事故報告書に基づく原因分析

- ・再発防止策への取り組み
- ・病院全体への周知

(2) 人員構成 委員長1名 委員12名

苦情処理委員会

活動状況

- (1) 開催時期 隨時
(2) 人員構成 委員長 委員8名

賠償請求対策委員会

活動状況

- (1) 開催時期 隨時
(2) 人員構成 委員長 委員9名

広報委員会

活動状況

- (1) 開催時期 隨時
(2) 審議事項 病院紀要・年報の発行に関する検討
(3) 人員構成 委員長1名 委員5名

ホームページ委員会

病院のホームページの管理・更新を行い、常に新しく正しい情報を発信していくことで、病院の広報活動を行っている。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3火曜日
(2) 審議事項 ・ホームページの更新及び管理
　　・WEBサーバー管理（委託）
　　・プロバイダー管理（委託）
　　・メールアドレスの発行
(3) 人員構成 委員8名

広報プロジェクト

法人は、内部の活動内容やあらゆる情報を、患者、利用者、診療所、行政並びに学校、就学生など、地域社会に幅広く発信し、PRを行い、法人の認知度を高め、発展に努める。

また、病院と地域の診療所がより密接な関係を築き、紹介患者や医療機器の共同利用を図るため、院内の情報を広く伝達、広報することを目的とする。

「医心伝心」発行：年4回（4月、7月、10月、1月）

活動状況

（1）開催時期 「医心伝心」発行約1ヶ月半～2ヶ月前

- ①2024（令和6）年5月9日（水）
- ②2024（令和6）年8月7日（水）
- ③2024（令和6）年10月29日（火）
- ④2025（令和7）年2月7日（金）

（2）審議事項 掲載内容、作成日程、発行部数、配布先などの審議

（3）「医心伝心」発行

- ・No.81 春季号 2024（令和6）年4月
- ・No.82 夏季号 2024（令和6）年7月
- ・号外版（眼科） 2024（令和6）年7月
- ・No.83 秋季号 2024（令和6）年10月
- ・No.84 冬季号 2025（令和7）年1月

（4）人員構成 委員長1名、委員5名（うち広報委員2名）

接遇サービス向上委員会

医療・介護サービスの充実を図り信頼される病院づくりのために、職員の接遇ならびに利用者のサービスを強力に推進し、苦情も積極的に取り上げてあらゆる角度から改善を実践します。また、その活動を通じて全職員が医療職として成長し、職場全体のモラルが向上することを目指します。

活動状況

（1）開催時期 月1回 第2水曜日 15時から

（2）審議事項

- ・お手紙の回収と、お手紙の検討及び改善報告
- ・新採用者のオリエンテーションの実施
- ・職員への接遇マナー研修会の企画・運営 等

（3）人員構成 委員長1名 委員16名

人権教育推進委員会

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2024年度 人権啓発活動目標

「誰か」のこと じゃない。違いを認め合い、相手の気持ちを考えよう

活動状況

（1）開催時期 2024年 4月15日（月）

2024年10月21日（月）

（2）研修・学習内容

院内

・新入職員対象人権研修会
2024年4月3日（水） 新入職員24名

DVD研修 SNS時代における外国人の人権「サラーマット～あなたの言葉で～」

- ・ 2024 豊郷病院人権研修会 参加者530名
DVD研修 「映像で学ぶ ジェンダー入門 ②多様な「性」」
2月中旬から3月末までの間にDVD研修にて実施
- ・ 職場別人権学習
職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施
- 院外 院外研修会等に参加 事業主、人権担当者
主催 滋賀県
滋賀人権啓発企業連絡会
滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック 等

地域連携委員会

医療機関・介護施設・地域など、外部とのあらゆる連携や教育啓蒙活動等について検討し、当法人の予防・治療・介護支援を一体的・包括的に提供できるシステムを構築していくことを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 不定期開催

委員会開催日 2025（令和7）年3月17日（月）持ち回り会議

(2) 審議事項 2024年度の行事報告（愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事）

2025年度の行事計画（愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事）

地域連携委員会の規定について（見直し）

その他、愛知犬上医師連絡会の行事計画・公開セミナー・豊郷町健康フェスティバル・出前講座・その他地域行事・他医療機関（開業医や病院）からの救急・入院受け入れについてなど

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員 11名

防火班

病院の災害を防止し、安全かつ適切な防災体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第3火曜日

防災訓練の実施

①防火非難総合訓練（3病棟4階にて）

2024年10月15日（火）

②初期消火避難訓練（5病棟2階にて）

2025年3月4日（火）

(2) 審議事項

2024年度防火班事業活動計画書

消防訓練の計画準備 年2回（春季及び秋季）

災害対策マニュアルに沿った訓練の実施及び消防計画の内容の周知拡大

消防設備、火災受信機など器具の取扱いマスター保守管理

秋季及び春季火災予防運動期間中のポスター掲示及び旗による防火啓発

(3) 人員構成 防火管理者1名 班長1名 班員15名

医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

活動状況

- (1) 開催時期 年4回（研修・訓練含む）
- (2) 審議事項
 - ・在宅酸素療法における火気の取扱いについて
 - ・火災等における緊急時のガス漏れ対応について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長4名 委員7名

栄養管理委員会

入院患者・患者給食に対する栄養管理および給食業務の改善と合理化を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 栄養管理委員会 年2回（6月、12月）
栄養管理小委員会 年10回
- (2) 審議事項
 - ・献立について
 - ・行事食の確認
 - ・医師検食簿の確認
 - ・インシデント内容とその対策について
 - ・栄養補助食品について
 - ・副食形態の種類について
 - ・機材、食器等について
 - ・配膳車・下膳車の取り扱いについて
 - ・備蓄食について
 - ・アンケート結果の報告・検討
 - ・栄養指導件数報告
 - ・電子カルテ（移動食事カレンダー）入力について
 - ・感染対策について
 - ・細菌検査報告
 - ・食物アレルギーについて
 - ・入院診療計画書について
 - ・栄養スクリーニングについて
 - ・規定の確認
- (3) 人員構成 栄養管理委員会：委員長1名 委員15名（日清医療食品㈱3名）
栄養管理小委員会：委員11名（日清医療食品㈱2名）

図書委員会

職員の専門的知識を深め、質の向上を図るため。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
開催日 2024年6月12日
- (2) 審議事項
 - ・会計報告

- ・年間予算額の決定
- (3) 人員構成 委員長1名委員4名

個人情報保護対策委員会

個人情報保護法の対策を検討し、個人情報の保護が行われているのかの監査を行い、職員に実施されることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
- (2) 審議事項 個人情報保護対策委員会と情報セキュリティ委員会を統合することに決定
個人情報またはセキュリティの研修は入職時とケアワーカー研修で毎年行っている
- (3) 人員構成 院長 副院長 各診療部長 委員18名

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、以下の事項を審議して安全に円滑に手術室運営が行えるようにする。

- ・手術室運営に関する事
- ・医療設備に関する検討
- ・医療機器の修理、新規購入に関する事項
- ・電子カルテに関する取り決め手順などの統一

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回
- (2) 審議事項
 - ・手術予定に関して協力要請
 - ・麻酔器年次点検終了
 - ・病棟・手術室関連インシデントの改善策に対する協力依頼（手順の変更）
 - ・術中出血に関する検討事項

他

- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名 手術室スタッフ

ボランティア運営委員会

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート、生け花の展示、病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動

- 1.拡大紙芝居毎月1回定期実施（サロンひまわり）
- 2.生け花展示 ①2024年7月1日～7月8日
②2024年12月19日～12月26日
③2025年3月24日～3月31日
- 3.七夕コンサート 2024年7月6日（土）開催
- 4.花壇の整備 2024年6月24日（月）
2024年10月28日（月）
- 5.精神科病棟、回復期病棟でのボランティア臨時（単発）

（4）交流会の開催

目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
2024年4月24日（水）、9月25日（水）開催

（5）人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員5名

クリニカルパス委員会

チーム医療の推進、インフォームド・コンセントの促進、リスクマネージメントの促進等を目的として、各種疾患に対するクリニカルパスの作成・使用推進を行う。

活動状況

- （1）開催時期 年2回6月・11月の第2月曜日14時～
- （2）審議事項 ・使用中のクリニカルパスの修正
・新しいクリニカルパスの作成
・クリニカルパスの運用について
- （3）人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員13名

電子カルテ委員会

電子カルテの運用を検討し、保存義務のある情報を適切に保存するとともに、適正に利用することに資することを目的とする。

活動状況

- （1）開催時期 隔月1回 第3木曜日
- （2）審議事項 ・マスターの設定または運用の見直し
・適正利用の確認
・改善要望の進捗報告
- （3）人員構成 委員長1名 委員21名

診療情報管理委員会

診療情報管理の円滑な運営を図るため、診療情報管理及び診療記録に関する事項の検討を行う。

活動状況

- （1）開催時期 月1回 第2水曜日
- （2）審議事項 ・診療記載の開示等について
・診療記録の記載について

- ・各文書の書式変更について
- ・メンバー変更について
- ・診療情報の共有について（オーダーでの文書管理）
- ・サマリーの記入率について
- ・その他

(4) 人員構成 委員長1名 診療情報管理士3名 委員6名

血液浄化センター運営委員会

血液浄化センターが安全かつ適切な医療・ケアを確立するために必要な事項を定める。

活動状況

- (1) 開催日 年1回の定例会を開催。ただし、必要に応じて委員長は臨時の委員会を招集できる。
2025年3月27日
- (2) 審議事項
- ・定期健診の名称変更誕生日健診⇒定期健診へ
 - ・初診時検査の項目追加について
 - ・透析患者の高齢化対策、人生の最終段階を支えるニーズへの対応
 - ・送迎サービスの運用について
 - ・透析室入室時間の検討
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名、その他センター長が必要と定めたもの

褥瘡対策委員会

褥瘡予防対策と治療を検討し、検討し、褥瘡に関する知識の増進、普及を図り、日常生活自立度が低い入院患者に対して、褥瘡の予防対策と治療・医療の向上・ケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 褥瘡対策委員会：毎月第3水曜日15:00～15:30
 褥瘡対策チーム会議：毎月第3水曜日13:10～14:30
 褥瘡回診：第1水曜日・第3水曜日14:30～15:00
 チームメンバーの部署内活動1回/週（褥瘡患者の褥瘡評価と処置の確認を行う）
- (2) 審議事項
- ・褥瘡予防対策と治療の討議・検討
 入院患者の危険因子・褥瘡保有者の人数把握
 褥瘡予防対策と治療計画作成・評価・実施＊回診
 ・エアーマット、体圧分散マットの管理
 ・褥瘡対策のマニュアルの見直しと修正
 ・委員会規定の適切な改定
 ・褥瘡に関する知識の増進・普及
 *褥瘡保有患者症例検討＊褥瘡発生数（持ち込み・院内発生）、治癒率の確認
 *“褥瘡ケア通信”的発行
 *研修会の開催
 2025年3月19日（水）17:15～18:15
 「排泄のコントロール」研修会開催

講師：医療法人医誠会特定疾患分野対策室皮膚排泄ケア認定看護師香川愛先生
受講者60名

(3) 人員構成 委員長1名 委員11名

外来・救急運営会議

外来及び救急外来における診療部・看護部・薬剤部・医療技術部・事務部の業務を円滑に進めるための体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 奇数月第1金曜日16時～

- (2) 審議事項
- ・地域連携室を通しての予約状況について
 - ・救急外来患者数の統計
 - ・外来診療に関する事項について（一般外来・救急外来）
 - ・ワクチンに関する事項について

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長2名 委員9名

エコ委員会

公益財団法人豊郷病院の各事業所におけるエコ活動への継続的な取り組みを推進し、各職員が業務のムダ・ムラ・ムリを無くし、不要な経費を削減し、法人の収益改善に貢献することを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 月1回最終月曜日

- (2) 審議事項
- ・職場巡視（委員会終了後）
　　ムダの排除、並びに職員へのエコ意識の周知
 - ・エコ強調月間にポスター配布による啓発活動や、点検票により各職場の点検を実施
　　4月…『廃棄物』、7月…『電気』、12月…『水』
 - ・冷暖房の効率的な使用方法の検討及び周知
 - ・節電対策の周知徹底
 - ・廃棄物の分別と削減方法の検討及び周知

(3) 人員構成 委員長1名、副委員長1名、委員18名

関連施設委員会

法人内の関連施設が有機的に連携できるよう課題解決を図る会議

活動状況

(1) 開催時期 年4回（2024年8月をもって休止とした）

- (2) 審議事項
- ・各事業所の運営状況
 - ・近隣施設の動向

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員19名

SPD委員会

物品管理状況の把握と経費削減を目的に、委員会にて報告と提案を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月第3火曜日
- (2) 審議事項 物品購買実績報告
物品消費実績報告
新規医療材料等導入案内
- (3) 人員構成 委員長1名 委員10名

虐待防止委員会

精神保健福祉法が一部改正されたことに伴い、新たに精神科病院における虐待防止対策等が規定されることとなり、精神科病院における業務従事者の精神障害者に対する虐待防止に関する、意識向上、研修の実施、普及啓発など虐待を防止するために必要な措置について取り組みをしなければならないとなった。そのため、虐待防止委員会を設置し、これらの対策を講じていく。

活動状況

- (1) 開催時期 年3回
 - ・2024年6月20日（木）
 - ・2024年8月27日（火）
 - ・2024年12月17日（火）
- (2) 審議事項
 - ①当院の虐待防止・対応マニュアルに関する事項
 - ②職員や関係者に対しての虐待防止に関する研修の実施および啓蒙啓発
 - ③虐待防止のチェックとモニタリング
 - ④虐待に関する相談体制の整備
 - ⑤虐待を受けたと思われる被虐待者の早期発見、早期対応に関すること
 - ⑥虐待に対処するための措置
 - ⑦虐待発生時の院外関係機関との連絡及び連携に関すること
 - ⑧報告事例についての検証結果と再発防止策を職員に周知・徹底
 - ⑨再発防止策を行った結果の検証を行う
 - ⑩その他虐待に関すること

虐待防止研修会年1～2回

院内ラウンド月1回

その他

- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

その他委員会

- 表彰委員会 ○懲戒委員会
- 制服委員会 ○制服委員会専門部会 歯科衛生士の部
- 保育所運営委員会
- ワークライフバランス推進委員会 等

〈藥 剂 部 門〉

〈医療技術部門〉

薬剤部理念

豊郷病院薬剤部は病院の基本理念に基づき、患者さまの安全を確保し、安心と満足が得られる質の高い医療の提供とサービスに努めます。

基本目標

1. 責任ある医薬品管理の徹底。
2. 適正な処方せんによる調剤。
3. 患者情報の収集・解析と適切な対応。
4. 医療事故防止策の周知徹底。
5. チーム医療への積極的な参画。
6. みんなが納得するサービスの提供。

1 薬剤部事業報告

薬剤部

① 概要

薬剤部では調剤業務（外来、入院）以外に、医薬品の安全性などの情報を収集・整理し、スタッフに情報を伝達する医薬品情報管理（D I）業務、抗癌剤や高カロリー輸液（TPN）の無菌調製業務、薬剤管理指導、配薬セット等の病棟業務、そして手術・検査予定患者の手術の延期などの不利益を回避するための外来での入院前面談など様々な業務を行っています。

とくに、薬剤管理指導業務については、ほぼすべての入院患者さんの持参薬確認を行うとともに、患者さんへの薬効や副作用の説明、有効性や副作用の発現の有無などの確認を行っています。また、薬剤総合評価調整加算の算定にも力を入れ、ポリファーマシー対策にも取り組んでいます。なお、入院中に薬の変更があれば薬剤管理サマリーを調剤薬局に提供するなど薬薬連携強化にも積極的に取り組んでいます。

また、地域の皆さんに少しでも安心して薬を服用していただけるよう、豊郷病院広報誌『以心伝心』（年4回発行）に【～薬剤部だより～】というページを設け、薬に関する内容の掲載を行っています。

今後も薬物療法の質と安全確保に努め、薬の専門家として地域医療に貢献していきたいと考えます。

② スタッフ

薬剤師	常勤	： 7名
事務員	常勤	： 1名
	非常勤	： 3名

③ 活動実績

薬剤管理指導人数	2,788人
薬剤管理指導件数	5,955件
薬剤管理指導料算定件数	4,754件
退院時指導件数	1,182件
麻薬指導加算件数	44件
抗がん剤調製	187件
TPN製剤調製	1,082件
入院処方箋枚数	33,678枚
入院注射箋枚数	34,307枚

2 医療技術部事業報告

栄養科

① 概要

栄養科は知識と技術の向上に励み、また多職種と連携して患者さんが入院・退院後の生活を安心して送れるように努めております。

② スタッフ

科長 篠原 ひづき（科長）

安西 麻里子

西川 真保

大内 紀穂

（認定資格：病態栄養専門管理栄養士 2名、栄養サポートチーム専門療法士 1名）

③ 活動実績

彦根市ケアマネジメント支援会議

・第1回（6月18日）、第6回（8月20日）

湖東・食と栄養を考える会

・10月10日‘令和6年度 湖東圏域栄養ケア研修会’

2025年3月14日 2024年度研修会～嚥下食を作つてみましょう～
こう地域チームケア研究会

・3月13日 口腔機能の評価と「食」に関する切れ目のない支援

令和6年度 認知症カフェ（豊郷町 隣保館 地域振興室）

・6月17日 2025年2月15日 テーマ「認知症と食事」

④ 研修活動

・令和6年度特定健診・特定保健指導実践者育成研修

7月31日、8月7日、8月21日（1・2日目：Zoom、3日目：草津）

・第16回日本臨床栄養代謝学会近畿支部学術集会（京都）

・第36回京滋NST研究会（京都）

・滋賀県栄養士会医療事業部研修会

・滋賀県栄養士会2024年度生涯学習（Web受講）

・その他研修会を現地、Webセミナー、e-ランディング等で受講

（診療報酬改定、GLIM基準、低栄養、リハ・口腔・栄養、慢性腎臓病、
摂食嚥下障害、在宅支援連携、糖尿病、心不全、災害時栄養アセスメント、等）

栄養科 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般食	12,242	12,615	12,074	12,671	12,955	13,223	13,572	12,583	12,297	12,284	11,233	12,307	12,505
特別食	8,269	7,475	7,625	7,004	7,396	7,302	6,660	6,432	7,419	7,147	5,569	6,319	7,051
食数合計	20,511	20,090	19,699	19,675	20,351	20,525	20,232	19,015	19,716	19,431	16,802	18,626	19,556
経管栄養食	271	460	491	423	235	259	257	332	256	201	224	186	300
総合計	20,782	20,550	20,190	20,098	20,586	20,784	20,489	19,347	19,972	19,632	17,026	18,812	19,856
特別食加算の割合	40.3%	37.2%	38.7%	35.5%	36.3%	35.6%	32.9%	33.8%	37.6%	36.8%	33.1%	33.9%	36.0%

(統計：栄養科)

栄養指導実績（2024年4月～2025年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	糖尿 D M	4	4	6	5	0	2	2	2	0	2	3	3	33
	脂質異常症 H L	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	高血圧 H T	3	2	13	3	3	1	1	1	2	0	0	1	30
	心不全 心不全	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
	腎臓 腎臓	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	透析 H D	2	2	2	1	2	0	2	1	2	1	2	3	20
	呼吸器疾患 C O P D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脾臓 脾臓	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	胃切術後 胃切	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	胃潰瘍 胃潰瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低残渣 低残渣	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	肝臓 肝臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貧血 貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嚥下 嚥下	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	肥満 O B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来	低栄養 低栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食生活 食生活	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	11	10	25	12	10	3	6	4	4	6	5	7	103
	糖尿 D M	58	39	52	46	53	53	59	41	53	44	60	47	605
	脂質異常症 H L	6	1	1	4	5	4	3	6	2	5	1	6	44
	高血圧 H T	8	7	6	10	8	8	5	3	11	5	5	4	80
	心不全 心不全	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	肝臓 肝臓	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
	腎臓 腎臓	1	1	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	8
	透析 H D	0	4	1	2	1	1	1	1	3	0	4	1	19
	高尿酸血症・痛風 高尿酸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	呼吸器疾患 C O P D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脾臓 脾臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肥満 O B	2	3	0	5	3	5	2	2	2	2	0	1	27
	小児 小児	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	貧血 貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低栄養 低栄養	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	がん C a r	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	胃切術後 胃切	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定保健指導 特保	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	計	76	56	65	68	74	73	72	53	72	60	70	60	799
	総合計	87	66	90	80	84	76	78	57	76	66	75	67	902

(統計：栄養科)

放射線科

※活動状況及び放射線撮影データは(36)頁参照

臨床検査科

※活動状況及び検査データは(40)頁参照

臨床工学科

① 概要

臨床工学科の理念に基づき、患者様が安全・安楽に治療が受けられるよう医療機器の保守・点検・操作の充実を目指します。また、より良い治療のサポートが出来る様に個々のスキルを上げ、チーム医療に携わっていきたいと考えています。

② スタッフ

医療技術部長兼技士長：福本 喜之 係長：北川 香里 主任：外川 巧

常勤 7名

認定資格（呼吸療法認定士 3名、血液浄化専門臨床工学技士 1名、透析技術認定士 1名）

③ 活動実績

★2024年7月より内視鏡業務に介入。スコープや本体の危機管理、使用前点検、スコープの洗浄に携わっています。治療にも携わっており、組織細胞検査、ポリープ切除、ピロリ菌検査、その他治療に関するデバイス操作も行っています。

活動状況及び内視鏡件数は「内視鏡センター」(46)頁参照

★毎月医療機器院内研修会実施 講師：臨床工学技士 対象：看護師他

★医療機器点検・検査・特殊浄化療法

	品目	2022	2023	2024
医療機器点検総件数	人工呼吸器	42	54	46
	麻酔器	156	156	119
	ベッドサイドモニター	452	374	579
	輸液・シリンジポンプ	264	143	142
	超音波ネプライザー	76	77	90
	バックバルブマスク	18	45	23
医療機器保守点検（透析）	DCS/DBB-100NX,DBG03, DBB-200Si（2023/2月～）	34	34	34
	DAB-20	2	2	2
	RO	2	2	2
	A・B剤溶解装置	2	2	2
	J U N 5 0 5	12	12	12
医療機器修理総件数		218	234	190
睡眠時無呼吸検査解析総件数	PSG解析	48	56	57
	SAS 2 1 0 0 解析	39	46	44
	PULSOXMe300解析	24	12	6
生菌・エンドトキシン測定	エンドトキシン測定、生菌培養	152	142	142
CPAP導入総件数	S 1 0 、 DS、 Airmini、 A10	25	41	28
InBody検査総件数(体液量測定)		376	317	236
シャントエコー		74	112	118
発熱外来	SARS-CoV-2抗原検査	3334	2965	3298
	インフルエンザ抗原検査	1553	2672	2591
	PCR検査	5481	1419	114
特殊浄化総件数	LDL吸着	0	0	0
	エンドトキシン吸着	0	1	2
	CHDF	3	22	4
	血液吸着（DHP）	8	0	0
	GCAP	0	4	18

④ 研修活動

業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	4月	北川	大阪
第34回日本臨床工学会	5月	福本	福井
第69回日本透析医学会学術集会(演者)	6月	北川	横浜
業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	7月	山脇	大津
第45回滋賀腎・透析研究会(演者)	9月	北川	大津
業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	10月	岡田	名古屋
第28回日本透析アクセス医学会学術集会	10月	北川/山脇	京都
業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	12月	畠地	大阪
第12回JHAT隊員養成研修会	2月	山脇	浜松

〈看 護 部 門〉

看護部の理念

その人らしさの回復をめざし
その人らしく生きることを支える

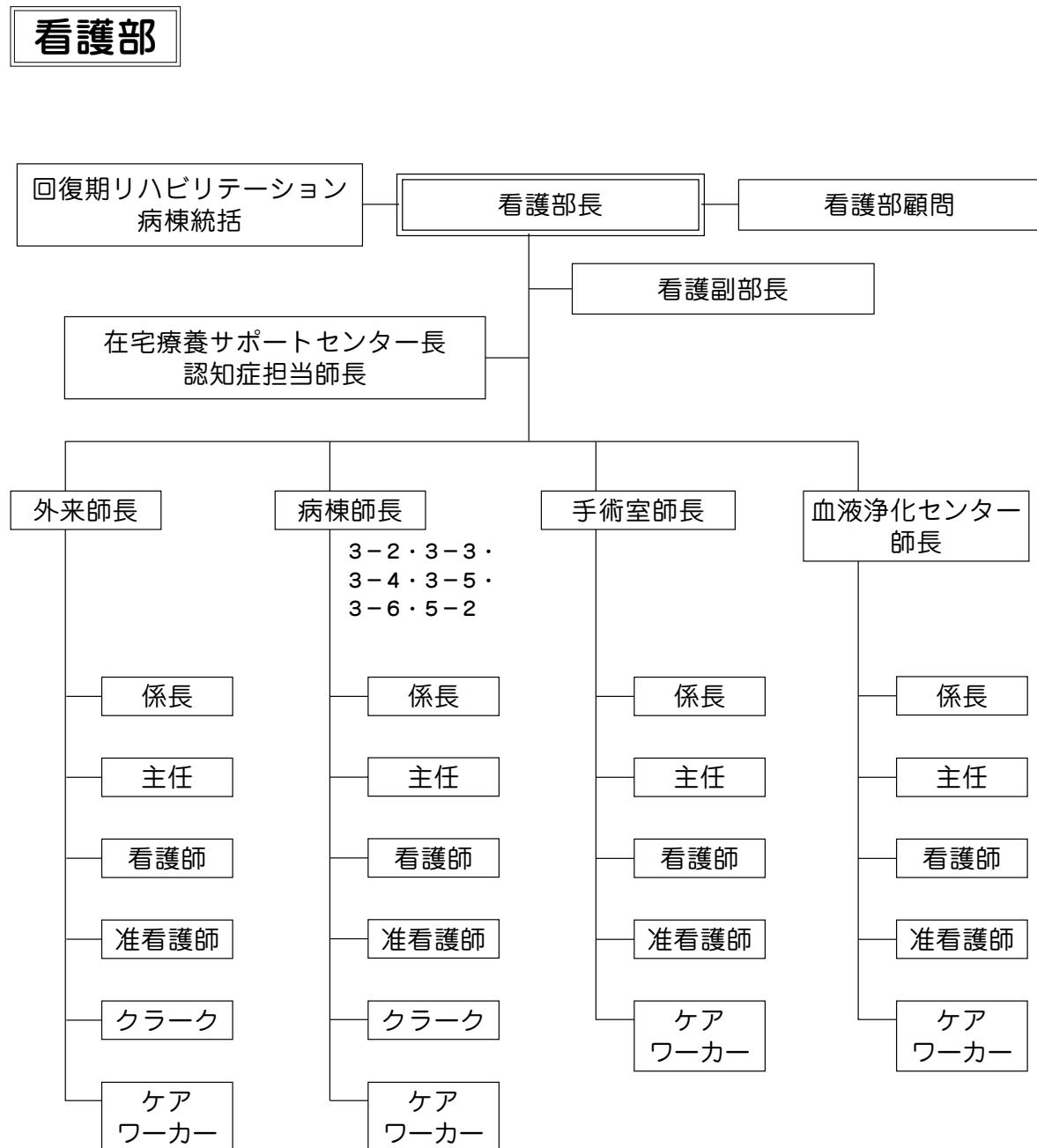
看護部の基本方針

- 地域医療計画に基づき、病棟、病院、地域、施設との看護連携を促進し、切れ目のない看護サービスを提供する
- 患者・家族を中心として仲間及び多職種と協働できる向上心ある組織風土を築く
- 自立支援、意思決定支援につながる看護技術およびコミュニケーション能力の向上をめざす
- 「育つ」「育てる」人材育成のできる教育的環境を整える
- リスクマネージメントを推進し、医療事故を未然に防ぐ
- コスト意識を高くもち、効率性を考えムダ・ムリ・ムラをなくす

公益財団法人 豊郷病院 看護部

1 看護部組織系統図

2024.4

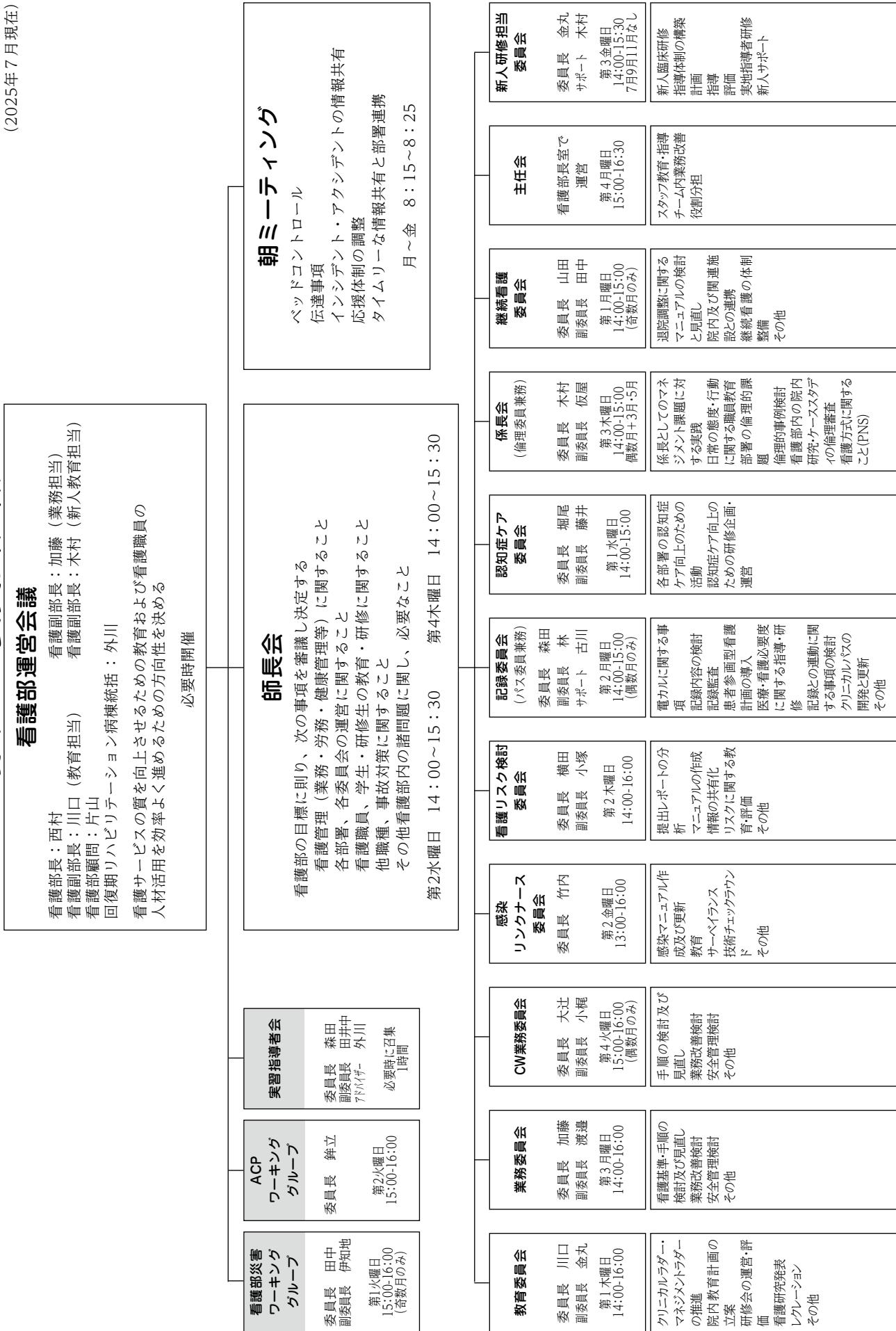


2

國組織委員會運營部護看

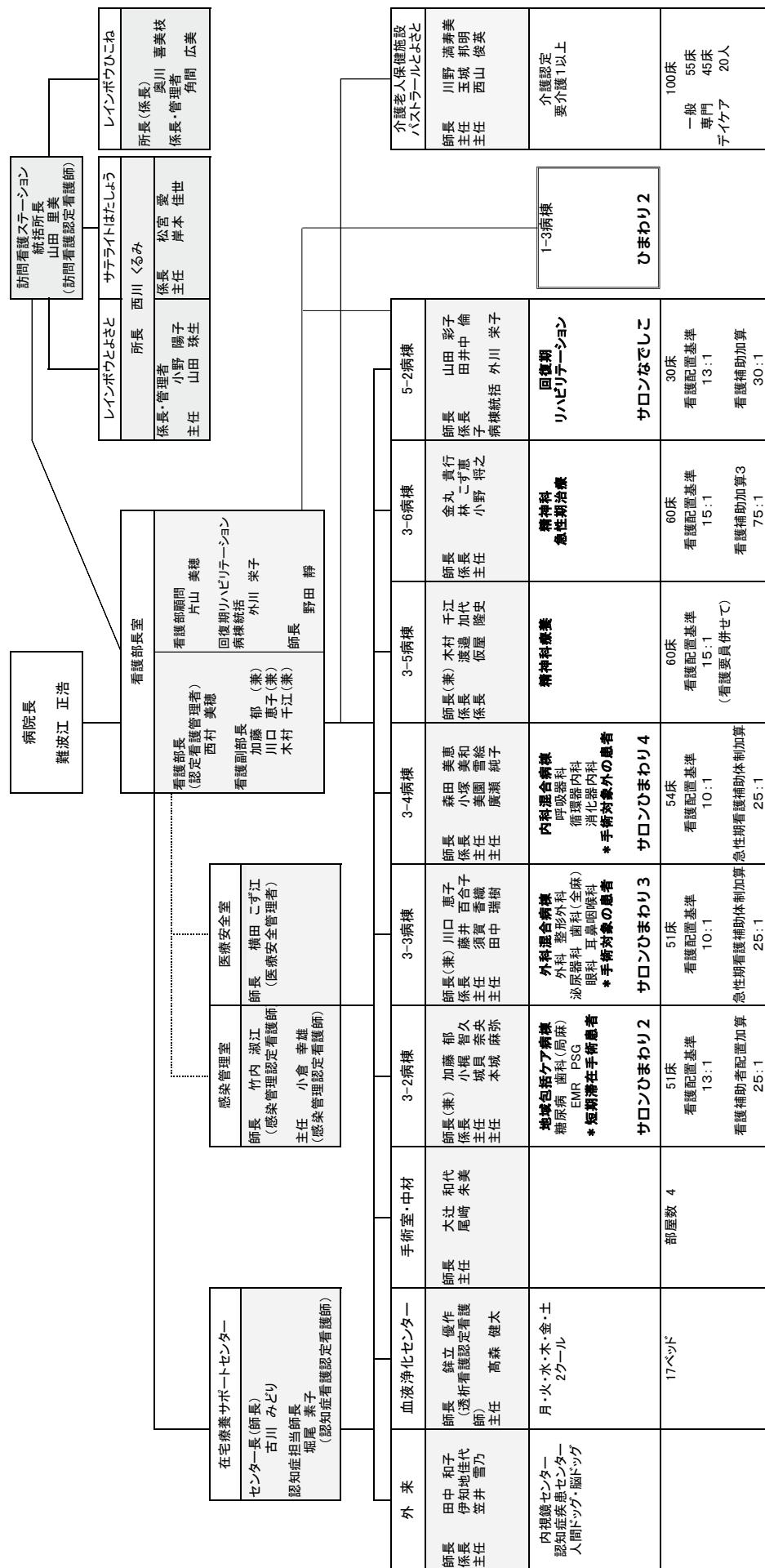
(公財) 豊郷病院一年報

(2025年7月現在)



3 看護サービス提供組織図

(2025年5月現在)



4 看護部 単位別目標及び評価

部 署	目 標	評 値
看護部	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を実践する</p> <p>1) 各部署の役割機能を理解し、看護の専門性を發揮する</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署の役割機能を理解し、効果的な自部署の運用を行う (業務に関連した学習、勉強会、退院調整カンファレンス充実、コンサルとの数値目標、患者満足度) 各部署にて寝たきり、せん妄、認知症の進行・予防のための対策を実践する (院内デイケアの再構築、褥瘡の院内発生率の低減、認知症対応力向上) 身体拘束数の低減と解除に向けた取り組みを強化する(カンファレンスと記録の充実) 自部署の倫理的課題に気づき、改善に向けた行動ができる (係長会発信の4分割法を活用した倫理カンファレス、病院倫理委員会に必要時事例を報告する) <p>2) チーム医療を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署が多職種を交えた日々のカンファレンスを充実させ、治療・その後の生活を見据えた看護を実践する(メンバー：医師・看護師・他必要な職種) 各部署が役割を理解し、院内・地域との連携を強化する (とよサポ、継続看護委員会、連絡カード、入院時支援情報など) 3) 患者・家族の意思決定を支援する <ul style="list-style-type: none"> ACPワーキングの活動を中心に、各部署での意思決定支援を実践する ビリーブメントカンファレンスの院内での普及・定着を目指す <p>2. 質の高い看護を提供するため、看護実践力、臨床教育力、看護管理力の向上を図る</p> <p>1) クリニカルラダーに基づく看護実践力の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署における特徴的な看護技術・知識を身に着ける：(勉強会、e-ラーニング活用、業務委員会・教育委員会、2024年度～ラダーチェック表変更) 看護職員キャリア開発プログラム(黒ファイル)の活用を再度強化し、看護職員自身が目標をもち、学習に主体的に取り組むことができる (生涯学習ガイドラインの活用) 	<p>1.</p> <p>1) 各部署の役割機能について、看護職員の人員不足による影響もあり、病院の方針に則り第1期10月、第2期翌2月から病床数を制限し病床運用している。同時に疾患に関する病棟編成も行い、現場では勉強会を実施し安心して医療・看護が提供できる体制づくりを行った。また、施設基準をクリアするため看護部ベッドコントロールと協働し、各師長は役割を認識し病床コントロールを実施している。カンファレンスについては、日々実施できている。緩和ケアや身体拘束、NST、DSTなど多職種チーム活動を実施し、チームの一員として看護も活躍している。</p> <p>せん妄発生数については、4～2月にDST介入38件中せん妄発生は24件であった。整形外科手術患者数の増加もありせん妄発生数は増加したが、疼痛コントロールなど初期対応はできている。しかし、せん妄チェックリストの記入漏れなど算定に必要な項目が抜けやすいため、今後も認知症ケア委員長と医事課と協働し対応していく。</p> <p>院内デイケア2が活動を開始して1年半が経過した。離床時間の確保やレクリエーションを通して認知症高齢者への精神的・身体的支援ができた。今後も、各部署単位での院内デイケアの運用と併せ、運営を継続する。</p> <p>身体拘束者については、4～2月に一般病棟・地域包括ケア病棟共に認め、身体拘束数は、3-2病棟14件 3-3病棟48件 3-4病棟44件であった。各部署ともに、身体拘束数は前年度比1～2割減にすることができた。</p> <p>身体拘束解除に向けたカンファレンスは実施できているが、記録の充実については課題がある。2025年1月～身体的拘束最小化委員会を立ちあげ、更なる身体拘束最小化へ多職種と協働し取り組む。</p> <p>倫理カンファレンスについては、各部署継続して取り組みを強化する。</p> <p>2) 医師を交えたカンファレンスは数例のみであり、今後も強化する。多職種カンファレンスは1回/W実施している。入院について、一般病棟で病床制限をしている現状の中、レスパイト入院について基本現在受け入れはしていない。4～2月とよサポが行っている入退院支援数は41件あった。入院前からの支援は継続して実施している。相談件数も月平均250件受けている。</p> <p>3) ACPワーキングが活動しており、他職種への周知と記録の充実のために10月から書式を改善した。ビリーブメントカンファレンスについて、委員長を中心に促進している。</p> <p>また、緩和ケア委員会との連携も始めた。</p> <p>2.</p> <p>1) 教育委員会が中心に教育計画を立案し、ラダー別研修を実施している。ラダー別に教育方法を変更し、圏域内の病院との合同研修等も組み込み、地域の看護職との交流もふまえた研修が実施できた。e-ラーニングの視聴状況(アクセス数)は3月末71.3%であった。</p> <p>看護職員キャリア開発プログラム(黒ファイル)の活用は、各部署面接時期は少しづれることもあるが、ほぼ100%できている。生涯学習ガイドラインの考え方について教育委員から説明した。</p>

部 署	目 標	評 値
看護部	<p>2) 専門性のある研修を受講し、臨床教育力の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者育成（ファーストレベル研修、セカンドレベル研修） ・実習指導者、新人研修責任者、各種認定看護師の育成など ・主任会・係長会を中心とした人材育成を目指す <p>3) 看護管理力の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・師長が診療報酬改定内容について理解し、看護実践につなげる ・師長が年3回の個人面接を実施する <ul style="list-style-type: none"> + (1 on 1 ミーティングを取り入れ職員の育成やモチベーション向上へ繋げる) ・PNSにおける課題に取り組む ・質の高い看護実践力をもつプラチナナースの人材活用を行う ・看護管理者として安全な看護の提供を行う (看護管理者がインシデントレポートの内容を共有し質の改善に取り組む：看護部長医療安全対策カンファレンスへの参加) ・BCP（事業継続計画）の構築に、院内組織と協働し取り組む (災害ワーキングと協働) *厚生労働省の資料参照 <p>3. 看護のやりがいを仲間と共有し、楽しく働き続けられる環境づくりを行う</p> <p>1) 働く者同士が認め協力しあえる職場環境づくりを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場において自ら挨拶する習慣を促進する ・世代を問わず、働き続けることのできる勤務体制や業務内容を検討する ・定期的なミドルマネージャー会を行い、課題を常に共有し解決に向け対応する (ミドルマネージャー会、病棟・部署会議の内容を看護部長へ報告する) ・看護補助者との協働により、より良い療養支援を行う (質向上のため、看護補助者のラダーを再開・運用する) ・職員満足度調査を行い、職場環境について評価改善につなげる（年1回） ・ナラティブを日頃から活用し、看護を自ら考え振り返り看護の魅力を他者と共有する <p>2) 各部署が時間外勤務の削減を目指し、業務改善を実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署が時間外勤務の削減を目指し、業務改善を実践する ・各部署時間外目標を決め、実践へ取り組む ・ICTの推進を行い、業務効率化に取り組む (記録の音声入力、勤務表作成ソフトの変更) 	<p>2) 今年度昇進者は師長3名 係長4名 主任3名であった。新人研修責任者研修修了者1名、NST専門療養士研修修了者1名、糖尿病療養士1名、精神科看護認定看護師認定試験合格者1名、訪問看護認定看護師研修修了者1名を輩出した。今後、専門職として得た知識を看護の質向上に貢献し活躍するよう促していく。</p> <p>主任会においては、課題抽出・課題解決と論理的にまとめる力・伝える力をつけるための取り組みに力を入れている。成果発表会も実施し、主任自身の達成感にもつながるような取り組みができた。</p> <p>3) 2024年度6月診療報酬改定に伴い、師長会にて勉強会を3～4回実施した。11月には近畿厚生局実地指導に伴い、記録の整備を更に進めた。指摘事項については、他職種と協働し、周知・徹底した。また、内容の特殊性別に師長と個別に内容の精査など進めることができた。安全な看護の提供について医療安全対策カンファレンスに参加し、事例の共有と改善に向け意見交換を行った。管理者向けに面接技法の研修会は実施できていない。災害ワーキンググループが中心に、マニュアル・アクションカード・備品等整備している。訓練毎に活用し改善を重ねている。近隣の災害拠点病院の訓練に2名参加し、当院の体制整備の参考にする。</p> <p>3.</p> <p>1) 定期的なミドルマネージャー会を実施し、職場の業務改善などに取り組んでいる。</p> <p>今年度、看護補助者のラダーを再開した。今後も目標を持ち、看護職と協働できるよう育成する。部署毎に目標を立てチーム活動を行い、目標に向かって各スタッフが力量を発揮できるよう支援している。今年度もナラティブを実施することができた。</p> <p>2) 9月11日～音声入力（アミボイス）を各部署導入した。1月に使用状況の確認を行ったところ写真機能が最も効率的で使用頻度も高かった。メモ機能など今後も使用頻度を高め、各部署記録の効率化や時間短縮のため活用する。業務改善や人的負担軽減のため、保清タオルのディスポ化を2025年4月から全病棟完全に変更する。また、看護補助者が病棟から離れる時間を削減し患者対応にあたる時間を少しでも確保するため、7月4日からリネンの納品と不潔回収を業者に依頼するよう変更した。</p>

部 署	目 標	評 値
3-2 病棟	<p>ひとり一人を人として尊重しその人の生き方や生活ができるように支援する</p> <p>1. 患者が生活するために必要な能力を維持・向上できるよう看護の専門性を發揮する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの継続、生活情報の収集・共有を行い退院後の生活を見据えた看護を実践する（多職種とのカンファレンス開催・カンファレンスの充実に向けた取り組みを実施する） ・せん妄、認知症の進行を最小限にし事前に対策が実施できる（院内デイケアの充実、睡眠覚醒リズム表の活用、身体拘束低減にむけた取り組みを実施する） ・医療安全への意識を高め、安全な療養環境の提供に向けて取り組みが実施できる <p>2. 患者、家族の意思決定を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の看護のなかで意思決定を意識した関わりを行いACP実践記録の活用ができる ・自部署の倫理的課題改善に向けた行動ができる（倫理カンファレンス、ビリーブメントカンファレンス定着に向けた取り組みを実施する） <p>3. 質の高い看護を提供するために自己の成長を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニングの活用（年間視聴計画表を作成し個人面談時に管理者も確認を行う） ・キャリアファイルを活用し目標を明確にする（3回/年の個人面談の実施） ・勉強会の開催について検討し取り組みを行う <p>4. お互いを認め合い共に協力しあえる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族・職員へ敬意をもって行動できる（敬語を使用する） ・働きやすい職場環境づくりに全員が参加し取り組みを行う ・ミドルマネージャー会（3回/年）において職場環境の現状を確認し必要な対応を検討していく 	<p>1. 患者カンファレンスが毎朝行われるようになり、この場でストーリー性のある患者情報の共有を行っている。認知症患者の夜間入眠状況も記録に残し夜勤者が日勤者へ状況を報告することで、病棟内の「サロンひまわり」と「ひまわり2」の2つのひまわりの効果的な活用に繋がっている。その結果、長期間にわたる著しいせん妄患者がいなくなった。 毎週行う離床センサーラウンドも定着し、患者に適したセンター選定が可能となり無駄鳴りの改善に取り組めている。しかし、療養環境の整理整頓は継続して行うことの難しさが課題となっており、次年度も方法を工夫し取り組んでいく。</p> <p>2. 意思決定支援に意識的に取り組みTUNAGUノートに記録を行う看護師もいたが、ほとんどの看護師が、しっかりと腰を据えて患者の思いを聞き出す機会がもてていないと感じている。 今後、受け持ち患者の生き方に関心を持ち、個別性に目を向けて看護を実践していく必要がある。</p> <p>3. e-ラーニングを使用しての自己学習はあまり進んでいなかった。また、年間で二度にわたる師長交替があり個人面談も予定通りに実施できなかった。次年度は、自己学習を実践できるルール作りを工夫し、学びの時間を確保できるよう計画していく。</p> <p>4. 仲間への感謝の気持ちを声に出す行動は、職員の多くがとれるようになった。しかし、自分が助けてほしいと感じる時に「手伝って」と言えず、分からぬことを「なぜ？」と聞けない職員もまだいる。心理的安全性が十分に確保された職場になるよう、今後も仲間を認め合う優しい風土を根付かせていく必要がある。</p>
3-3 病棟	<p>1. 急性期病棟の役割を理解し、看護の専門性を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各科の専門的な知識習得とスタッフのスキルレベルを一定化できるよう定期的な勉強会を実施し、アセスメントスキルの向上、マニュアル作りやリスク回避、対応について理解し実践できる ②受け持ち意識を高め、退院後の生活を見据えた関わりができるよう、他職種からの参加も依頼し、カンファレンスを充実させ連携したチーム医療が行えるよう実践する ③患者、家族の意思を尊重できるような対応力を身につけ、日々の実践の中で意思決定支援を実践する ④倫理カンファレンス・ビリーブメントカンファレンスの実施 <p>2. 安全・安心できる療養環境を整え、質の高い看護を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不安なく安心して治療が受けられるよう、患者に応じた安全な療養環境を調整、提供できる ②この病棟に入院してよかったですと思ってもらえるよう、丁寧な説明を行い、患者・家族へ気配りや配慮ができ、患者に応じて統一した看護の提供ができる ③インシデント発生時の検証や改善対策を早期に行い、再発防止、削減に取り組む 	<p>1. ①定期的な勉強会はできなかったが、整形外科の勉強会を開催し、整形外科手術のパンフレットの作成を行なうことができた。看護研究の題材としてまとめることができた。 今後は勉強会を継続して行えるようにしていきたい。 ②他職種が参加するカンファレンスは開催できていないが、受け持ちの患者の気になる事などがあるとカンファレンスに出て話し合うことはできていた。 ③④ IC場面に看護師が立ち会うことはできていた。患者・家族への支援は、その日の受け持ち看護師が関わったことを記録に残したり、MSWに相談したりすることはできていた。倫理カンファレンスやビリーブメントカンファレンスの実施はできなかったが、透析室で開催されたカンファレンスには参加できた。</p> <p>2. ①看護人員の減少もあり、業務が煩雑になりやすくスタッフの対応も個々に応じてできていなかったこともあったが、話し合いながら療養環境に配慮することはできていた。転倒事例や対応についての家族からの声もだったので、安心して療養して頂けるようにスタッフの対応や言葉かけなどにも配慮し実践していく。 ②申し送りが不十分なこともあり統一できることもあったので、今後統一した看護の提供ができるように周知の方法を強化していく。</p>

部 署	目 標	評 値
3-3 病棟	<p>④接遇、対応面において動画や資料などを用いて勉強会を行い、意識改革、接遇・対応能力を強化する</p> <p>3. お互いを認め合え、心理的安全性の高い職場環境を構築する</p> <p>①ミドルマネージャー会議をリアルタイムに行ない、情報共有、意思統一を行い問題解決に向けて取組み実践する</p> <p>②チーム活動や雑相談を取り入れ何でも話せる場を設け、個々が互いに認め合い、尊重できる環境を構築する</p> <p>③看護について考える時間を大切にし、気軽に看護を語れる場を設け実践に活かす</p> <p>④毎日気持ちよい挨拶から始め「お・あ・し・す」運動を継続し、挨拶で勤務を終了し声をかけやすい環境づくりを行う</p>	<p>③インシデント発生時はスタッフへの周知を心がけ、改善策を話し合うようにしている。再発してしまった事例もあり今後も取り組んでいく。</p> <p>④勉強会はできなかったので今後も接遇、対応面においては強化していく。</p> <p>3.</p> <p>①ミドルマネージャー会議は後半開催できなかったが、リアルタイムに話合うことはできていた。</p> <p>②③④</p> <p>チームの目標は掲げることができたが、活動までいかなかつた。看護について話し合う機会ももつことができなかつた。事例を通して少しでも振り返りができたらいいと思うので、今後は機会を作っていく。挨拶はスタッフ間や患者さんへもできていた。</p>
3-4 病棟	<p>1. 質の高い看護を提供するために、安心と信頼を得られる接遇を心がける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で挨拶をおこなう ・笑顔で対応し安心感をあたえる ・正しい言葉使いで信頼関係を築く <p>2. 1人ひとりが役割を發揮し、必要な看護をチームで提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理カンファレンス・ビリーブメントカンファレンスの充実 ・患者への意思決定支援への取り組み ・退院に向けての早い段階からの取り組み <p>3. 1人ひとりがやりがいと成長を実感できる職場環境作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんでも言い合える雰囲気づくり ・院内・院外研修の参加促進 ・勉強会の開催 	<p>1.</p> <p>挨拶や言葉使いは日々の業務の中で注意しあうことが出来ている。身だしなみについては他部署より注意を受けることも多かったため、定期的な身だしなみの確認が必要であると考える。丁寧な言葉使いや対応が少しでも継続できるように日々伝えていく事を今後も継続し、接遇に心がけていく。</p> <p>2.</p> <p>倫理カンファレンスは実施することができていない。日々の患者への対応の中で、それが気付いた時や看護に困った時、解決できない問題や意見が欲しいときなどはカンファレンスを実施し、問題に取り組むことはできている。ACPの介入は介入することに難しさを感じているスタッフも多いため、ACP委員を中心に再度研修などを考えていきたい。</p> <p>また、入院時から早い段階で退院に向けての取り組みを行うように伝えているが、受け持ち意識があまりなくこちらから伝えられないといけない状況である。連携シートや看護サマリーをあまり見ない傾向もあるため、受け持ち意識を高めるための取組が必要と考える。</p> <p>3.</p> <p>院内・院外の研修についてはできるだけ参加できるように調整はできた。病棟の勉強会についても病棟の専門性に特化した内容で4回開催することができた。職場環境については、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。しかし、先輩からの指導や声掛けに圧を感じている新人看護師もいることから、新人看護師にはできるだけ声をかけ不安や困っていることなどを話せるようにしていかたい。</p>
3-5 病棟	<p>1. 患者自身の意思を尊重した生活支援・意思決定支援を実行し、「その人らしい生活」を他職種と共に支える</p> <p>1) 情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他職種を交えたタイムリーなカンファレンスを開催することにより患者理解を深める <p>2) 患者の意思決定を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートを活用し、患者自身の命に対する意思を確認し、その思いを家族へ伝えていく 	<p>1.</p> <p>1) 受け持ち看護師が主体でカンファレンスを行うことで内容によってはタイムリーにならないことはあるものの、情報が共有でき患者理解を深められた。</p> <p>2) 今年度は、看護研究にてエンディングノート記載時の患者の精神状態の把握を行い、記入した内容が他者に通じるのかを確認しながら行えたため質が高められた。</p> <p>家族が居なく、自分で記載できない患者や言語理解に乏しい患者が今後も増加していく。エンディングノートで把握できない部分に関しては、当院倫理委員会を通じて他職種と共にその患者の意思決定を支援していく必要がある。</p>

部 署	目 標	評 値
3-5 病棟	<p>3) 退院支援に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の退院に対する意思を確認し他職種で情報共有する ・退院支援ファイルや退院支援進捗報告の内容を活用し、他職種と支援の優先順位を検討し支援する ・退院前訪問、退院後訪問を実践し、退院前から“よサボ”との連携を実践することで、通院に備えた情報共有を行うことが出来る <p>4) 生活環境の整理整頓と清掃の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者の身の回りの環境（病室および衣類等）について、患者の意思を確認しながら定期的に整理整頓と清掃を行い、衛生的で過ごし易い生活環境を保ち続ける <p>2. 質の高い看護を提供するため、学習に取り組み、学びを深める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) e-ラーニングを活用し、理解を深める 2) 部署特有の看護技術と知識を身に着ける <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会やDVD、動画の視聴を活用する → 急変時の対応・入退院・身体拘束の方法 <p>3. 病棟スタッフがお互いを認め合い、協働出来る病棟の環境を作る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病棟会議で、参加者全員が必ず一度は意見を述べる 2) 業務整理を行う <ul style="list-style-type: none"> ・インバケットの学びを活用し、リーダー業務の輪番制を取り入れる ・スタッフの業務量の均等化を図る 3) 安全な生活援助を、看護補助者と協働で実践する。看護師は患者情報を十分に把握し適切な指示出しを系統立てて行ない看護補助者が安心して作業できるよう導き、援助実践後の成果を看護補助者へもフィードバックし達成感を共有していく 	<p>3) 退院前の不安や支援について患者の意思を確認し、他職種と共にすることはできた。</p> <p>退院支援委員会を月1回PSWと共に、情報交換をしている。</p> <p>よサボとの連携には、緑用紙を活用し情報共有することができた。</p> <p>4) 荷物チェックは月1回行えているが、整理整頓は出来ていない患者もいる。いざ衣服が必要な時にすぐ取り出せない。受け持ち看護師とCWへの声掛けが必要である。</p> <p>2.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 月1回動画視聴できるように病棟教育委員が年間スケジュールを立てている。個人差はあるが全員が視聴できるよう啓発を行っている。 2) 身体拘束の方法を動画作成する予定であったが、できていない。 抑制帯については、抑制帯管理チェック表を用いての管理ができていない。病棟会議などで周知できるようにしていく。 次年度からは、毎月1回看護師で精神看護についての勉強会を実施し、個々の能力向上に努め質の高い精神看護を目指していく。 <p>3.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) できるだけ意見を否定せず言いやすい雰囲気作りに努めていることから、一人一人が意見を言っている。 2) リーダー業務が出来るスタッフを育成中である。 インシデント・アクシデント発生時の対応や医師への報告などをリーダーに頼っている場面が多くみられるため、リーダーの負担軽減のためにもPNS内で状況把握を行い、それぞれで解決できるように指導が必要である。そのためにも個人の能力・判断力向上が必須であり、必要に応じてインバケット研修を受けるようスタッフに促していく。 3) CW業務(早出、遅出、夜勤)の見直しを10月に実施した。 吸引する患者も増えてきそうなので、必要物品の補充や患者2名でQin Potを使う時の取り扱いで感染を広げないよう統一した手順ができるように説明を各自で確認してもらった。
3-6 病棟	<p>1. 地域包括システムにおける看護の役割を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの充実（受け持ち意識を持つ） ・精神科看護の強化（精神保健福祉法の理解を目指す） ・身体管理の強化（救急対応） <p>2. 看護の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラダー別のカンファレンスについて、人材育成・自己の成長 ・リーダー育成の教育を行っていく 	<p>1.</p> <p>カンファレンスの実施に関して発信が少なかった。日頃の申し送り等から疑問や困難さに対する解決を投げかけ、カンファレンスにつなげていく。</p> <p>勉強会が予定通り開けていなかった。来年度は、計画→実施→評価と病棟勉強会担当を中心に対応していく。</p> <p>身体合併症による急変や状態悪化、死亡事例があった。経験した事例を振り返る事で学ぶべきことや不足している事を理解して、強化につなげていく必要がある。</p> <p>2.</p> <p>カンファレンスでは、皆が発言出来るようにファシリテートをしてきた。引き続き、カンファレンスの場が学習に結び付くよう働きかけていく。</p> <p>意図的にリーダーをつける事で、スタッフが病棟全体を考えるようになってきた。しかし、問題が生じてもPNS間で補完てしまいリーダーまで情報が行きかないこともあった。</p>

部 署	目 標	評 値
3 - 6 病棟	<p>3. 看護のやりがいを共有し、たのしく働き続けられる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を気持ちよく、指摘しあえる環境つくり ・業務分担の声掛け（残っている仕事や、やらないといけないことなど全体で声掛け） ・リシャッフルの活用で時間外の削減 	<p>3.</p> <p>挨拶は良く出来ている。互いに指摘し合うことに関しては、相手の反応を気にして出来ていない。</p> <p>業務に関するスタッフ間での声掛けに関して病棟の雰囲気は問題ないため、今後も業務の声掛けは継続していく。</p> <p>業務の途中などでリーダーを中心にリシャッフルし、業務の分担が出来ている。</p>
5 - 2 病棟	<p>考え動く力を身につける</p> <p>1. 看護の役割を実践する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 入院時から、看護の視点からとらえた患者に必要なケアや支援、退院後を見据えた生活援助などをアセスメントし、ケアを実践するとともに、日々のカンファレンスや面談時で多職種と共同し、患者、家族の意思を取り入れた退院支援ができる 2) 患者の思いや状況が見える看護記録の充実を見る 3) 他部署・地域と患者の情報共有・連携ができる 4) フィードバックカンファレンスで、自部署の看護の振り返りができる <p>2. 人材育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内外の勉強会に参加し、自己の学びを増やし実践に活かせる 2) 患者・家族・スタッフの安全・安心・最良を考え方、行動に移せて指導が行えるリーダーの育成 3) 自部署での課題を見つけ、定期的な勉強会・倫理カンファレンスの実施 	<p>1.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 入院時から退院後を見据えてかかわっている。入院の翌日のカンファレンス、初回面談やその後の定期面談、退院カンファレンスで患者のことを一番に考え、多職種と協働しながら関わってはいるが、スタッフ間で差があり受け持ち意識が低い者もいる。皆が同じことが出来るように、詰所内に患者一人ひとりの表（しおり、評価、面談日など）を見える化している。しかし、足並みがなかなか揃わないためミドル会議を行った。もう一度表を見直して患者が入院時に思っている退院後どうしたいのかを具体的に聞いて長期目標におき、それを踏まえて受け持ち中心にカンファレンスを行い、到達のための直近目標（短期目標）を表に書いて、患者の思いを知って目標到達に向けかかわることにした。長期・短期目標をあげる事になったが、スタッフの退職・休職・異動などによって方向性が周知されなくなってしまった。その結果、充分な退院支援が出来なかつたという反省ばかりが残る。日頃のケアも病態や根拠がない「皆がしているからした」のようなものもある為、実践レベルでどのようなことが行われているか聞き取り、指導していく必要があると感じた。 2) 入院時の記録や評価などは出来るようになっている。毎日の記録は単純で、その場で起こっている事の羅列に過ぎない。その記録だけでサマリーを書くことは到底できない。記録委員も交代が相次いだために、委員会内容が伝達・周知されなかった。ACP委員会で使用されている「TUNAGUノート」を使用してはどうかという意見があり、今後は「TUNAGUノート」の活用を予定している。 3) 定期面談等で地域との情報共有は出来ているが、転棟てくる患者に対して部署間での情報共有・連携は出来ていないので今後行っていきたい。 4) ケアマネから退院後情報を貰って、それをもとにフィードバックカンファレンスを行っている。月ごとに表を貼りだし情報が届いたら自身で日を決め記入し実施するようになっているが、スタッフによって差があり、きちんと行うものもいればリーダーに言われてからしかできないものもいるため、退院してからも受け持ちと言ふことを念頭に置いて、今後は家でどのように暮らしているのかにも興味を持ってフィードバックカンファレンスに取り組みたい。 <p>2.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病棟の勉強会は月ごとに担当が行っていたが10月以降開催されていない。病院内の研修は日勤者に声をかけることで参加を促したが、全員に興味を持って参加してもらうまでは行かなかったと思う。自己研鑽にどのように取り組んでもらうか、来年度は黒ファイルに具体的な目標として挙げてもらおうと考えている。 2) 間違い・してはいけないことを行っているスタッフを見つけたら、きちんと声を出して伝えることが出来るリーダーを育成したい。その場で言わず陰で言うのはおかしい。常識から学んでもらえるようにしていきたい。リーダー経験をしたことはあるが実力を発揮できていないと感じる場面がある為、日々振り返りを行っていきたい。 3) 月1回の勉強会と倫理カンファレンスは定期的に行えていたが、10月以降は行われていない。勉強会の担当と係長に協力してもらい、来年度は毎月開催できるように声をかけていく。

部 署	目 標	評 値
5-2 病棟	<p>3. 環境づくり</p> <p>1) 自分の考えや思いを相手に伝え、相手の思いを受け止め、認め合い、良いところは褒められる環境をつくる</p> <p>2) 間違いはそのままにせず、意見として指摘し合える環境をつくる</p> <p>3) 「あいさつ」と「感謝の言葉」があふれる環境をつくる</p>	<p>3.</p> <p>1) 年度末後半で、陰口や噂話などによって仕事環境が酷く侵された状態になった。事態は収束し始めているが、陰口や噂話を言った本人もその環境に居るわけであり、今後も職場の雰囲気などに留意していきたい。</p> <p>2) 5-2病棟はインシデントレポートの提出が病院で一番少ないと聞いた。リスク委員が「どのような些細なことも書きましょう」をスローガンに働きかけて、「レポートを書くことは恥ではない」と認識できるようになりつつある。この活動で書かなければならない案件が相当数あることに驚いたので、今後もこの活動を続けていく。他部署から異動で来るスタッフはいるが、もともと5-2病棟には経験年数が比較的若いスタッフが多い。今回経験年数が豊かなスタッフが来てくれたことで、様々な点で出来ていない事、足らない事・知らない事を情報として提供してくれていることは、病棟の改変に有効だと感じている。</p> <p>3) あいさつと「ありがとう」は本当によくできる病棟だと思っている。意識して言わなくても自ずと出てくる。私自身も言うようにしている。「おはよう」「おつかれさま」「ありがとうございます」を今後も大切にし言葉に出していく。</p>
感染 管理室	<p>I 血液体介病原体による職業 感染対策の推進</p> <p>1. 鋭利器材の適切な取り扱い</p> <p>2. 血液体介病原体防止強化月間による啓発</p> <p>II 手指衛生の遵守率と消毒剤使用量の向上への取り組み</p> <p>1. 手指消毒剤の使用量調査</p> <p>2. 手指衛生の実施状況調査 直接観察</p>	<p>I</p> <p>血液体介病原体の年間報告数は、昨年度9件に対し今年度17件と約2倍となった。うち、針刺し切創が8件から9件と1件の増加であったが、皮膚粘膜曝露が1件から8件と大幅な増加となった。皮膚粘膜曝露8件のうち、6件が精神科入院患者における咬傷であり、患者が拒否したものを強引に実施したり、興奮状態・衝動中に制止に入って発生している状況がほとんどであった。説明と納得と、時間の猶予を図りながら対応していくことが必要と考える。</p> <p>曝露事例発生時は、感染LN委員会で情報共有を行った。発生部署においても振り返りと改善のための手技確認を実施してもらった。</p> <p>今年度より曝露後対応（HIV）が変更になったこともあり、3月に全体研修で血液体介病原体防止の情報共有の研修を行い、発生状況の注意喚起も行った。引き続き、発生時の振り返りと情報共有を行い、一件でも少なくなっていくよう啓発していく。</p> <p>II</p> <p>1. 病棟以外の部署は大きな低下なく、現状維持であった。精神科病棟の使用量は、増加傾向にあったが、それ以外の病棟の使用量が低下の一途である。新型コロナ発生前と比較しても、1患者1日あたりの使用回数は、15~16だったのが、12と大きく低下した。目標値を設定し直し、未達成時は強化月間を設けて取り組みを実施していく。</p> <p>2. 手指衛生の遵守率調査は、CNICによる直接観察は実施できていないが、処置別の感染防止技術チェックを感染LNにて実施した。特に遵守率が低かったのが、清潔操作直前の手袋を着用する前の手指消毒であった。結果をフィードバックし遵守率アップに繋げていく。</p> <p>今年度はウイルス感染症のアウトブレイクが7回発生し、更に二次感染は認めなかつたがスーパー耐性菌（MDRP・CRE）の院内発生が2回確認された。県内ではCREおよびVREのまん延が懸念されており、手指衛生の重要性についての全体研修を3月に開催した。全体研修の成果を確認しながら、手指消毒剤の使用量と遵守率を引き続き確認し、手指衛生の向上と感染拡大防止に繋がるよう取り組んでいく。</p>

部 署	目 標	評 値
感染 管理室	<p>III CLABSI発生の低減</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手指衛生を含めたカテーテル管理の手技確認 2. クロルヘキシジン含有消毒剤綿棒の導入 <p>IV その他、TOPICS</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. COVID-19のアウトブレイク防止 *標準予防策・ユニバーサルマスキングの徹底 *陽性者の早期発見 	<p>III</p> <p>中心静脈カテーテルの手技チェックが十分にできない現状ではあるが、使用比は昨年度0.06に対し今年度0.05とわずかに減少し、CLABSIの発生件数は6件から3件と大きく減少、感染率も2.17から1.19と減少した。CHG-ALの導入も減少に関与しているものと思われる。</p> <p>引き続きサービスランクとフィードバックでCLABSI発生の低減に努めていく。</p> <p>IV</p> <p>今年度COVID-19のアウトブレイクは5回（回リハ病棟2回、3-6病棟2回、3-4病棟1回）であり、更に12月にインフルエンザ（3-4病棟）、3月に感染性胃腸炎（3-6病棟）と、ウイルス感染症のアウトブレイクは7回も発生した。</p> <p>手指衛生を含め、感染対策の基本が十分でないと考えられる。標準予防策への理解を深められるよう、研修や分散教育を実施していく。</p> <p>精神科では、いかに1例目を早く見つけるかが鍵となるため、流行期の積極的な検査で早期発見し共同作業を速やかに中止することで、拡大を最小限に抑えていく。</p>
医療 安全室	<p>1. 医療安全の質向上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 報告からはじまる医療安全 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット・インシデント・アクシデントレポート提出への取り組み ・職員がレポート提出の目的を理解周知することで、提出意識を持ち、安全意識を高め業務に従事することができる。 ・レポート提出を各部署RM、看護リスク委員へ声かけ促し電子カルテの院内お知らせを使用し啓発を行う ・医療安全推進週間に医療安全活動をリスク委員とともに実施する レポート月平均目標70件 2) 全職員への安全意識の向上と教育、安全推進への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全全体研修（年2回） ・BLS研修 新入社員・希望者 随時） 3) 事例検討の活性化を図る <ul style="list-style-type: none"> ・RCA・KYT・SEHILL分析法を用いて、事例検証を行う ・発生事例の中で、事例分析から業務改善まで当該部署と安全室で行う（年2回以上） ・KYTなど分析の指導（適宜） <p>2. チーム医療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護リスク委員を中心に、救急対応チーム・転倒転落チームを立ち上げ、多職種で問題・課題の抽出、分析・改善策を考え、活動を通して院内の医療安全意識・質の向上に努める（毎月第2木曜日14：00から看護リスク委員会合同で委員会時間内に行う） 	<p>1.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本年度レポート提出月70件以上を目標に、様々な取り組みを行ってきたが、報告件数は毎月60件前後であった。その要因としては、人員不足や業務多忙で事例報告を記載する時間がなど、報告に対し陰性感情を持つなど、職員のリスク意識に希薄さがあるためではないかと考える。職員のリスクに関する考え方を変容させることは容易ではないが、安全文化・報告する環境を構築するため、医療安全室からその都度声掛けを継続するとともに、レポート提出件数の増加に向けた取り組みを次年度も継続して行いたいと思う。 2) 医療安全研修会（全職員対象 必須研修） <ul style="list-style-type: none"> 第1回「患者虐待の防止と職員のメンタルヘルス」 99%受講 第2回「パワーハラスメント対策を考える」～心理的安全性の高い職場を目指して～ <p>1月31日、2月10日、2月18日の計3回開催し265名が受講した。不参加者には現在、DVD研修を行っている。</p> <p>BLS研修（全職員対象）</p> <p>医療安全研修は医療従事者として必須研修であるが、開催日を増やし、DVD研修など工夫をし、受講促しを再三行っても65%の受講率であり100%にはならなかつた。他の研修も多く職員からの研修受講への不満の声は聞かれるが、受講したことに肯定的な意見もあるため、内容・開催時期・時間等を検討し、受講率100%を目指す。</p> 3) 事例検討分析を行い、システム変更、業務改善を行うことはできたが、改善した内容が継続されているのかのPDCAサイクルの評価が行えなかった。 <p>2.</p> <p>本年度から転倒転落チーム・急変対応チームを作つて当院の現状把握と問題点の抽出を行い、チーム毎に対策を講じ活動をした。</p> <p>転倒転落チーム：アセスメントスコアの見直し、離床センサー選択のフロー作成患者環境ラウンド、分析を行つた。転倒転落の予防のため、リハビリ動画作成、薬剤に関する動画作成を行つた。次年度は、職員、患者への教育も視野に入れ活動していく。</p>

部 署	目 標	評 價
医療安全室	<p>3. 環境づくり</p> <p>部署ラウンドを行い関係性の構築を行うと共に、業務の中にリスクが潜んでいないか、環境やマニュアルの遵守など確認を行い、お互い指摘しあえる風土づくりを目指す</p> <p>月一回のラウンド 事例発生時のラウンド</p>	<p>急変対応チーム：救急カートの整備状況のラウンド、物品見直し、急変対応の振り返り、BLS研修を行った。次年度は、職員教育・BLS研修の継続を行う。</p> <p>3.</p> <p>事例に対して、ラウンド、分析等行い業務改善へ移行できている。しかし、業務改善した内容が継続できているかの確認が行えていたため、次年度は計画し実施していきたい。</p>
手術室	<p>1. 手術室看護を自ら楽しめるように学び、それぞれを活かした周術期看護を行っていく</p> <p>①情報収集や手術で疑問に感じたことなどは、自己解決で終わらせることなく、月1回の勉強会でみんなに伝達し知識を共有する</p> <p>②学会やセミナー等の勉強会に参加し自己研鑽すると共に、その知識を持ち帰りみんなで共有し学びを深める</p> <p>③疾患や術式、麻酔に関する疑問は『なんで？なんで？』の引き出しに入れ、開催日を決め定期的に勉強会を行う</p> <p>④術前訪問で得た情報を活かし、個別性のある看護計画を立案する</p> <p>⑤術前・術後訪問の継続、病棟受け持ち看護師との情報共有を図り、より患者のニーズに沿った看護を提供する</p> <p>⑥リスクに対する意識を高め、手術を受ける患者の安全に配慮した看護を提供する</p> <p>⑦発生したインシデントはタイムリーにスタッフ間で共有し、よりよい改善策をみんなで考える</p> <p>⑧朝のカンファレンス時に前日の手術の振り返りを共有し、次につなげる</p> <p>2. お互いを認め合い、協力し合い元気のある職場づくりをする</p> <p>①職場において自ら進んで挨拶する</p> <p>②患者・家族に対する言葉遣いに注意するだけでなく、スタッフ間での言葉遣いに対しても注意し、1人1人が節度ある行動をする</p> <p>③スタッフ同士が指摘や質問をし合えるような関係性を築き、協力できる職場環境づくりを目指す</p> <p>④時間を有効に使い効率的な業務ができるよう声掛けを行っていく</p>	<p>1.</p> <p>①勉強会が業務、応援に時間を押されて出来ていない。 ②学会、セミナー参加できていない。 ③月1回の勉強会当番の機能が有効に動いていない。 ④麻酔方法別の定形の看護計画は、術後に評価まで頑張って記載しているが、個別性や術式体位を加味したものになっていない。 ⑤手術件数の増加に伴って、術後訪問がなかなかできにくくなっていたが、“行かなければ…”という意識は継続している。 ⑥人手不足や多重課題の為、確認不足となりインシデントに繋がった事があった。 ⑦翌日の朝礼での報告・検討・共有はできている。 インシデントレポートも、積極的に書くような風土になってきた。 ⑧上記同様、共有できている。</p> <p>2.</p> <p>①声の掛け合い、挨拶は元気にできた。 ②患者、家族に対する言葉使いはできた。 しかし、スタッフ間での会話はまだまだ意識づけ必要である。 ③指摘し合ったり協力の声掛けは、できた。 ④時間を見た行動することはできていた。</p>
血液浄化センター	<p>患者・家族が豊郷病院の透析室で透析治療をうけてよかったですと思っていただけるような透析治療・ケアの提供を行うことができる</p> <p>1. 医療者と患者が生活目標を共有し、透析治療の場だけでなく日常生活にも視点をむけ支援を行うことができる</p> <p>①患者の生活目標を共有し看護計画に反映させることができる</p> <p>②日々のケアのなかで患者・家族へACPを意識したコミュニケーションを行う</p> <p>③継続したセルフケア支援をおこない、合併症予防に介入していく</p> <p>2. チーム医療の推進をはかりチーム力の強化をはかる</p> <p>①お互いを尊重し「ありがとう」の気持ちを言葉にできる ②挨拶をしっかり行い、笑顔ある働きやすい職場をつくる ③チームでVA管理に取り組むためにシャントカンファレンスの実施と対策を行う</p>	<p>1.</p> <p>受け持ち看護師と患者が協働で生活目標を立案し、生活目標達成に向けて支援することができた。 しかし、支援できている患者とそうでない患者があり、さらに取り組みの強化が必要である。</p> <p>2.</p> <p>CEと協働し、セルフケアの強化、災害対策、VA管理、透析治療・ケアの質向上に向けて取り組むことが出来た。</p>

部 署	目 標	評 値
	<p>3. 意思決定支援とビリーブメントケアへの介入</p> <p>①多職種・他部署と協働し、患者家族の意思決定を支援する</p> <p>②保存期・導入期・維持期・終末期に応じた意思決定支援への介入</p> <p>③ビリーブメントケアへの介入を行い、悲嘆に直面した遺族及び医療者の支援を行う</p>	<p>3.</p> <p>今年度、ACPの患者介入が減ってしまった。終末期の支援においては患者、家族のビリーブメントケアの強化が行えた。透析患者の終末期における緩和ケアについても支援できつつある。さらなる体制強化が必要である。麻薬の導入タイミングや麻薬に対する知識不足が課題。</p> <p>今年度は院内で繋ぐ TUNAGUノートの運用を始め、患者の大切な思いを多職種で汲み取る体制作りに取り組んだ。部署内でも担当者を看護師、CEそれぞれ意思決定支援の強化担当者を決めて患者支援を行っている。</p>
外 来	<p>1. 看護をつないで在宅療養を支援する</p> <p>①在宅療養支援の必要な患者に気づき 多職種・地域から情報収集を行う</p> <p>②患者情報シートを改良し 院内外多職種と情報共有・連携を行う</p> <p>③ICに同席し患者の思いを受け止め、患者・家族の反応を記録に残す</p> <p>④チームカンファレンスを定着させる</p> <p>2. 質の高い看護を提供するため 自己研鑽に励み 学びを仲間と共有する</p> <p>①KYT活動を毎月行い 安全・安心な医療・看護を振り返る</p> <p>②院外研修へ参加し、伝達講習を定着する</p> <p>3. 仲間を大切にし、活気ある職場環境をつくる</p> <p>①外来会議・リーダー会・チーム会等で活発な意見交換を行う</p> <p>②1日の振り返りをチーム毎に行いチームで共有する</p> <p>③暗黙知の明文化、マニュアルの見直しを行う</p> <p>④笑顔でいさつ・感謝の気持ちを伝える</p> <p>⑤時間外勤務の削減をめざし、業務改善を行う リリーフ体制の強化・説明動画の作成 活用</p>	<p>1.</p> <p>昨年度外来独自で作成した患者情報シートは改良できておらず、活用もできていない。ICの同席は意識して行っているが ICのかかわりや患者・家族の反応等の記録は個人差があり 次年度力を入れていく。チームでのカンファレンスは定着していない。少人数で立ち話程度の話し合いをする場面を見ることがあるが、記録に残せてはいない。支援の必要な患者には、積極的に関係部署に繋げられるようになってきた。病棟からの連携用紙も活用できている。</p> <p>2.</p> <p>KYT活動は滞っている。急変対応時には、その場で振り返りを行っていたため（記録には残っていないが）段取りよく動けるようになってきている。院外研修（看護協会）への参加は、10回できた。伝達講習はできていない。復命書から「研修で刺激を受け現場で活かしたい」「仲間と共有したい」とあり次年度は伝達講習を定着させる。</p> <p>3.</p> <p>大腸カメラ前処置動画は定着し、検査説明室の負担は幾分軽減されている。リリーフ体制が整えられず 負荷に偏りがある。次年度、担当できる科を見える化し担当科を1～2科増やせるよう計画していく。そのためにもマニュアル作成・見直しは必須であり、次年度に取り組む。</p>
とよサポ	<p>1. 院内の看看連携・他部署連携・院外連携を行うことで、患者の療養生活を継続的に支援する</p> <p>①入院患者がせん妄状態・認知症症状悪化した時に、速やかに連絡を受け、DSTとして介入する</p> <p>②入院中のI.C・退院前カンファレンス・外来でのI.C等に積極的に参加する</p> <p>③入院時支援の情報を、病棟看護師・MSW・管理栄養士・薬剤師と共有して事前のプランに生かす</p> <p>2. 「とよサポ」メンバーが互いに情報共有し、それぞれの強みを活かしスキルアップしながら、在宅介護・在宅看護の支援が出来る</p>	<p>1.</p> <p>①院内の看護師を含めた様々な職種が、せん妄やBPSDについての学びを深めており、初期対応としての環境調整や適切な薬物投与が増え、DSTへの相談件数は減った。相談時のテンプレート書式記載の周知がまだ不十分であり、次年度への課題が残っている。</p> <p>②退院前カンファレンス参加への声掛けは、訪問診療が開始になる方と訪問診療に伺っている方の退院時のみである。病棟看護師からの参加要請はなく、担当MSWからの要請だけだったので、次年度は看看連携を強化していきたい。</p> <p>③入退院時支援加算のために、入院前情報を聞いて入力するだけでなく、転院患者・眼科の手術目的入院患者・歯科の抜歯目的入院患者の情報入力も行うようになった。病棟からのレスポンスは少ないが、次年度も続けることで情報共有が浸透していくように行っていきたい。</p> <p>2.</p> <p>外来業務や、オレンジファイブ、訪問診療、電話相談等で対応したことを、部内でカンファレンスして次に生かせるように努めている。また、研修会に参加した時は部内で伝達講習を行っている。お互いの経験が次の相談や対応に役立っていることを実感できているので、継続していきたい。</p>

部 署	目 標	評 値
パスト ラール	<p>1. ACPについての理解を深める</p> <p>①e-ラーニングを各自視聴し、学びを深める ②利用者、ご家族と話す機会を作り、それぞれの思いを聞き取る</p> <p>2. 学習の機会を作る</p> <p>①e-ラーニングの視聴をすすんで行う（1人2講座を目標にする） ②院内・院外研修に参加し、伝達研修をする</p> <p>3. 働きやすい環境づくり</p> <p>①気付いたことは、お互いに注意しあい、業務に活かす</p> <p>4. 老健における看護の役割を果たす</p> <p>①サービス担当者会議などで看護面からの発言をする ②退所後の生活を念頭においていたケアの提供</p>	<p>1.</p> <p>e-ラーニングの視聴は、限られた職員しか出来てないが、ターミナル対象の利用者、またそのご家族に実際に関わる事で、さまざまな形の看取りがある事を学べたと思う。 看取りに対する思いはご家族によって様々で、気持ちの整理がつくのに時間がかかる例もあった。家族の気持ちに寄り添い納得できるまで多職種で関わることで、私たちが学ぶことも多かったと思う。</p> <p>2.</p> <p>e-ラーニングについては、報告書の提出が少なかった 院内・院外研修については全員ではないが参加でき、伝達講習も出来た。</p> <p>3.</p> <p>気付いた事は、その都度伝えるようにした。全体に伝えたいことは、毎月行う看護師会の場で伝えてもらい、改善出来た。</p> <p>4.</p> <p>サービス担当者会議の場で、看護師の立場からの意見を伝える事が出来た。 在宅に戻られる利用者に対しては、医療面で伝える必要があることは必ず伝えるようにした。 医師不在の時でも、利用者が急変した場合は看護師同士協力し合いご家族への連絡や受診に繋ぐなど、素早く行うことが出来た。</p>
訪問看護 ステーション レインボウ	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける日常生活支援／退院支援／急変時対応／看取りの4つのフェーズにおいて訪問看護師の役割を実践する</p> <p>1) 日常生活支援において早期から意思決定に関わり、その延長にある終末期ケアを充実させる 2) 医療ニーズの高い利用者の退院支援に早期から介入し退院時共同指導、退院支援指導の充実 3) 地域包括ケア病棟との連携を強化し早期の在宅復帰を図る 4) ハラスメント、虐待防止、身体拘束の適正化に向けた取り組みを強化できる 5) 多職種協働において生じる倫理的課題を「看護職の倫理綱領」を基に検討できる</p> <p>2. 質の高い看護を提供するため、看護実践力、臨床教育力、看護管理力の向上を図る</p> <p>1) 看護職員キャリア開発プログラム及び訪問看護師クリニカルラダーの活用を行い主体的に学習に取り組める 2) 専門性のある研修を受講し看護の質の向上を図る（訪問看護認定看護師／特定行為研修） 3) 他職種へのタスク・シフト／シェアによる業務の見直し（介護職への喀痰吸引指導研修等） 4) 次世代を見据えて管理者研修等への参加を促す</p>	<p>1.</p> <p>1) ACPに関しては積極的に研修会へ参加でき、こうう地域チーム研修では多職種間での理解も深めることができた。また「ちょこっとACP」に関しては、ケア中の会話をカルテに残すよう職員間で認識できた。「救急申し込み票」においては救急隊から“搬送時間が短縮できた”等の反応もあり、継続して活用していきたい。 2) 3) 退院支援に関してはできるだけカンファレンスを依頼し、退院時の共同指導ができるようにし、外泊中の訪問看護や退院日の訪問看護を実施しスムーズな地域移行を図ることができた。結果的に機能強化型3が取得できており、地域からの評価として受けとめたい。 4) ハラスメントに関してはカスタマハラスメントも含め数件の事案が生じた。個人の問題とせず組織として振り返りを行い、ハラスメントを未然に防げるような関係作りが重要であると認識できた。虐待や身体拘束の適正化に関しても、マニュアル作成・委員会への参加・研修会の実施等で意識を高めることができた。 5) 倫理に関しては意識を高めるためのカンファレンスが定期化できており、職員全員で考える機会となっている。専門職として質の高い看護を提供する為にも継続していきたい。</p> <p>2.</p> <p>特定行為研修を修了した看護師は退職となつたが、糖尿病療養指導士やフットケア指導士による足病変ハイリスク利用者へのフットケアの実践ができた。報酬として未だ評価されていない為、実践の成果を地域関係者へ発信していき報酬へつなげたい。介護職員への喀痰吸引指導に関しては下期は該当者なしであった。 訪問看護認定看護師教育課程を無事1名修了することができた。認定試験は10月に予定されている。 利用者満足度調査を各ステーションで実施した。やはり電話対応（緊急対応）に関して課題が抽出でき、再度事業所の体制の説明や緊急時マニュアルの見直しを行うことができた。</p>

部 署	目 標	評 値
訪問看護ステーション レインボウ	<p>3. 訪問看護の魅力を仲間と共有でき、やりがいをもって働き続けられる職場環境を作る</p> <p>1) 互いの価値観を認め合いリスペクトでき、職場において心理的安全性を高めることができる 2) 次年度の4週8休に向けた働き方改革、業務効率化に取り組む 3) ICT、オンライン資格確認システム等を活用した業務負担軽減 4) 訪問看護ステーションにおける持続可能な24時間対応体制の確保</p>	<p>3.</p> <p>訪問看護でも年齢層や働き方が多様化しており、職場における心理的安全性に関しては充分とは言えない。e-ラーニングを視聴し、職員へ「を目指したい職場」に関してアンケートを実施した。その結果をもとに職場改善へつなげていきたい。</p> <p>業務効率化に向け、タブレット端末の導入やオンライン資格確認システムの導入が完了した。限られた人材で質を確保しつついかに効率的にサービス提供を行うか、今後も職員全員で取り組んでいきたい。</p>

5 各種委員会

看護部業務委員会

看護部における看護業務改善、合理化を検討し資質の向上を図り、業務に関する事項の統一を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 每月第3月曜日
- (2) 審議事項
 - ・看護手順一つひとつの改訂や追加、また、それぞれの項目に連動した目次作成
感染管理委員会・リスク委員会（インシデント・アクシデントレポート内容）からの提案や新たな情報を看護手順に反映させ、安全で円滑な看護業務に繋げる
 - ・臨床現場への看護手順の周知と手順内容の評価
各部署から現行手順書についての疑問・質問・改善依頼の意見を毎月吸い上げ、看護手順改訂に繋げる
 - ・新人研修
採血に関する研修会の実践計画と研修評価
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

CW業務委員会

患者さんを中心に考え、その人らしい生活や生き方を支えるために、統一した対応ができるよう看護師・看護補助者との連携を強化する。患者さんが、安全で生活しやすい療養環境を看護補助者が中心となり整備し提供する。

- (1) 開催時期 年6回 偶数月第4火曜日 15:00~
- (2) 審議事項
 - ・前年度目標の評価と今年度目標の検討
 - ・看護補助者研修の計画立案
 - ・看護補助者研修会の検討・開催後の評価
 - ・マニュアル見直し・修正・差し替え
 - ・ポータブルトイレ倉庫移動・清掃
 - ・看護師・看護補助者の業務分担、見直し
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員7名

看護記録委員会

適時・事実を入力出来る記録の体制を作る。情報共有できる記録の充足をはかる。

「重症度、医療・看護必要度」の入力が正しくできるよう、働きかける。

活動状況

- (1) 開催時期 每月第2月曜日 14:00~
- (2) 審議事項
 - ・「重症度、医療・看護必要度」研修の実施
 - ・電子カルテ操作手順の見直し
 - ・記載基準マニュアルの見直し
 - ・記録監査、必要度監査の実施
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

感染リンクナース委員会

感染に関する知識を深め、統一した感染対策を実施する。お互いに指摘し合い、適切な感染対策を実施することで医療関連感染の防止・低減に繋げる。

(1) 開催時期 毎月1回 第2金曜日 13:30~

(2) 審議事項 ①手指消毒剤使用量サーベイランス；個人の使用量の見える化と目標回数未達成月の強化月間（向上への取り組み）

②中心ライン関連血流感染サーベイランス

③尿道留置カテーテル関連感染サーベイランス

④リンクナースラウンド

感染防止技術グループ（血流感染・尿道留置カテーテル・喀痰吸引）による手技チェックと遵守率算出およびフィードバック

⑤ICTランド結果の情報共有

⑥ウィルス感染症のアウトブレイク振り返り

⑦MDRP発生に伴うスクリーニング検査と環境調査、スポンジ廃止

⑧マニュアルの見直し・整備

⑨エタノール含有CHG綿棒の導入

⑩清拭タオルのディスピロ化

⑪吐物処理方法の復習（吐物処理セットの準備、PPE着脱訓練）

⑫ボードゲーム型教育ツール“SAVE”的実施

(3) 研修会の開催

●新人看護師等における感染防止技術研修

手指衛生5つのタイミング、防護用の着脱実践、オムツ交換

喀痰吸引、尿道留置カテーテル感染予防策、

針の取り扱い、血流感染予防策、閉鎖式輸液ラインの取り扱い

血液培養検査、末梢静脈留置カテーテル管理

●吐物処理方法（分散教育）

(4) 人員構成 委員長1名 委員11名

看護リスク検討委員会

看護師の医療安全に関する知識を深め、医療現場における安全性の確保と看護の質の向上を図る。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2木曜日

(2) 審議事項 ・各部署の事例報告と情報共有

・医療安全マニュアルの見直し

・新人研修（身体拘束、転倒・転落）

・K Y T 分析の学習会

・出張の伝達講習

・チーム活動

急変対応チーム

転倒転落チーム

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員7名

看護部教育委員会

看護職員の相互理解と資質の向上、および関係者の親睦を図る。

キャリア開発プログラムに沿った目標管理、教育計画の立案、実施、評価を行う。

看護研究を推進し、看護師の質の向上をめざす。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第1木曜日

(2) 審議事項 ・看護研修の推進

・レベル別及び全体を対象とした教育計画の企画立案、実施、評価

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員9名

係長会

地域包括支援システムを理解し、地域における病院の役割、看護部の役割を理解したうえで係長が退院支援看護師として役割を十分に果たせるように倫理的感性を高め、資質の向上を目指すことを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第3木曜日 14時～15時

(2) 審議事項 ・地域包括ケアシステムを理解し、地域の現状から地域における当院の役割、看護部の役割を理解する

・継続看護を推進するために、係長として部署内で果たす役割を実践する

・倫理的問題に対し倫理カンファレンスを定着する

・身だしなみチェック表、倫理審査用紙の検討および研修企画

・係長として必要なコミュニケーション力を学ぶ

研修会 新人研修 6月

倫理審査 7月

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 看護部係長13名

継続看護委員会

患者・家族が中心となれる、医療と療養と生活を繋ぐ

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第3木曜日15時半～16時半

(2) 審議事項 ・部署間の継続看護のための「連絡カード」の活用

・スタッフへの継続看護の教育的役割

・継続看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成

・院外研修を基にした学習会 (e-ラーニング活用も含む)

・心に残った看護の語り

(3) 人員構成 委員長1名 委員9名

看護部主任会

豊郷病院における主任業務遂行のため、看護チームの円滑な運用及び効果的な教育・指導を実践する。

活動状況

- (1) 開催時期 年9回
- (2) 審議事項
 - ・主任が今感じていることに対し解決策を見つけ行動をおこす。
 - ・自部署の強みをいかして課題や目標を把握し解決にむけて取り組む。
- (3) 人員構成 委員長1名 委員3名 各部署主任15名

新人研修委員会

豊郷病院看護部に入職する新人看護職員を全職員がともに支え合い、成長することを目指すために、また、新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するための支援体制を整える。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3金曜日（2024年度は6月・7月・9月・11月・12月なし）
- (2) 審議事項 本委員会は厚生労働省の示す新人看護職員研修ガイドラインを基に以下の事項を審議、実践する。
 - ①施設及び看護部門の教育方針に基づき、研修プログラムを策定・企画
 - ②策定された研修プログラムを元により具体的な研修方法・研修内容等について審議
 - ③教育担当者・実施指導者の研修に関する審議
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

NST・褥瘡リンクナース委員会

院内栄養サポート、褥瘡予防対策と治療を討議し、検討し栄養サポートと褥瘡に関する知識の増進、普及を図り、日常生活自立度が低い入院・入所患者に対して栄養サポート・褥瘡予防対策と治療を図るとともに、医療の向上・ケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 リンクナース委員会 月1回第3水曜日 13:10～
褥瘡回診 月2回 第1・3水曜日 14:30～
褥瘡ラウンド 毎週水曜日 14:30～
NST回診 毎週水曜日 14:40～
NST・褥瘡合同委員会会議 第3水曜日16:00～
- (2) 審議事項
 - ・褥瘡保有患者症例検討
 - ・褥瘡計画表・評価表・マニュアルの見直し・改訂
 - ・褥瘡発生数（持ち込み、院内発生）治癒率の確認
 - ・耐圧分散マットの管理
 - ・リースエアーマットの管理
 - ・“褥瘡ケア通信”の発行
- (3) 人員構成 委員長1名 委員19名

認知症ケア看護委員会

各部署における認知症ケア対応力向上を目的として活動している

活動内容

(1) 開催時期 月1回 第1水曜日 14時～15時

- (2) 審議事項
- ・認知症対応力に関する事例検討の開催
 - ・認知症ケアに関する学習会
 - ・ケアの質向上に向けたマニュアルの見直し
 - ・職員向けの研修企画および実施
 - ・認知症カフェの企画および実施

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員（各部署）7名

必要時招集（パストラール・手術室・透析室・訪問看護ステーション）

6 看護教育委員会事業報告書

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加人数・参加率	内 容
I	【臨床実践能力 ケアする力】やさしく学ぶ疼痛管理	7/3~7/31	25名 67%	動画視聴研修 e-ラーニング視聴後、アンケートに回答。学びの用紙提出。疼痛について、いつから、どこが、どのように痛いのかを細かく聞き観察することがその後の治療のために大切であること、何の目的で疼痛コントロールがされているのか、アセスメントするための情報は何であるのかを学べた研修内容であった。
	【臨床実践能力 ケアする力】救急対応 触っていいのだ！理解を深めるのだ！	9/18(火)・9/19(水) 17:15～18:00	21名 56%	講師：教育委員担当者 木村 波多野 小嶋 救急カートの中の薬剤や物品名、使用方法、注意点お説明と演習用人形での挿管チューブの固定方法の実践。救急カート内の薬剤について学習しレポートを提出。救急カート内の薬品や物品に触れ使用方法を知ることができてよかったですという意見が多くかった。
	【リーダーシップとマネジメント能力】組織の一員として多重課題を乗りこなせ！	9/4～10/31	20名 54%	動画視聴研修 e-ラーニング視聴後、アンケート回答。学びのレポート提出。多重課題について優先順位の考え方や患者への説明方法、1人でやろうとせず報告・連絡・相談を行ない対応することの大切さが学べた内容であった。
II	【臨床実践能力 意思決定を支える力】患者の気持ちを知り看護を考える	8/1～8/31動画 視聴 集合研修 9/5(木)・9/6(金) 17:30～18:30	38名 71%	動画視聴後集合研修 e-ラーニングのロールプレイ実践動画を実際に体験する研修。 体験・見学後にグループワークを行ない発表。自分の対応を振り返る機会となり患者の気持ちになって考えることができた。
	【臨床実践能力 ケアする力】心電図を読み取ろう	11/7(木) 17:15～18:15	27名 51% ラダーI 4名 ラダーIII 3名 ラダーIV 6名	講師：循環器内科 富田Dr 基礎の部分から心電図の見方、12誘導の装着方法、Drへの連絡のタイミングなど分かりやすい講義内容であった。ラダーII以外の受講も可能であり関心も伺えた。
	【リーダーシップとマネジメント能力】インバスケット研修	2025年3/21(金) 17:30～18:30	5名	講師：教育委員担当者 羽田 小倉 廣瀬 少人数であったが症例課題についてのリーダー対応についてグループワークを行ない優先度、問題分析、判断力について意見交換を行なった。自己の強みや弱みも振り返られる有意義な研修となった。
	【リーダーシップとマネジメント能力】インバスケット研修 フォローアップ	2025年3/6(木) 17:30～18:30	4名	講師：教育委員担当者 羽田 小倉 廣瀬 昨年度インバスケット研修受講者8名のうち4名が参加。 1年間リーダー業務を行ないグループワークで意見交換を行う。 1年前のインバスケット研修でのリーダーに必要なことはという質問に対し、「人を引っ張る力・判断力」という回答であったが、今回の質問では「判断の速さ・フィールドの広さ・メンバーの意識を高める声かけ・先を読む力」といった成長した回答がみられた。
III	【臨床実践能力 意思決定を支える力】みんなが笑顔になれるアサーションの基本 困ったといふに役立つアサーションの実際	7/5～7/31	52名 66%	動画視聴研修 e-ラーニング視聴しアンケートに回答。アンケート結果から84%の受講者がこの研修に興味があると回答。みんなが穏やかに笑顔で働く職場環境であって欲しい、アサーションはコミュニケーションを図る上で大切。自分も相手も尊重できるコミュニケーションができるようになればいいといった意見が多くかった。
	【専門性の開発能力】マジかー、Z世代の指導方法を考える	8/2～8/31	50名 64%	動画研修 e-ラーニングを視聴しアンケートに回答。アンケート結果から96%の受講者がこの研修に興味があると回答。その理由に自分とZ世代がどのように違うかを知りたかった・自分自身がZ世代のスタッフとの関わりに苦戦しているから・Z世代の人の考え方たに興味があったという意見が多かった。自分自身の対応について振り返り、今後どうしていきたいかといった明確な目標を持つことができた研修であった。
IV	【専門性の開発能力】生涯学習	2025年1/6月) 17:15～18:15	20名 25%	講師：金丸師長 日本看護協会 看護師の生涯学習について説明。生涯学習の必要性を理解し、自身のキャリアアップに向けて自己目標を定めることを目標にした研修。自分を見つめ直す機会になった。生涯学習は自分を成長させる大切なことだと思ったなどの意見が聞けた。
	【臨床実践能力 ケアする力】災害時の看護を考える	2025年1/6～2/22	41名 58%	動画研修 e-ラーニング視聴しアンケートに回答し学びのレポート提出。災害死だけでなく災害関連死を増やさないために準備・備え・考え方を学んだという意見が多くかった。

	<p>【専門性の開発能力】 プレゼンテーション ～相手にわかりやすく伝えるための技術を学ぼう～</p>	<p>講義 10/3(木) 17:15～18:15</p> <p>課題発表会 2025年1/23(木) 17:15～18:30</p>	<p>35名 83% ラダーIV以外 2名出席</p>	<p>講義 効果的なプレゼンテーションについて 講師：鉢立師長（透折看護認定看護師） 課題：自部署の特徴・看護の魅力・やりがいをテーマにパワーポイントを使ってスライドを作成し発表する。 課題発表会 講評：西村看護部長 鉢立師長 部署単位で作成したスライドを発表した。アンケート結果から92%の人がプレゼンテーションの講義が発表会の資料つくりに活かせたと回答。自部署の魅力について全ての人が再認識できたと回答した。</p>
	<p>【専門性の開発能力】 心理的安全性とハラスマントのない職場</p>	11/1～11/30	33名 76%	<p>動画研修 e-ラーニング視聴しアンケートに回答。学びのレポート提出。 自部署の心理的安全性について、基本的な挨拶や積極的コミュニケーションによる関係づくり、相手の立場を配慮した態度など職場の風土や環境作りに取り組む姿勢が大切といった意見が多くみられた。</p>
全體	看護部総会	7/18(火) 17:10～18:10	42名 委任状139名	4年ぶりに対面での看護部総会開催となった。2023年度事業報告・会計報告・2024年度予算・教育計画の報告を行なった。西村看護部長から今後の看護部についての講演があった。
	看護研究発表会	2025年3/5(火) 17:15～18:30	48名 18%	<p>発表部署：3-2 3-3 3-5 手術室 レインボウひこね 血液浄化センター 講評：西村看護部長 座長：金丸師長</p>
	ナラティブ発表会	11/1～11/30	159名 72%	<p>動画視聴研修 各部署でナラティブを発表し代表者を1名選出。発表を動画撮影し全部署の発表を視聴しアンケートに回答。今年度は11名の発表があった。他部署の特徴も知ることができ、視聴する側も発表者と同様の追体験をする事ができ思いの共有ができる研修。</p>
	ケーススタディ	導入講義 5/16(木) 17:30～18:10 発表会	19名 86%	<p>2022年入職者 15名 座長：木村副部長 講評：西村看護部長・加藤副部長・木村副部長・川口副部長 ケースをまとめることで自己の看護の振り返りと発表者の症例から学びの共有ができた。</p>
	透折研修	2025年 2/6(木)・2/13(木) 17:30～18:30	69名 26%	<p>講師：鉢立師長（透折認定看護師）・高森N s 今年度で3回目の研修。初めの参加者や3回受講者も飽きずに入れる内容であり「何で？」と思うことを分かりやすく説明され反響もよかったです。</p>
	認知症研修	2025年 2/10～3/10	1,169名 65% 2,157名 60%	<p>動画視聴研修 講師：堀尾師長（認知症認定看護師） 1.その人らしくあるために～身体拘束解除に向けて～ 2.院内ディ ひまわり2紹介 動画視聴後、アンケートに回答。身体拘束解除に向けて事例検討用紙を各部署でまとめ提出。身体拘束について各部署でのさまざまな立場から意見をまとめられていた。ひまわり2の紹介では、ひまわり2の活動内容を知ることができよかったです。活動を通じて認知症患者の対応を学ぶことができたといった感想が多かった。</p>
	リフレッシュ研修	10月		<p>リフレッシュ研修について看護職員全体にアンケートを実施。 食事券の回答が89%と圧倒的に多く、今年度も食事券とした。</p>

7 院内外研究発表

院内研究発表会

2025年3月5日 豊郷病院9-2ホール

1. センサー使用患者の環境調整

～ベッドサイドカンファレンスで転倒転落を予防する～

3-2病棟 ○前田知子 橋山健人 小梶智久

2. 整形外科大腿骨骨折手術前後のオリエンテーションパンフレットの刷新に向けて

～パンフレット作成とアンケート結果から見えたこと～

3-3病棟 ○小倉実菜子 田中悠太 奥田智子 古川寿子

3. 精神科患者が記入するエンディングノートの活用を目指して

3-5病棟 ○中島千乃 小林円美 間宮奈緒 中村真悟

4. 効果的な術前訪問を目指して

～入院前オリエンテーションを導入して見えてきたこと～

手術室 ○上野景子 福原香織

5. グループホームと訪問看護ステーションの連携について考える

～不安の軽減につながる電話対応を目指して～

訪問看護ステーション レインボウひこね ○上原真衣 永森由起 角間広美 奥川喜美枝

6. 卒業生チームによる看護学生に向けた新たな教育アプローチ

～看護学生に与えた将来のキャリアビジョンの意識変化～

血液浄化センター ○鉢立優作 藤岡孝治¹⁾ 北崎礼繁²⁾ 山口祐介³⁾ 入江亮介³⁾

上久保一樹⁴⁾ 小野昭子⁵⁾ 渡邊桃子⁵⁾

1) 町田市民病院 2) 日本医科大学武藏小杉病院 3) 県立日南病院 4) 鹿児島県立姶良病院 5) 日南学園高等学校宮崎嶽学館

講演・シンポジスト等

2024年5月17日

鉢立優作：明日に繋げるビリーブメント（死別）カンファレンス

舞鶴市透析ケアセミナー（WEB）

2024年6月7日～9日

鉢立優作：シンポジウム リアルワールドにおけるCKMの課題、その解決の糸口を探すビリーブメントカンファレンスの意義とグリーフ＆ビリーブメントケア

日本透析医学会学術集会

2024年8月18日

銘立優作：基調講演 遺族を交えたビリーブメントカンファレンスの実際と意義、第7回 Kicos
(腎不全チーム医療協議会) 学術大会 (WEB)

2024年11月9日、10日

銘立優作：ワークショップ CKM、ビリーブメントカンファレンスの経験からCKMを選択した患者、家族の支援を考える、第27回日本腎不全看護学会学術集会・総会、富山国際会議場

2024年11月14日

銘立優作：事例を通して考えるACP 看取りのプロセスにおけるチームケア、こうち地域チームケア研究会
くすのきセンター

2024年12月15日

高森健太：私の看護～透析看護のやりがいと魅力～、第10回滋賀県腎不全看護研究会
近江八幡市立総合医療センター

2025年1月16日

銘立優作：コラボレーション企画Kyoto to Shiga、自施設におけるエンパワメントを意識した患者支援、びわこCKD Step UPセミナーWEB講演会
サンルート彦根

2025年2月9日

高森健太：Opening remarks、第3回びわこバスキュラーアクセスセミナー 2025
近江八幡男女参画センター

2025年2月16日

銘立優作：特別講演 ビリーブメントカンファレンスの実際と意義、第2回 京都腎・透析看護研究会
京都TKP

2025年3月22日、23日

銘立優作：ビリーブメントシンポジウム 医療現場における死別ケアとチーム医療の可能性～ビリーブメントカンファレンスを通じた遺族支援の実践と展望～、遺族ケアとビリーブメントカンファレンスのはじまり、第4回日本臨床腎臓病看護学会学術集会・総会
九州大学医学部百年講堂

研究発表

2024年9月15日

○鉢立優作・北崎礼繁・山口祐介・入江亮介・上久保一樹・小野昭子・渡邊桃子

専門性を備えた看護師チームによる新たな教育的アプローチ「結 project」～看護学生に与えたキャリアビジョンの変化～、第45回滋賀腎・透析研究会、

ピアザ淡海

2024年11月9日、10日

○鉢立優作

ビリーブメント（死別）カンファレンスにおける遺族ケアの有用性と介入時期の検討、日本腎不全看護学会学術集会、

富山国際会議場

田辺三菱製薬医学教育助成事業実績 報告

2024年5月12日

○鉢立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、東京会場 順天堂大学

2024年6月23日

○鉢立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、愛知会場 イオンコンパス名古屋駅前

2024年7月21日

○鉢立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、札幌会場 札幌市立大学桑園キャンパス

2024年9月1日

○鉢立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、京都会場 京都経済センター

2024年10月20日

○鉢立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業

～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、岡山会場 共立学校共済組合岡山宿泊所ピュアリティまきび

2024年11月17日

○銘立優作・高森健太・木村剛・清水美樹・産賀知子・山岸さゆり

CKD重症化予防に向けてビリーブメント（死別）カンファレンスを明日に繋げるための推進事業
～質の高い治療・ケア、多職種協働、SDM、ACPを目指して～、田辺三菱医学教育助成/CKD重症化予防、沖縄会場 医療法人おもと会大浜第一病院

〈地域連携室部門〉

〈医療福祉相談室部門〉

医療福祉相談室理念

豊郷病院の基本理念に基づき、疾病に伴い生ずるさまざまな生活上の問題を共に考え、その解決に向け質の高い援助を提供します。

基本目標

1. 患者さんとご家族の人権を尊重し個人としての尊厳を擁護します。
2. 患者さんとご家族のプライバシーを尊重し秘密を保持します。
3. 患者さんとご家族が自らの問題解決に主体的に取り組めるよう支援し、自己決定権を保障します。
4. 院内の他職種、及び地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携を強めます。
5. 質の高い援助を提供するために、常に専門職としての研修・研鑽に努めるとともに、後輩の育成に努めます。
6. 専門職の立場から社会活動を行い、社会資源の活用と開発を図ります。

1 地域連携室事業報告

地域連携室

① 概要

「地域連携室」は、地域の医療機関、診療所の先生方と円滑な連携を図り、患者さまに迅速で適正な医療・検査を提供できるよう、2003（平成15）年5月に設置されました。

《業務内容》

1. 病病、病診連携業務

- ① 診察・検査予約調整
(地域の医療機関からの予約受付及び
地域の医療機関への予約依頼)
- ② 各種問合せの対応
(地域の医療機関からの問合せ及び地
域の医療機関への問合せ)
- ③ 転院調整
- ④ 紹介患者来院・入退院報告書処理
- ⑤ 診療結果報告書等処理（持参・郵送）
- ⑥ 紹介患者データ統計処理・分析
- ⑦ びわ湖あさがおネットの公開処理
- ⑧ 医療機関・福祉施設・行政への訪問

2. 近隣医師会との連携業務

愛知・犬上医師連絡会

3. 広報紙活動

- ① 広報紙の発行・配布
- ② 外来診療担当表・及び病院からのお知
らせ等配布
- ③ 医療情報収集・発信

4. 地域との連携業務

- ① 地域向け行事の開催
- ② 地域行事への参加

5. その他調整業務

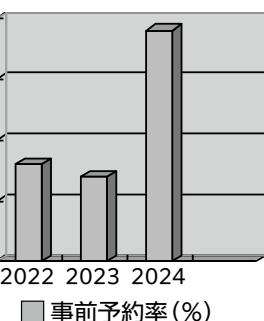
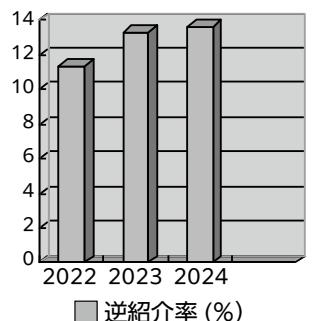
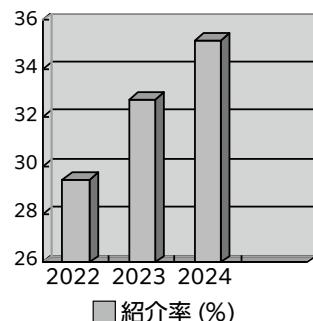
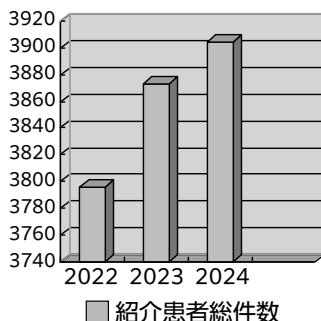
② スタッフ

担当 院長特別補佐・副院長・診療部長 曽我 弘樹
室 長 上野 志保 係 長 多林 晴美 室 員 山本 瑠夏

③ 活動実績

1. 紹介患者

	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度
紹介患者総件数	3,796	3,873	3,904
紹介率	29.4%	32.7%	35.2%
逆紹介率	11.3%	13.3%	13.6%
事前予約率 (地域の医療機関からの予約)	58.8%	58.7%	59.9%



2. 研修会

□愛知犬上医師連絡会

日時・場所・内容

- ◆2024年6月14日（金）14：00～15：00
パストラールとよさと 研修室
「当院の整形外科診療について」 病院長（整形外科） 難波江 正浩 医師
- ◆2024年9月13日（金）14：00～15：00
パストラールとよさと 研修室
「アルコール関連問題」～依存症から予防まで～ 精神科顧問 波床 将材 医師
- ◆2025年2月27日（木）17時30分～
「私が考える救急診療のポイント」
滋賀医科大学医学部付属病院 救急集中治療医学講座 教授 塩見 直人先生

3. 広報紙発行

豊郷病院広報紙「医心伝心」の発行

- ◆定期号4回発行 4月・7月・10月・1月
- ◆号外版1回発行 7月（眼科）

4. 地域との連携業務

連携内容の詳細は51頁の4公開セミナー・出前講座・健康フェスティバルに別記掲載

④ 研修活動

1. 院内研修会、勉強会

2024（R6）年

4月22日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「訪問看護について」	3名
5月27日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「診療報酬改定」	3名
6月24日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「データ提出の様式について」	3名
7月6日	七夕コンサート	2名
7月22日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「レスパイト入院」	3名
8月26日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「医療経営士を目指そう」	3名
	事務部勉強会	
	「地域包括ケア病棟の運用方法の変更について」	3名
8月27日	医療安全研修会「BLS実技研修」(DVD)	3名
8月28日	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会 (DVD)	3名
9月24日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「郵便料金について」	3名
9月26日	感染対策研修会	
	「発熱外来の実際」-発熱外来のこれまでとこれから- (DVD)	3名
9月30日	虐待防止・医療安全研修会	
	「患者の虐待の防止と職員のメンタルヘルス」	3名
10月21日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部研修会	
	「育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法改正ポイント等について」	3名
10月30日	アンガーマネジメント研修会	1名
11月18日	公開セミナー「骨粗しょう症について」	3名
11月25日	事務部ネパール語勉強会	3名

	事務部勉強会「診断書・証明書《精神科ver》」	3名
11月27日	医療放射線安全管理オンライン研修 (DVD)	3名
12月10日	アンガーマネージメント研修会	1名
12月16日	アンガーマネージメント研修会	1名
12月23日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「日本のクリスマスについて」	3名 3名
2025 (R 7) 年		
1月29日	アンガーマネージメント研修会	1名
1月31日	医療安全研修会「パワーハラスメント」	1名
2月10日	医療安全研修会「パワーハラスメント」	1名
2月17日	医療安全研修会「パワーハラスメント」(DVD)	1名
2月26日	アンガーマネージメント研修会	1名
3月11日	人権研修会『ジェンダー入門②多様な「性」』(DVD)	3名
3月12日	TQM活動発表会	3名
3月15日	公開セミナー 「認知症の人とのつきあい方 2」-本人も困ってます-	3名
3月19日	感染対策研修会「標準予防対策」(DVD)	3名
3月24日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「CHATGPTの使用方法と、当院の利用実績の紹介」	3名 2名
3月28日	虐待防止研修会「医療者と患者の関係性を考える ～“対等な立場”と“信頼関係”的築き方～」	1名

2. 室内研修会

2025 (R 7) 年		
2月 6 日	室内人権研修会『東山文化を支えた「差別された人々」』(DVD)	3名

2 医療福祉相談室事業報告

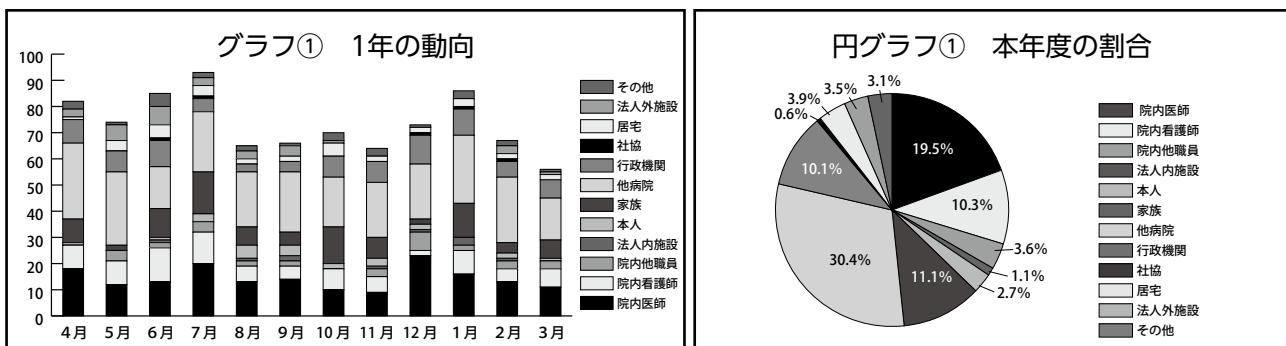
医療福祉相談室

1、新規ケースの紹介経路

表①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度計	2023年度計
院内医師	18	12	13	20	13	14	10	9	23	16	13	11	172	140
院内看護師	9	9	13	12	6	5	8	6	2	9	5	7	91	87
院内他職員	0	4	2	4	2	2	0	3	7	2	3	3	32	32
法人内施設	0	0	1	0	1	2	0	1	1	3	1	0	10	15
本人	1	0	1	3	5	4	2	3	2	0	2	1	24	28
家族	9	2	11	16	7	5	14	8	2	13	4	7	98	110
他病院	29	28	16	23	21	23	19	21	21	26	25	16	268	327
行政機関	9	8	10	5	3	4	8	8	11	10	6	7	89	97
社協	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	5	5
居宅	1	4	5	4	2	2	5	2	2	3	2	2	34	40
法人外施設	3	6	7	3	3	4	1	0	0	0	3	1	31	44
その他	3	1	5	2	2	1	3	3	1	3	2	1	27	32
計	82	74	85	93	65	66	70	64	73	86	67	56	881	957

(件)

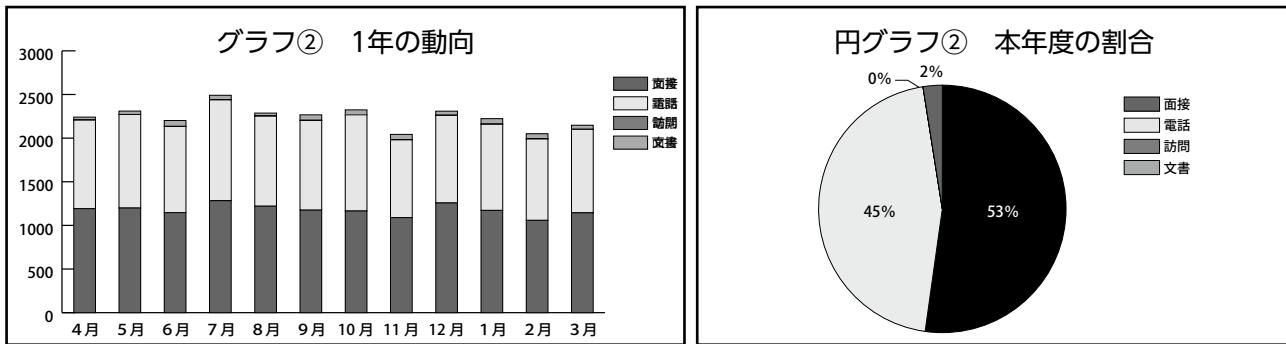


2、援助方法

表②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度計	2023年度計
面接	1,192	1,199	1,146	1,283	1,220	1,175	1,165	1,089	1,257	1,172	1,058	1,144	14,100	14,118
電話	1,014	1,072	987	1,155	1,031	1,027	1,102	891	1,003	986	932	956	12,156	12,369
訪問	1	0	2	3	3	3	0	2	3	3	1	1	22	10
文書	34	39	67	50	33	62	57	61	46	62	59	47	617	675

(件)

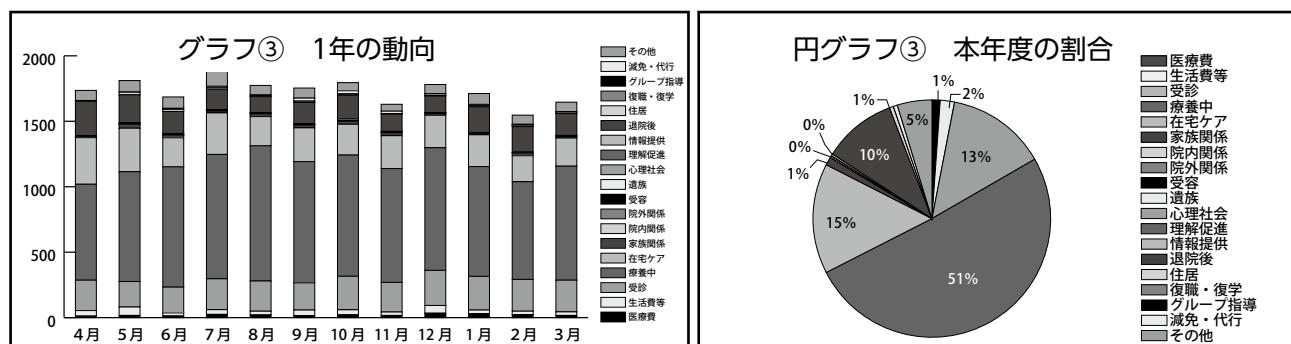


3、援助内容

表③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度計	2023年度計
医療費	12	17	13	25	21	15	22	17	34	31	24	17	248	233
生活費等	42	64	23	36	28	43	38	26	59	27	25	27	438	384
受診	232	195	197	236	231	208	256	226	268	257	243	242	2,791	2,568
療養中	733	839	919	950	1,033	926	926	870	937	839	746	871	10,589	8,636
在宅ケア	356	332	222	317	223	258	235	251	248	243	199	215	3,099	5,502
家族関係	10	31	21	14	21	21	24	21	14	8	21	12	218	147
院内関係	1	2	2	0	0	0	1	0	3	0	0	2	11	17
院外関係	0	2	4	4	1	2	2	5	1	2	3	3	29	40
受容	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
遺族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心理社会	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
理解促進	0	1	0	0	4	2	0	1	0	1	0	0	9	7
情報提供	5	5	3	6	3	6	13	6	2	4	4	3	60	75
退院後	262	213	171	155	123	163	182	132	127	199	194	167	2,088	2,347
住居	4	20	16	12	5	9	9	1	5	9	11	11	112	77
復職・復学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	12
グループ指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
減免・代行	2	0	8	10	8	24	25	21	14	9	6	4	131	30
その他	77	89	87	128	73	77	62	53	69	83	70	72	940	736

(件)

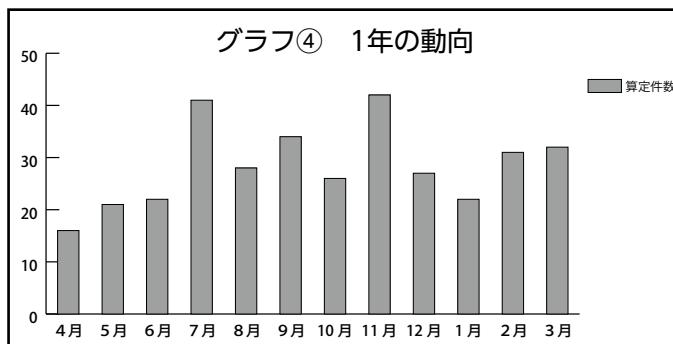


4、入退院支援加算算定（退院支援計画書）

表④

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度計	2023年度計
算定件数	16	21	22	41	28	34	26	42	27	22	31	32	342	435

(件)

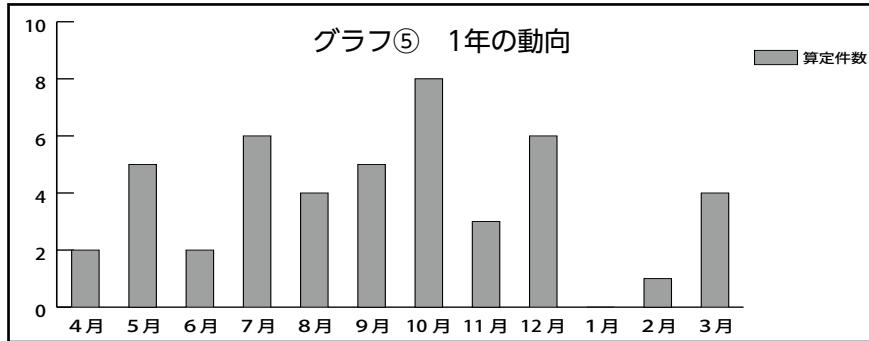


5、介護支援連携指導料算定

表⑤

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年度計	2023年度計
算定件数	2	5	2	6	4	5	8	3	6	0	1	4	46	77

(件)

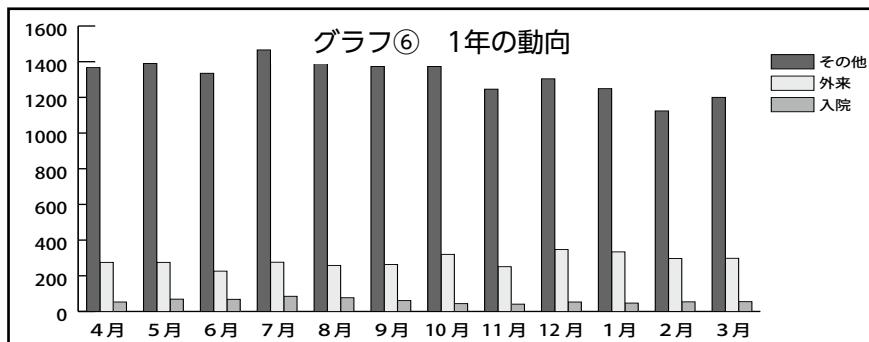


6、入院/外来区分

表⑥

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2023年度計
入院	1,367	1,390	1,335	1,466	1,392	1,373	1,373	1,246	1,304	1,249	1,124	1,200	15,819	15,605
外来	275	275	226	276	258	263	320	251	347	334	297	298	3,420	3,453
その他	53	69	68	85	77	61	44	41	53	47	54	55	707	855

(件)



7、定期会議・委員会・地域活動等

院内	課科長師長会、事務部会、事務部課長会、コンサルヒアリング、事務部管理会議、病院管理会議、公休日数検討会議、健康推進会議、ベッドコントロール会議、関連施設委員会、個人情報保護対策委員会、ボランティア委員会、互礼会、物故者追弔会、精神科病院実施指導および精神科病院入院者実地審査、生活保護法による個別指導	1名
	びわこ学院大学看護臨床実習、職場体験学習（愛知中学校、秦荘中学校、稲枝中学校、彦根中学校、豊日中学校）、クリニカルパス委員会、認知症疾患医療センター及び認知症外来運営委員会、多職種カンファレンス	1名
	指定通院医療機関一般指導監査	2名
	精神科新規入院カンファレンス、医療保護入院者退院支援委員会	3名
	虐待防止委員会	3名
	行動制限最小化委員会、身体拘束最小化委員会、心理教育プログラム	2名
	係長・主任会議、リハビリカンファレンス、新入職員実習	2名
	3-2病棟カンファレンス	3名
	3-3病棟カンファレンス	2名
	3-4病棟カンファレンス	3名
	3-5病棟カンファレンス、退院支援委員会	2名
	5-2病棟カンファレンス	3名
	5-2病棟初期カンファレンス	2名
	透析入院カンファレンス	3名
	地域包括ケア病棟運用合同会議	2名
	サービス向上員会	1名
	エコ委員会	1名
	互助会美化運動	7名
院外	障害支援区分認定審査会、ボランティア交流会	1名
	湖東地域ネットワーク会議	2名
	滋賀県医療観察制度運営連絡協議会、心神喪失者等医療観察法に係るケア会議、湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業合同会議（コア会議）、湖東圏域難病対策地域協議会	1名
	ひこっとパス研修会、東近江脳卒中地域連携連絡会議、湖東地域脳卒中地域連携検討会ワーキング部会	2名
	認知症疾患医療センター推進会議、管内認知症施策担当者会議、湖東圏域認知症疾患医療連携協議会、認知症疾患センター相談員情報交換会	1名
	湖東地域自殺対策連絡協議会	2名
	滋賀県MSW協会研修部会、訪問看護認定教育課程 インタビュー協力	1名
	地域移行推進協議会	2名
	七夕コンサート	4名
	4病院MSW連携会議	6名

8、各種研修会等

4月	BCP法人全体研修	1名
5月	こうう地域チームケア研究会	2名
	2024年度診療報酬改定院内説明会	1名
6月	滋賀県MSW協会創立50周年記念式典、総会	2名
	ステップアップ21施設見学	1名
	BLS研修	7名
	令和6年度 滋賀県高次脳機能障害支援養成研修 基礎研修	1名
8月	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会	7名
	滋賀県MSW協会初任者研修	2名
	令和6年度教育研修事業 トピック精神疾患コース	1名
	令和6年度 自殺未遂者実務者研	1名

	感染対策研修	7名
9月	BLS研修	1名
	湖東地域若手職員連続講座2024	1名
	滋賀県MSW協会研修	4名
	滋賀県MSW協会オンライン研究会	1名
	湖東地域若手職員連続講座2024	1名
10月	医療安全研修	7名
	こころの地域チームケア研究会	3名
	令和6年度 滋賀県高次脳機能障害支援養成研修 基礎研修	1名
	医療放射線安全研修会	7名
	在宅医療セミナー(彦根市立病院)	2名
	ことう地域チームケア研究会	2名
11月	豊郷病院公開セミナー	5名
	令和6年度 入退院支援機能強化事業 全体研修会	2名
	認知症疾患医療センター相談員研修会・情報交換会 (ZOOM)	2名
	令和6年度 滋賀県高次脳機能障害支援養成研修 基礎研修	1名
12月	アンガーマネジメント研修	1名
	令和6年度第1回湖東圏域・病院交流会	2名
	ことう地域チームケア研究会	4名
1月	龍谷大学福祉フォーラム	1名
	令和6年度POS連絡協議会湖東ブロック人材育成事業事例検討会	1名
	湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業 合同交流会	2名
	『「社会福祉援助実習」について考える』オンライン学習会	1名
	医療安全研修	7名
	令和6年度 医療観察法に係るWeb研修会	2名
2月	令和6年度滋賀県高次脳障害支援養成研修 実践研修	1名
	人権研修	7名
	湖東地域若手職員連続講座2024	1名
	こころの地域チームケア研究会	2名
	アンガーマネジメント研修	1名
	人権研修	7名
	豊郷病院公開セミナー	3名
	滋賀県MSW協会研修	2名
3月	医療安全研修	7名
	改正精神保健福祉法に係る説明会 (ZOOM)	3名
	虐待防止研修会	7名
	湖東地域若手職員連続講座2024	1名

9. スタッフ

室長 上野 志保
 係長 西村 啓
 主任 笹木 一希
 担当 北村 一 入谷 恵 江畠 夏未 桐山 貴宣

〈事務部門〉

〈診療情報管理室部門〉

〈各種統計資料〉

事務部理念

豊郷病院事務部は病院の基本理念に基づき、
医療の質とサービスの向上につとめ、合理的で
安定した運営管理を行い、地域医療に貢献する

基本目標

1. 地域に必要な医療設備と患者さま本位の快適な環境の整備に努める。
2. 人権を尊重し、思いやりの心で明るく優しい対応に努める。
3. 優秀な人材確保と育成に努める。
4. 法令遵守と安全・安心・信頼を築く。
5. ムダをなくし、経費削減に努め、健全経営を行う。
6. 地域に開かれた運営と連携に努める。

1 事務部・診療情報管理室事業報告

管理課

① 概要

職員の労務時間管理、給与・福利厚生、ライフイベントに沿って生じる諸手続きの管理、任免・賞罰、労使関係、教育研修、職員採用、人権関係などを行う。

② スタッフ

課長 宇野玲子、課長補佐 熊木英夫、主任 北川未奈実、課員 2名

③ 活動実績

- ・人材確保に向けた取り組み
看護職のための豊郷病院見学・相談会（毎月第3土曜日に実施）、個別対応
マイナビ看護学生等、外部相談会・合同説明会への参加
介護・ケアワーカー人材不足対策としての「技能実習生」の受け入れ
- ・人権尊重と質の向上
人権教育の推進（全体研修、新人研修）
- ・確定拠出年金の拠出限度額の見直しへの対応
- ・業務改善
 - ①休暇届の電子化導入準備
 - ②年間の休み120日に向けて、制度構築。スマイルホリデーの制度定着に向けての制度構築

④ 研修活動

課内研修会
人権研修
接遇研修

企画財務課

① 概要

法人全体の経営方針・経営戦略・中期計画策定、ならびに実績評価と課題の検討、改善の方法の策定。財務諸表、予算、決算、監査に関する事。財産管理、資産繰り等を幅広く取り扱う。

② スタッフ

課長 山本 保 課長補佐 山本洋道 課員 3名

③ 活動実績

- ・収益UPに向けた企画立案
- ・コンサルタント会社と法人各担当者と折衝
- ・各部署の目標や課題、その取り組み内容の把握ヒアリング実施と、実績評価

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ・現・預金の出納管理 | ・各税金・保険料等の納税納付 |
| ・法定調書の作成 | ・財務諸表の作成・分析 |
| ・固定資産台帳作成・管理 | ・公益法人手続き関連 |
| ・各金融機関・行政・税務署などと交渉、調整 | |
| 2024.06.04…会計監査 | 2024.06.26…決算役員会 |
| 2024.11.22…中間役員会 | 2025.03.28…予算役員会 |

④ 研修活動

TQM活動、医療安全、感染管理等

2023.08.26 事務部勉強会 テーマ：医療経営士を目指しましょう（発表者：山本保）

2024.10月 課内人権研修

診療情報管理室

① 概要

患者と職員が診療情報を共有し、相互の信頼関係を深め、質の高い医療を提供するための診療情報の管理と情報の提供を行う。また、診療情報の統一を行い、その情報が広域的に活用されることにより、患者および病院や地域医療の医療・保険・福祉に貢献する。院内のシステム機器の管理や修理・調整をおこない、診療を円滑にする環境を提供する。

② スタッフ

担当課長 山本 保、係長 清水宏美、主任 木村延也 室員 2名

③ 活動実績

個人情報資料の破棄

電子カルテサーバー定期再起動（年6回）

④ 研修活動

診療情報管理室内研修 接遇マナー研修

事務部勉強会 ChatGPTの使用方法と、当院の利用実績の紹介

医療支援室

① 概要

医療支援室として独立し、業務を拡充。医師負担軽減のタスクシフトをすすめる。

② スタッフ

課長 山本 保、係長 森田克哉、ニチイ学館 3名

③ 活動実績

- ・待ち時間削減を目的とした外来医師補助業務
- ・年間3,000件以上の診断書作成補助
- ・書類全般の問い合わせ窓口
- ・カルテ代行入力や診断書補助による医師の事務作業補助
- ・介護保険主治医意見書の作成補助
- ・訪問看護指示書の作成補助
- ・臨床研修医の受入れ補助

④ 研修活動

- ・医療クラーク内勉強会（1回/月）
- ・人権学習（課内）（1回/年）
- ・接遇研修（課内）（1回/年）

【2024（令和6）年度 実習・見学会の受け入れ報告】

彦根市立病院より精神科研修医 4名

実習期間：2024年7月29日～2024年12月13日

滋賀医科大学医学部附属病院より医学部医学科6学年「学外臨床実習」 3名

実習期間：2024年5月7日～2024年5月31日、2023年6月5日～2023年6月30日

滋賀医科大学内科専門研修プログラム管理委員会（ZOOM会議）

滋賀医科大学医学部附属病院医師初期臨床研修管理委員会（ZOOM会議）

滋賀県立総合病院合同臨床研修管理委員会（ZOOM会議）年3回

彦根市立病院臨床研修管理委員会

医師臨床研修プログラム年次報告（滋賀医科大学医学部附属病院・滋賀県立総合病院・彦根市立病院）等

医事課

① 概要

診療報酬明細書（レセプト）作成業務、各種請求業務、外来受付業務、入退院業務、患者サービスに係る業務、健康診断（人間ドック）、各種データ作成・分析、未収金管理など

② スタッフ

課長 岡村昌彦、課長補佐 南 典宏、係長 上林真紀、主任 小倉真理奈・若林香菜、
課員14名 外部委託25名

③ 活動実績

- 毎月の保険請求業務
- 毎日の総合受付及び各科窓口での窓口業務、会計業務
- 毎月の診療内容の分析及び報告
- 未収金対策
- 外部実習 受入れ

④ 研修活動

〈医事課内活動〉

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 保険診療減点等検討会（毎月1回 10日頃） | 医事課内 人権学習（1回/年） |
| 医事課内 接遇研修（1回/年） | 医事課内 個人情報研修（1回/年） |
| TQM活動 | |

〈医事課内委員会〉

- | | |
|--------------------|--------------------|
| サービス向上委員会（毎月1回 月末） | 業務改善委員会（毎月1回 20日頃） |
| レセプト博士委員会（不定期） | 保険証確認強化日（毎月2回） |
| 未収金強化日（毎月1回） | |

〈院外活動〉

- 豊郷町人権問題学習講座への参加（数回に分かれての参加）

総務課

① 概要

- 総務、資材、営繕、リネン、宿舎、保育、学童、警備、清掃、電気を担当。
- ・公益財団法人豊郷病院の開設事項、役員会事務局、施設の改変事務、設備管理、社宅管理、施設基準、諸補助金並びに各種申請報告に関すること。
 - ・諸契約事項及び通達、文書の収発管理に関すること。
 - ・当直業務、保安、警備、防災、救急情報センター業務、電話交換業務、自動車運行管理に関すること。
 - ・リネン、清掃、給食業務等の各委託業務管理に関すること。
 - ・病院のボイラー、給水湯、冷暖房、自家発電装置、電気、ガス、上下水道、排水、コ・ジェネレーション等設備管理に関すること。
 - ・医療機器、事務機器、医療材料消耗品、事務消耗品、被服、伝票類、発注購買、検収、保管、管理及び入出庫業務に関すること。

② スタッフ

課長 岩佐 武、係長 山本真弓、主任 吉田章人、木村貴子、草野千晴、渡邊由美子、吉岡美香子、金子三喜夫、北川悟司、鈎 義仁、土田利絵、松田和男

③ 活動実績

- 公益法人登記関係、事務局
- 役員会事務局
- その他

④ 研修活動

- 人権研修
- 接遇研修

2 各種統計資料

各科月別新患者統計（保険別）

(自.2024.4.1~至.2025.3.31)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	国保	15	7	5	10	7	9	3	6	6	7	5	2	82
	健保	16	9	11	22	15	19	9	12	13	17	6	9	158
	後期高齢	4	6	6	11	12	10	13	13	3	10	9	6	103
	生保	1		2	1	4	3	3		1	1	1	1	18
	労災												0	
	自費	1		2		1		1				2	1	8
	その他												0	
合計		37	22	26	44	39	41	29	31	23	35	23	19	369
消化器科	国保	7	16	15	18	15	9	12	11	13	13	8	7	144
	健保	37	45	29	38	47	44	32	24	33	36	30	28	423
	後期高齢	13	17	14	14	9	14	14	17	22	7	10	18	169
	生保	1		4	1			2	2	1	2	1	1	15
	労災												0	
	自費	3		2		2		3	1	1	3	1	5	21
	その他					1							1	
合計		61	78	64	71	74	67	63	55	70	61	50	59	773
内科(糖尿・透析)	国保	1	1	2	3	8	5	3	2	7	5	5	3	45
	健保	10	13	9	12	20	5	8	9	14	17	5	8	130
	後期高齢	7	8	6	8	7	4	4	5	6	6	6	4	71
	生保	1	1			1		1			1	1		6
	労災												0	
	自費	3	1		1	5	3	2		3	2	2	4	26
	その他												0	
合計		22	24	17	24	41	17	18	16	30	31	19	19	278
呼吸器内科	国保	22	24	24	40	33	30	20	25	33	37	33	22	343
	健保	69	72	80	119	141	79	103	88	200	174	76	83	1,284
	後期高齢	27	27	28	43	33	55	33	20	32	40	24	24	386
	生保	4	2	1	1	3	2		1	7	3	2	1	27
	労災												0	
	自費	2	2	4	1	6	9	3	3	3	6	5	3	47
	その他		1										1	2
合計		124	128	137	204	216	175	159	137	275	260	140	134	2,089
呼吸器外科	国保												0	
	健保												0	
	後期高齢												0	
	生保												0	
	労災												0	
	自費												0	
	その他												0	
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	国保	6	8	5	11	13	6	6	6	10	15	13	9	108
	健保	17	13	11	23	23	13	21	16	19	16	20	25	217
	後期高齢	17	9	16	15	15	9	20	18	15	11	10	18	173
	生保	3	1	1		1	1		2	2			11	
	労災												0	
	自費	1	1			2	1		1		3		1	10
	その他												0	
合計		44	32	33	49	54	30	47	43	46	45	43	53	519

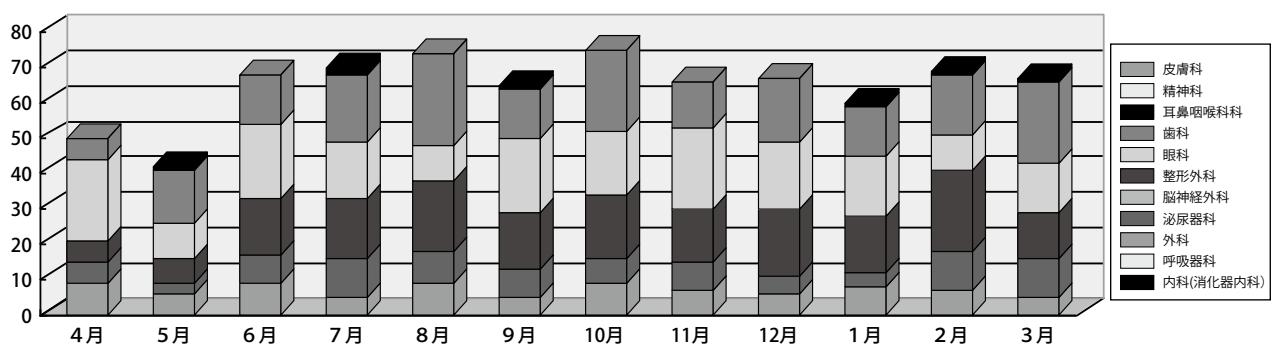
科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	国保													0
	健保													0
	後期高齢					1								1
	生保													0
	労災													0
	自費													0
	その他													0
外科	合計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	国保	12	11	11	13	13	13	7	13	11	8	12	7	131
	健保	27	33	28	38	27	21	34	27	33	22	20	33	343
	後期高齢	17	6	12	15	17	19	23	14	18	13	10	10	174
	生保	1			3	1		1	1	1	1	1	1	11
	労災	1		1		1	3		2					8
	自費	12	8	13	17	17	12	11	8	10	9	13	15	145
脳神経外科	その他	1				1						1		3
	合計	71	58	65	86	77	68	76	65	73	53	57	66	815
	国保	1	3	2	5	4	3	3	5	4	1	4	3	38
	健保	3	12	5	10	5	6	10	4	6	11	1	3	76
	後期高齢	3	9	9	8	7	6	9	7	3	5	7	6	79
	生保		1		1									2
	労災													0
脳神経内科	自費		1		1			1				1		4
	その他													0
	合計	7	26	16	25	16	15	23	16	13	17	13	12	199
	国保						1	1	1			1		5
	健保			3		2	1	2	1	4	1	2	1	17
	後期高齢	1			2				1	1	1	1	1	8
	生保													0
整形外科	労災													0
	自費								1					1
	その他													0
	合計	1	0	3	2	2	2	3	4	6	2	4	2	31
	国保	41	46	35	38	35	38	39	37	28	32	32	39	440
	健保	82	96	86	75	99	64	98	97	83	97	74	102	1,053
	後期高齢	51	61	44	48	47	40	54	51	39	65	46	56	602
眼科	生保	1	2	3	2	4	2	5	2	4	4	2	2	33
	労災	2			1	3	3	1	1		1	1		13
	自費	6	14	14	10	12	13	11	6	20	12	15	8	141
	その他	5	8	7	6	3	8	13	2	3	6	7	6	74
	合計	188	227	189	180	203	168	221	196	177	217	177	213	2,356
	国保	24	37	27	26	23	18	34	15	17	10	21	17	269
	健保	44	53	37	50	47	31	34	33	32	33	38	47	479
眼科	後期高齢	35	39	28	25	24	27	29	20	21	16	16	29	309
	生保		2	5			1	3	2	3	2	3	3	24
	労災													0
	自費	2	2	1		1		1		1	1	1	1	11
	その他													0
	合計	105	133	98	101	95	77	101	70	74	62	79	97	1,092

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳 鼻 咽 喉 科	国保	24	31	22	24	16	15	25	21	24	19	25	32	278
	健保	74	65	52	62	63	56	67	75	86	75	65	100	840
	後期高齢	24	31	17	25	27	38	36	34	28	25	27	40	352
	生保	5	5	5	3	3	3	5	1	1	2	1	3	37
	労災													0
	自費	3		4	2					1				10
	その他		1											1
	合計	130	133	100	116	109	112	133	131	140	121	118	175	1,518
皮膚科	国保	13	11	18	25	14	11	10	6	6	10	13	9	146
	健保	34	19	30	31	28	15	24	21	16	17	21	17	273
	後期高齢	15	22	25	16	16	24	22	25	21	20	14	18	238
	生保	1	3	2	3	3	3	3		1	2	1	5	27
	労災													0
	自費			1			1							2
	その他													0
	合計	63	55	76	75	61	54	59	52	44	49	49	49	686
歯科・ 歯科口腔 外科	国保	38	21	31	20	28	21	27	22	35	33	29	23	328
	健保	66	48	46	66	75	36	61	48	60	42	52	71	671
	後期高齢	59	41	42	59	65	54	59	51	49	42	59	54	634
	生保	6	10	3	8	5	3	7	6	6	5	1	3	63
	労災													0
	自費	4	1	1				3	1	1			4	15
	その他													0
	合計	173	121	123	153	173	114	157	128	151	122	141	155	1,711
婦人科	国保	3	3		3	5	5	1	2	5		1	4	32
	健保	6	2	7	3	2	3	5	3	9	3	6	6	55
	後期高齢	2	2	2	4	1	1	1	3	5		6	2	29
	生保	1	1					1				1	1	5
	労災													0
	自費		2											2
	その他													0
	合計	12	10	9	10	8	9	8	8	19	3	14	13	123
小児科	国保	8	24	19	22	17	31	14	14	22	4	8	7	190
	健保	58	101	96	95	75	83	86	92	114	77	73	66	1,016
	後期高齢													0
	生保	1	2	2	1		3		1	2		1	1	14
	労災													0
	自費	1	2	1	3			3	3		1		3	17
	その他										1			1
	合計	68	129	118	121	92	117	103	110	138	83	82	77	1,238
精神科	国保	13	11	10	12	13	15	15	15	8	7	8	12	139
	健保	14	22	18	24	26	27	29	24	10	14	16	26	250
	後期高齢	24	25	25	26	19	28	36	27	27	24	23	24	308
	生保	3	4	3	2	3	3	4	1	3	6	1	3	36
	労災													0
	自費	1	3	1	3		5	2	1	4	2	1	4	27
	その他				1					1				2
	合計	55	65	57	68	61	78	86	68	53	53	49	69	762

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心療内科	国保													0
	健保													0
	後期高齢													0
	生保													0
	労災													0
	自費													0
	その他													0
合計	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国保	228	254	226	270	244	230	220	201	230	201	218	196	2,718
	健保	557	603	548	668	695	503	623	574	732	652	505	625	7,285
	後期高齢	299	303	274	319	300	329	353	306	290	285	268	310	3,636
	生保	29	34	31	26	28	24	35	19	32	29	17	25	329
	労災	3		1	1	4	6	1	3		1	1		21
	自費	39	37	44	38	46	44	41	25	44	39	41	49	487
その他	その他	6	10	7	7	5	8	13	2	4	7	8	7	84
	合計	1,161	1,241	1,131	1,329	1,322	1,144	1,286	1,130	1,332	1,214	1,058	1,212	14,560

手術の件数

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(消化器内科)														0
呼吸器科														0
外科	9	6	9	5	9	5	9	9	7	6	8	7	5	85
泌尿器科	6	3	8	11	9	8	7	8	5	4	11	11	11	91
脳神経外科														0
整形外科	6	7	16	17	20	16	18	15	19	16	23	13	186	
眼科	23	10	21	16	10	21	18	23	19	17	10	14	202	
歯科	6	15	14	19	26	14	23	13	18	14	17	23	202	
耳鼻咽喉科		1		2		1				1	1	1	7	7
精神科														0
皮膚科														0
合計	50	42	68	70	74	65	75	66	67	60	69	67	773	



各科診療取扱患者数《外来・通所》

(自 2024.4.1~至 2025.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		777	745	693	767	722	748	760	732	737	739	658	748	8,826
消化器内科		444	444	429	492	488	457	511	438	471	468	394	449	5,485
内 科 一 般		404	381	376	414	428	367	426	344	413	384	364	359	4,660
呼吸器内科		900	913	951	1,083	1,106	1,002	996	942	1,213	1,109	893	933	12,041
呼吸器外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科		249	249	252	287	280	226	245	225	232	211	195	249	2,900
泌 尿 器 科		601	533	513	602	556	557	640	544	618	560	506	574	6,804
透 析		614	615	592	662	610	637	700	611	621	635	602	608	7,507
皮 膚 科		249	240	242	279	285	265	237	243	220	211	216	243	2,930
脳神経外科		56	77	51	74	58	49	80	62	61	65	54	61	748
脳神経内科		80	51	79	84	79	74	76	70	70	70	71	64	868
整 形 外 科		790	877	857	954	968	890	1,017	891	956	896	865	1,034	10,995
婦 人 科		82	49	58	56	46	59	61	46	63	23	64	85	692
耳 鼻 咽 喉 科		433	440	370	433	392	350	442	400	442	443	385	518	5,048
眼 科		609	676	632	709	639	629	659	604	640	525	544	666	7,532
歯 科		510	438	412	529	511	479	538	470	499	471	409	494	5,760
小 児 科		174	270	235	240	230	226	234	244	294	216	214	200	2,777
心 療 内 科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精 神 科		1,616	1,588	1,506	1,677	1,600	1,618	1,706	1,607	1,665	1,580	1,529	1,678	19,370
合 計		8,588	8,586	8,248	9,342	8,998	8,633	9,328	8,473	9,215	8,606	7,963	8,963	104,943

(介 護)

訪問看護ステーション	1,466	1,520	1,466	1,527	1,406	1,422	1,520	1,362	1,373	1,290	1,215	1,330	16,897
介護老人保健施設	353	322	304	363	325	324	380	325	312	291	270	301	3,870
彦根デイサービス	613	623	587	545	574	552	591	580	562	492	520	587	6,826
甲良デイサービス	407	408	379	419	401	414	466	424	378	346	317	363	4,722

各科診療取扱患者数《入院・入所》

(自 2024.4.1~至 2025.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		356	258	228	183	236	242	267	267	378	353	395	459	3,622
消化器内科		632	450	381	497	495	501	503	471	557	556	576	471	6,090
内 科 一 般		121	126	118	138	157	143	116	151	100	67	26	107	1,370
心 療 内 科		243	179	249	222	229	247	183	125	93	116	41	88	2,015
呼吸器内科		598	554	535	511	503	435	450	420	461	494	290	306	5,557
呼吸器外科		390	407	558	609	888	887	675	683	696	710	528	538	7,569
外 科		394	355	421	432	429	462	428	331	262	302	327	260	4,403
泌 尿 器 科		351	365	316	242	282	218	272	243	232	192	214	163	3,090
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科		752	704	768	814	543	582	620	543	592	547	377	402	7,244
眼 科		43	10	51	26	16	37	34	33	39	37	10	14	350
歯 科		11	45	18	23	33	19	40	19	26	18	25	31	308
小 児 科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	29	43	26	10	36	14	6	17	10	22	223	
精 神 科		2,868	3,018	2,804	2,792	2,860	2,792	2,918	2,823	2,944	2,810	2,601	2,960	34,190
1・3(10月から感染)病棟		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回復期リハ		849	925	869	866	826	860	915	884	879	909	755	923	10,460
合 計		7,608	7,425	7,359	7,381	7,507	7,461	7,435	6,999	7,276	7,121	6,175	6,744	86,491

(介 護)

介護老人保健施設	2,726	2,789	2,828	2,958	3,000	2,832	2,783	2,782	2,875	2,915	2,607	2,795	33,890
彦根グループホーム	270	273	250	248	217	255	279	270	279	279	252	279	3,151
甲良グループホーム	270	279	270	261	279	264	270	269	248	240	225	259	3,134

外来地域別診療患者数 (自2024.4.1～至2025.3.31)

都市	犬上郡			愛知郡	三市			その他	合計
	豊郷町	甲良町	多賀町		彦根市	東近江市	近江八幡		
内科	1,059	662	274	1,007	1,013	386	57	64	4,522
消化器内科	1,098	497	264	1,257	1,031	329	50	77	4,603
循環器内科	2,584	1,119	448	1,927	1,626	463	53	158	8,378
外科	399	286	106	513	486	147	14	54	2,005
脳神経外科	154	70	21	151	198	59	1	27	681
整形外科	1,640	1,085	433	1,750	1,874	452	60	158	7,452
婦人科	140	67	10	161	161	51	3	17	610
耳鼻咽喉科	1,084	597	265	1,116	1,067	236	36	76	4,477
眼科	1,660	945	523	1,676	1,376	420	31	71	6,702
精神科	1,204	609	576	1,600	5,440	2,649	446	718	13,242
脳神経内科	120	60	21	153	283	58	9	47	751
歯科	859	425	143	824	1,324	425	48	125	4,173
呼吸器科	1,856	941	630	2,188	3,472	948	138	239	10,412
泌尿器科	1,139	772	390	1,454	1,349	553	12	86	5,755
皮膚科	829	397	94	495	635	133	19	38	2,640
小児科	861	258	89	780	247	14	6	51	2,306
透析	186	104	36	135	84	48	0	0	593
オアシス	248	234	195	267	792	205	9	22	1,972
合計	17,120	9,128	4,518	17,454	22,458	7,576	992	2,028	81,274

入院地域別診療患者数 (自2024.4.1～至2025.3.31)

都市	犬上郡			愛知郡	三市			その他	合計
	豊郷町	甲良町	多賀町		彦根市	東近江市	近江八幡		
内科	18	6	12	26	21	11	0	0	94
消化器内科	77	56	32	95	128	13	8	15	424
循環器内科	44	37	17	42	57	10	8	3	218
外科	51	50	19	67	85	35	0	6	313
脳神経外科	5	32	8	8	77	2	2	3	137
整形外科	123	102	44	119	335	65	1	20	809
眼科	30	27	17	44	32	5	0	1	156
精神科	68	62	70	112	593	256	49	97	1,307
歯科	23	7	7	34	110	12	3	10	206
呼吸器科	132	99	63	153	301	83	17	18	866
泌尿器科	54	40	21	91	59	16	4	12	297
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心療内科	10	0	2	13	5	0	0	0	30
透析	7	10	3	13	60	13	2	17	125
合計	642	528	315	817	1,863	521	94	202	4,982

標準統計（診療科別・月別・入院患者数）

診療科	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総 数	2,151	167	165	170	206	220	178	182	174	189	157	167	176
内 科	81	9	5	4	11	5	8	7	6	8	6	3	9
消化器科	192	13	7	17	20	22	16	16	12	23	18	17	11
循環器科	85	7	4	5	8	5	7	5	9	8	11	7	9
外 科	188	13	21	17	13	21	10	19	12	17	18	9	18
脳神経外科	29	2	1	6	2	3	2	2	4	2	1	2	2
整形外科	314	30	17	26	26	31	25	33	19	34	19	33	21
婦人科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	21		4	3	2	2	3		1	1	1	1	3
眼 科	170	17	10	16	13	9	17	15	21	15	13	10	14
精神神経科	178	16	17	12	18	21	17	9	16	13	9	17	13
歯科口腔外 科	205	8	14	14	18	26	15	24	13	18	15	17	23
呼吸器科	202	16	19	17	26	19	16	17	18	15	12	16	11
泌尿器科	211	20	21	12	17	20	16	19	18	13	17	20	18
呼吸器外科	229	12	20	19	28	30	21	13	21	17	15	13	20
皮膚科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心療内科	46	4	5	2	4	6	5	3	4	5	2	2	4
麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

時間内救急患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	46	53	46	57	60	58	25	41	44	38	34	30 532
	その他	50	54	48	82	74	64	74	54	58	56	63	67 744
	計	96	107	94	139	134	122	99	95	102	94	97	97 1,276
来院方法	救急車	19	28	26	30	47	22	24	20	25	25	22	31 319
	その他	77	79	68	109	87	100	75	75	77	69	75	66 957
	計	96	107	94	139	134	122	99	95	102	94	97	97 1,276
種別	交通事故	2	2	1	3	8	0	3	2	2	1	1	7 32
	その他	94	105	93	136	126	122	96	93	100	93	96	90 1,244
	計	96	107	94	139	134	122	99	95	102	94	97	97 1,276
1日平均	4.2	4.9	4.3	5.8	5.8	5.8	4.1	4.3	4.6	4.5	4.9	4.4	4.8
日数	23	22	22	24	23	21	24	22	22	21	20	22	266

※平日 8:30~16:50

第2・4土曜 8:30~12:40

時間外救急患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	18	21	16	16	22	20	20	16	21	18	15	17 220
	その他	71	109	77	78	105	73	73	74	113	96	38	72 979
	計	89	130	93	94	127	93	93	90	134	114	53	89 1,199
来院方法	救急車	30	24	21	31	32	21	21	25	31	21	11	24 292
	その他	59	106	72	63	95	72	72	65	103	93	42	65 907
	計	89	130	93	94	127	93	93	90	134	114	53	89 1,199
種別	交通事故	6	6	7	3	5	5	3	2	8	4	0	1 50
	その他	83	124	86	91	122	88	90	88	126	110	53	88 1,149
	計	89	130	93	94	127	93	93	90	134	114	53	89 1,199
1日平均	3.0	4.2	3.1	3.0	4.1	3.1	3.0	3.0	4.3	3.7	1.9	2.9	3.3
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
診療科別	内科	20	29	18	25	32	19	14	19	35	33	7	19 270
	心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	呼吸器科	9	6	7	11	10	9	9	4	11	5	2	9 92
	外科	30	36	30	35	40	30	34	22	29	25	22	23 356
	泌尿器科	3	8	2	0	3	4	8	4	7	5	3	0 47
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	脳神経外科	0	0	0	2	3	0	2	0	0	1	1	0 9
	整形外科	19	37	30	16	29	18	17	28	43	36	14	23 310
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	耳鼻咽喉科	1	3	1	0	0	0	1	0	3	3	0	3 15
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	精神科	6	8	5	5	10	13	8	12	6	6	4	11 94
	オアシス	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 5
	歯科・歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 1
	透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	計	89	130	93	94	127	93	93	90	134	114	53	89 1,199

※第2・4土曜、日曜、祭日 8:30~翌8:30

第1・3土曜 12:40~翌8:30

(統計:総務課)

病歴統計

疾病別・診療科別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
総数	計	2,173	30	222	100	177	38	314	-	22	170	176	203	208	214	243	-	-	56	-
	男	1,068	10	124	39	109	19	99	-	13	62	72	92	109	159	145	-	-	16	-
	女	1,105	20	98	61	68	19	215	-	9	108	104	111	99	55	98	-	-	40	-
I 感染症及び寄生虫症	計	110	4	15	3	4	-	-	-	-	-	2	-	38	5	39	-	-	-	-
	男	52	2	9	-	1	-	-	-	-	-	1	-	13	5	21	-	-	-	-
	女	58	2	6	3	3	-	-	-	-	-	1	-	25	-	18	-	-	-	-
II 新生物(悪性新生物)	計	149	-	14	1	35	2	2	-	6	-	-	5	10	63	10	-	-	1	-
	男	106	-	11	1	20	1	2	-	3	-	-	4	7	51	8	-	-	-	-
	女	43	-	3	-	15	1	2	-	3	-	-	1	3	12	2	-	-	1	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	7	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-
	男	5	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	46	9	13	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	2	-	3	-
	男	20	4	8	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-
	女	26	5	5	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	-	-	3	-
V 精神及び行動の障害	計	210	-	-	2	-	1	-	-	-	-	166	-	3	2	1	-	-	35	-
	男	84	-	-	2	-	1	-	-	-	-	68	-	1	2	1	-	-	9	-
	女	126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	-	2	-	-	-	-	26	-
VI 神経系の疾患	計	89	-	1	1	3	2	4	-	1	-	4	-	35	1	26	-	-	11	-
	男	63	-	1	-	2	1	2	-	1	-	2	-	27	-	21	-	-	6	-
	女	26	-	1	1	1	1	2	-	-	-	2	-	8	1	5	-	-	5	-
VII 眼及び附属器の疾患	計	170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	6	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	4	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	13	1	5	-	-
IX 循環器系の疾患	計	84	-	3	31	6	25	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-
	男	43	-	2	12	2	15	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-
	女	41	-	1	19	4	10	-	-	-	-	-	-	-	94	2	139	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	計	306	12	17	25	8	-	-	-	9	-	-	-	-	48	2	82	-	-	-
	男	161	4	4	11	3	-	-	-	7	-	-	-	-	46	-	57	-	-	-
	女	145	8	13	14	5	-	-	-	2	-	-	-	-	110	4	-	1	-	-
XI 消化器系の疾患	計	392	1	118	6	64	-	-	-	-	-	-	-	-	197	4	1	1	-	-
	男	204	-	67	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	87	-	1	-	-	-
	女	188	1	51	6	15	-	-	-	-	-	-	-	-	110	4	-	1	-	-

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	12	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
男	8	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
女	4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	74	-	4	2	6	3	49	-	-	1	-	1	3	4	-	-	1	-	
男	30	-	4	2	4	-	19	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
女	44	-	-	2	3	30	-	-	1	-	1	3	3	-	-	1	-	-	-	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	計	154	3	13	12	2	-	-	-	-	-	2	118	4	-	-	-	-	-	
男	98	-	3	6	1	-	-	-	-	-	-	1	86	1	-	-	-	-	-	
女	56	3	10	6	1	-	-	-	-	-	-	1	32	3	-	-	-	-	-	
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVIII 症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分因の影響	計	57	1	17	10	8	-	2	-	1	-	1	-	-	-	7	8	-	2	
男	32	-	12	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	-	-	
女	25	1	5	6	3	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	3	-	2	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	296	-	6	3	15	6	253	-	1	-	1	1	2	4	1	-	-	3	
男	98	-	3	1	10	2	76	-	1	-	1	-	1	2	3	-	-	1	-	
女	206	-	3	2	13	4	177	-	-	1	-	1	-	2	1	1	-	2	-	
XI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XII 特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

疾病別・在院期間別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	1~8日	9~15日	16~22日	23~31日	32~61日	62~91日	3~6月	6月~1年	1~2年	2年~	平均住院日数
I 感染症及び寄生虫症	計	2,171	939	273	136	139	303	203	135	30	6	7	35.26
男	1,068	525	148	63	65	121	65	62	13	4	2	2	28.96
女	1,105	414	126	73	74	182	138	75	16	2	5	5	41.3
II 新生物(悪性新生物)	計	149	63	33	5	15	17	11	4	-	1	-	35.5
男	106	53	22	14	9	2	4	4	1	1	-	-	20.5
女	43	10	11	1	7	7	5	2	-	1	-	1	48.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	7	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	23.9
男	5	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	21.9
女	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	28.9
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	44	9	9	8	4	9	2	3	-	-	-	24.5
男	20	6	5	2	-	3	1	3	-	-	-	-	17.4
女	26	3	4	6	4	6	6	1	2	-	-	-	42.5
V 精神及び行動の障害	計	210	21	29	15	16	38	35	29	16	5	6	32.9
男	84	9	11	4	6	6	14	12	14	9	3	2	32.5
女	126	12	18	11	10	10	24	23	15	7	2	4	33.2
VI 神経系の疾患	計	89	69	4	1	-	6	4	5	-	-	-	15.3
男	63	54	2	-	-	3	1	3	-	-	-	-	11.1
女	26	15	2	1	-	3	3	2	-	-	-	-	25.4
VII 眼及び附属器の疾患	計	170	169	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1
男	62	61	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9
女	108	108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	6	3	1	1	-	-	1	-	-	-	-	20.0
男	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5
女	4	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	25.7
IX 循環器系の疾患	計	84	14	8	9	6	16	6	23	2	-	-	60.5
男	43	8	6	6	3	3	6	2	12	-	-	-	54.1
女	41	6	2	3	3	10	4	11	2	-	-	-	67.1
X 呼吸器系の疾患	計	306	68	55	31	25	65	30	26	6	-	-	38.5
男	161	40	24	25	13	29	16	12	2	-	-	-	34.3
女	145	28	31	6	12	36	14	14	4	-	-	-	43.2
XI 消化器系の疾患	計	392	317	33	14	9	10	5	4	-	-	-	7.8
男	204	176	17	5	3	-	1	2	-	-	-	-	5.6
女	188	141	16	9	6	10	4	2	-	-	-	-	10.1

コード	国際分類大項目分類	総数	1~8日	9~15日	16~22日	23~31日	32~61日	62~91日	3~6月	6月~1年	1~2年	2年~	平均在院日数
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	12	2	1	1	2	3	2	1	1	-	-	42.6
男	8	2	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	43.8
女	4	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	40.2
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	74	12	4	4	10	26	11	7	-	-	-	44.5
男	30	7	2	-	5	9	3	4	-	-	-	-	42.1
女	44	5	2	4	5	17	8	3	-	-	-	-	46.2
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	計	154	74	31	9	12	17	5	5	1	-	-	19.9
男	98	51	24	3	8	7	2	3	-	-	-	-	15.5
女	56	23	7	6	4	10	3	2	1	-	-	-	27.2
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分因の影響	計	57	19	15	8	3	9	1	1	1	-	-	23.3
男	32	12	6	5	3	4	-	1	1	-	-	-	26.3
女	25	7	9	3	-	5	1	-	-	-	-	-	19.4
XIX 損傷、中毒及びその他の外因	計	304	55	19	16	31	73	84	24	2	-	-	48.4
男	98	24	10	4	11	26	19	3	1	-	-	-	39.2
女	206	31	9	12	20	47	65	21	1	-	-	-	52.7
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	3	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	39.6
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	3	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	39.6
XXI 特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・年齢階層別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳~	平均年齢
I 感染症及び寄生虫症	計	2,173	-	5	19	85	109	83	69	149	211	510	319	288	239	69	18	69.9
男	1,068	-	4	10	32	61	43	43	93	133	288	133	122	84	18	4	67.5	
女	1,105	-	1	9	53	48	40	26	56	78	222	186	166	155	51	14	72.1	
II 新生物(悪性新生物)	計	110	-	-	1	1	4	1	6	7	33	16	19	3	1	77.6		
男	52	-	-	-	-	1	1	1	2	5	21	4	11	4	1	-	75.5	
女	58	-	-	-	-	1	1	-	4	2	11	12	8	15	2	1	79.6	
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	149	-	1	-	1	-	1	3	10	26	58	25	14	8	2	-	73.2
男	106	-	1	-	1	-	1	3	7	20	46	15	8	3	1	-	71.5	
女	43	-	-	-	-	-	-	-	3	6	12	10	6	5	1	-	77.3	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	7	-	-	-	1	-	-	1	-	1	3	-	1	-	1	-	71.0
男	5	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	3	-	1	-	-	-	65.8
女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	84.0
V 精神及び行動の障害	計	46	-	-	-	-	-	2	1	3	5	12	9	4	6	2	2	77.1
男	20	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	5	3	2	2	-	1	72.8
女	26	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	7	6	2	4	2	1	80.4
VI 神経系の疾患	計	210	-	-	4	5	18	22	20	26	30	34	13	21	12	4	1	59.8
男	84	-	-	2	1	9	8	9	8	9	19	3	7	6	2	1	60.1	
女	126	-	-	2	4	9	14	11	18	21	15	10	14	6	2	-	59.7	
VII 眼及び付属器の疾患	計	89	-	-	-	5	8	10	20	13	23	4	6	-	-	-	-	60.2
男	63	-	-	-	4	7	9	13	11	14	3	2	-	-	-	-	-	57.6
女	26	-	-	-	1	1	1	7	2	9	1	4	-	-	-	-	-	66.3
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	170	-	-	-	-	-	1	7	23	78	36	16	8	1	-	-	75.6
男	62	-	-	-	-	-	-	1	2	11	32	10	3	3	-	-	-	74.4
女	108	-	-	-	-	-	-	-	5	12	46	26	13	5	1	-	-	76.4
IX 循環器系の疾患	計	6	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	1	-	-	-	-	68.3
男	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	53.5
女	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	75.7
X 呼吸器系の疾患	計	306	-	-	2	2	10	6	5	9	16	55	53	63	24	4	1	83.5
男	161	-	-	2	1	9	2	2	4	10	36	25	33	29	7	1	-	82.9
女	145	-	-	1	1	4	3	5	6	19	28	30	33	12	3	1	-	84.1
XI 消化器系の疾患	計	392	-	4	12	75	67	25	15	23	36	66	25	18	18	6	2	78.9
男	204	-	3	6	29	33	14	9	19	26	40	10	11	4	-	-	-	76.6
女	188	-	1	6	46	34	11	6	4	10	26	15	7	14	6	2	48.0	

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳~	平均年齢
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計 男 女	12 8 4	-	-	-	-	-	-	1	1	4	2	2	2	-	-	79.4
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計 男 女	74 30 44	-	-	-	-	-	-	1	1	3	1	1	1	-	-	76.1
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計 男 女	154 98 56	-	-	-	-	3	7	3	21	16	15	7	2	-	-	77.0
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計 男 女	- -	-	-	-	-	1	2	10	14	20	37	31	16	17	5	1 74.1
XVI	周産期に発生した病態	計 男 女	- -	-	-	-	-	1	1	6	13	19	25	15	9	8	-	1 71.0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計 男 女	- -	-	-	-	-	1	4	1	1	12	16	7	9	5	-	79.5
XVIII	症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分因の影響	計 男 女	57 32 25	-	-	2	1	-	1	7	13	9	13	4	5	2	78.7	
XIX	損傷、中毒及びその他の外因	計 男 女	304 98 206	-	1	1	4	9	3	17	16	62	52	69	51	16	3	78.9
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計 男 女	3 - 3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	72.8
XXII	特殊目的用コード	計 男 女	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1 85.6	

診療科別・ICD中分類別・死亡患者数

コード	ICD分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
A09	感染症と推定される下痢および胃腸炎	158	-	24	30	13	-	4	-	1	-	6	-	30	10	36	-	-	4
	男	89	-	12	9	8	-	1	-	1	-	4	-	17	9	27	-	-	1
	女	69	-	12	21	5	-	3	-	-	-	2	-	13	1	9	-	-	3
A31	その他の非結核性抗酸菌による感染症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A41	その他の敗血症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A81	中枢神経系の非定型ウイルス感染症	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C15	食道の悪性新生物	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
C16	胃の悪性新生物	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C18	結腸の悪性新生物	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C20	直腸の悪性新生物	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C22	肝および肝内胆管の悪性新生物	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C23	胆のう<囊>の悪性新生物	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C25	肺の悪性新生物	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C34	気管支および肺の悪性新生物	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-
	男	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
C67	膀胱の悪性新生物	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
C73	甲状腺の悪性新生物	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

コード	ICD分類	呼吸器および消化器の統合	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
C78	性悪性新生物	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C85	非ホジキン ⁿ リンパ腫のその他の詳細不明の型	計	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C92	骨髓性白血病	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D61	その他無形成性貧血	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E41	栄養性消耗症(マラスマス)	計	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E86	体液量減少症	計	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
F00	アルツハイマー型の認知症	計	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
	男女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
F31	双極性感情障害	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
F32	うつ病エピソード	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
G40	てんかん	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
G95	その他の脊髄疾患	計	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
I44	房室ブロックおよび左脚アーロック	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I50	心不全	計	8	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
I51	心疾患の合併症および診断名不明確な心疾患の記載ないもの	計	5	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
J15	細菌性肺炎、他に分類されないもの	計	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J18	肺炎、病原体不詳	計	13	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	7	-	-
	男	9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
J45	喘息	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

コード	ICD分類	詳細不明(人腫)肺(症)	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
J64	肺	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
J69	肺	肺臓炎	計	21	-	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	7	-	-	
J84	その他	の間質性肺疾患	計	11	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	
J96	呼吸不全	、他に分類されないもの	計	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	
K56	麻痺性	イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K62	肛門	および直腸のその他疾患	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K63	腸	のその他の疾患	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K65	腹膜炎		計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K70	アルコール性	肝疾患	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K72	肝	不全、他に分類されないもの	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K74	肝線維症	および肝硬変	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K81	胆のう	<囊>炎	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K83	胆道	のその他の疾患	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K85	急性	膀胱炎	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
K92	消化器系	のその他の疾患	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
N12	尿細管	間質性腎炎、急性または慢性と明示されないもの	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
N18	慢性	腎不全	計	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
N39	尿路系	のその他の障害	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

コード	ICD分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
R19	消化器系および腹部に關するその他の症状および徵候	計 男 女	1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
R40	傾眠、昏迷および昏睡	計 男 女	1 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R54	老衰	計 男 女	9 5 4	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
R57	ショック、他に分類されないもの	計 男 女	1 1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
R68	その他全身症状および徵候	計 男 女	1 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S42	肩および上腕の骨折	計 男 女	2 2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S72	大腿骨骨折	計 男 女	4 1 3	-	-	1	-	1	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	
T68	低体温(症)	計 男 女	1 1	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	
T84	体内整形外科的プロステー シス、挿入物および移植片 の合併症	計 男 女	1 1 1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

II

介護事業の部

「レインボウとよさと」「サテライトはたしょう」は、本年の報酬改定により、様々な見直しが行われたことから統合の強みを活かし機能強化型3の取得、重症度の高い管理療養費の算定、緊急対応体制整備の評価を受け増収につなげました。また、看護の専門性が求められる中、フットケア指導士や糖尿病療養指導による足病変ハイリスク利用者のフットケアの実践、訪問看護認定看護師による養成講習への講義参加等、地域ニーズに対応しました。

「介護老人保健施設パストラールとよさと」は、2024年度については、安定して超強化型を算定することができました。そのため、医業収入は前年度対比で5.2%増の590百万円となりました。しかし、委託業者の値上げや光熱水費の上昇により経費も増大しています。現状では、何とか収入でカバーできておりますが、設備の老朽化、人件費の増大等により益々経費の負担が重くなっています。できる限り経費を抑えて、現状の維持から更に向上できるよう努めます。また、来年度については、ICTの試験運用から本格運用に切り替えて取り組んでいきたいと思います。また、新たな取り組みとして、栄養ケアステーションを立ち上げました。外部から管理栄養士の依頼や地域ニーズに対応にしていきたいと思います。それと、元気力アップ（豊郷町委託事業）の出前講座化を試験運用しています。地道な取り組みですが、地域からのニーズに応じて地域住民と共に健康の維持に努めていきたいと思います。

経営理念

施設を通じて地域社会に密着し人間らしく
心豊かに暮らせるよう 仁愛の精神で奉仕し
生活文化向上に役立ち社会に貢献する

基本方針

- ・自立支援と家庭復帰をめざす。
- ・明るい家庭的雰囲気づくり。
- ・施設、地域、家庭の結びつき重視。
- ・親切、快適、安心、満足、可能性の追求。

行動規範

- ・誠心誠意のサービスの提供をしよう。
- ・柔軟発想で創造しよう。
- ・バイタリティーあふれる考動をしよう。
- ・頑強な心身をつくろう。

パストラルとよさと

経営理念

しあわせな老後をめざし普通の生活を活力
をつけてゆったり気分で仲間といっしょに
楽しむためにあたたかいもてなしの心で提
供し、地域社会に貢献する。

彦根市デイサービスセンター **きらら**
彦根市在宅介護支援センター

甲良町デイサービスセンター **けやき**

彦根市グループホーム **ゆうゆう**

甲良町グループホーム **らくらく**

1 介護事業・各事業所業績

1. 各種教室・講師派遣

2. 研修受入状況

① 実習受け入れ

○レインボウとよさと・サテライトはたしょう

- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| ・滋賀県立大学 | 3 クール | ・びわこ学園大学 | 1 クール |
| ・聖泉大学 | 8 クール | ・総合保健専門学校 | 1 クール |
| ・県立看護専門学校 | 5 クール | ・訪問看護管理者研修 | 1 名 |
| ・精神認定看護師実習 | 1 名 | ・主任交流研修 | 1 名 |

○レインボウひこね

- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| ・滋賀県立大学 | 2 クール | ・聖泉大学 | 3 クール |
| ・県立看護専門学校 | 1 クール | ・びわこ学院大学 | 1 クール |
| ・精神認定看護師実習 | | ・e ラーニング実習 | |
| ・地域包括入職者実習 | | ・主任交流研修 | |

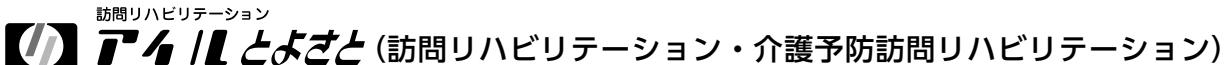
② パストラールとよさと

学生受け入れ

受入：延べ 152名

学校：滋賀県立大学、京都文教短期大学、京都橘大学、龍谷大学、
びわこリハビリテーション専門職大学、滋賀大学、佛教大学、滋賀学園高等学校

2 介護事業・各事業所別事業報告



概要

開設日 平成13年5月1日
 責任者 山田 知美
 定員(サービス提供量) 理学療法士1名あたり6回/日(1日3件)
 職員 理学療法士2名(北川恭子 木村香奈子→三島梨彩)

事業経過

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問回数(回)	107	139	119	95	123	125	132	116	110	114	114	126
利用者数(人)	13	15	13	13	13	12	10	10	11	11	13	14
新規者数(人)	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	2	1
終了者数(人)	0	3	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0

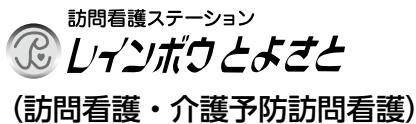
要介護度	要支援1.2	1	年齢	40歳代	0	地域	彦根市	14	疾患	脳血管	4
	要介護1	5		50歳代	0		豊郷町	4		骨関節	10
	要介護2	6		60歳代	2		甲良町	3		特定疾患	4
	要介護3	4		70歳代	3		多賀町	0		呼吸器	1
	要介護4	5		80歳代	11		愛荘町	1		内科	2
	要介護5	0		90歳代	8		圏域外	0		廃用	1

利用状況

- 延べ利用者数は148名、延べ訪問回数は1,420回。
1か月平均で利用者数は12名、訪問回数は約118.3回と昨年より減少。
- 新規利用は1年間で8名、短期集中加算対象者は2名。終了者は8名。
- 事業所医師の診療で在宅訪問を行ったのは2名。残り19名は通院診療で行った。

勤務体制

- 4月～9月まで半日一般科業務の兼務。10月～回リハ業務フォロー。11月中旬から半日パストラール兼務。訪問リハの実質稼働人数は1人(2人で0.5+0.5)であり業務縮小していた。



概要

レインボウ統括所長 山田 里美

レインボウとよさと サテライトはたしよう

所長 西川 くるみ

看護師 常勤 7人 非常勤 5人 OT 2人 (常勤1人、非常勤1人／3ステーション兼務)

事務員 2人 (常勤1名、非常勤1名)

レインボウひこね

所長 奥川 喜美枝

看護師 常勤 4人 非常勤 1人 理学療法士 常勤 1人 (3ステーション兼務)

事務員 1人常勤

事業経過

2024（令和6）年度 訪問看護ステーション事業報告

今年度は介護報酬・診療報酬・障害福祉サービス報酬改定に伴い、積極的に加算取得を行い、レインボウとよさとはたしようは機能強化型3の取得と全ステーションが重症度の高い管理療養費の算定、緊急対応体制整備の評価を受け経営の安定につなげることが出来ました。また、看護の専門性が求められる中、フットケア指導士や糖尿病療養指導士による足病変ハイリスク利用者へのフットケアの実践や訪問看護認定看護師による養成講習への講義参加等地域ニーズに対応することが出来ました。収支状況は新規参入のステーションの増加や医療体制の充実した施設等の影響により顧客確保は難しく、また看護職員の人員不足は深刻化しており、前年度と比較するとレインボウ全体の利用者数は-4%、収支-10.2%という結果となりました。

今後は限られた人材で質の確保を行う為に、積極的に看護業務のタスク・シフト／シェアを行い、ICTの活用、オンライン資格確認の推進等で業務効率化を図り、地域から選ばれるステーションを目指していきたいと思います。

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしよう>

とよさと・はたしようの統合の強みを生かし機能強化型3を取得することができ、看護の質のさらなる向上を目指しました。在宅看取りや緊急時にきめ細やかな対応ができるような体制を取りました。また訪問看護の認定過程に1名参加しより質の高い看護が提供できるように、学びをステーションに還元していく予定です。退職に伴う人員減が続きましたが、とよさと・はたしようで新規を柔軟に受け入れ、日々の訪問を協働することでタイムリーに地域のニーズに対応してきました。今後も入職者の確保に尽力するとともに、少ない人員でも効率よく収益をあげることができるようにとよさと・はたしようの連携を強化していきます。

<レインボウひこね>

今年度は、訪問看護ソフトを介護事業部に沿ってコスモスからウインケアへ移行し、オンライン資格確認、オンライン請求を導入し環境を整えることが出来ました。今後は端末機を利用し更なるICT化を進めていきたいと思います。また、今後も県の委託事業である医療的ケア児の通学支援事業も継続して取り組み、地域のニーズに迅速に対応できるステーションとして、今後も地域に貢献していきたいと思います。

職員研修

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう>

講師派遣・会議	訪問看護連絡協議第5地区支部会(山田・西川)・圏域事例検討評価会議(西川)・訪問看護師養成講習会講師(山田)・訪問看護検討会議(山田)・いのち支える自殺対策ネットワーク会議(西川)・愛荘町地域ケア会議(北川)・愛荘町虐待ネットワーク会議(松宮)・豊郷町多職種会議(山田)・災害対策会議(外川、森)・オレンジ定例会議(寺田)・多賀町サロンの体操教室講師(加藤・古橋)			
実習受け入れ	・滋賀県立大学 3クール ・聖泉大学 8クール ・県立看護専門学校 5クール ・精神認定看護師実習 1名 ・びわこ学園大学 1クール ・総合保健専門学校 1クール ・訪問看護管理者研修 1名 ・主任交流研修 1名			
2023年度研修	4月	診療報酬・介護報酬改定研修 ZOOM		
	6月	最新治療を学ぶ「がん化学療法の知識」 ZOOM		
	7月	連絡協議会研修「心不全の知識・在宅リハビリについて」 ZOOM		
	8月	連絡協議会研修「在宅口腔ケアについて歯科医師より学ぶ」		
	9月	「訪問看護ステーションの質を保証する」 ZOOM		
	10月	湖東圏域事例検討研修会		
	11月	フットケア・足病変医学会、年次学術集会		
	12月	在宅現場における暴力・ハラスメント対策研修会 ZOOM		
	3月	認知症研修「認知症の人との付き合い方」		
	奇数月	こう地地域チームケア研究会(ZOOM+集合)		

<レインボウひこね>

講師派遣・会議	介護職員初任者研修講師(奥川)・認知症施策会議(右近) 彦根市在宅見取りを考える会議(奥川)・オレンジ定例会(右近) 病院・ケアマネジャー拡大会議(奥川)・オレンジキャラバンメイトステップコウアップ講座(右近)災害対策会議(角間)高齢者虐待防止会議(奥川)			
実習受け入れ	・県立大学 2クール ・県立看護専門学校 1クール ・精神認定看護師実習 ・地域包括入職者実習 ・聖泉大学 3クール ・びわこ学院大学 1クール ・e ラーニング実習 ・主任交流研修			
2023年度研修	4月	介護・診療報酬改定研修 ZOOM		
	5月	研修「大うつ病性障害補助療法について」		
	6月	最新治療を学ぶ「がん化学療法の知識について学ぶ」ZOOM		
	7月	研修「事例を通して考えるA C P 学ぶ」		
	8月	県立看護指導者研修会		
	9月	研修「アルツハイマー認知症」		
	10月	研修「意思決定プロセス支援とアドバンスケアプランニングの重要性」		
	11月	在宅現場における暴力・ハラスメント対策研修会		
	12月	研修「骨粗鬆症について」		
	1月	研修「三途の川のわたり方・看取りについて」		
	2月	研修「透析について」		
	奇数月	こう地地域チームケア研究会(ZOOM+集合)		
	偶数月	湖東地域こころのケアチーム会議		

事業所別利用者前年比較表

		2023年度	2024年度	増加率	備 考
とよさと	新規利用者	80	62	-22%	(グループホーム4カ所定期訪問)
	延べ人数	2,048	2,078	1%	
	訪問延べ回数	11,008	11,823	7%	
ひこね	新規利用者	42	31	-26%	(グループホーム1ヶ所定期訪問)
	延べ人数	1,555	1,406	-10%	
	訪問延べ回数	5,635	5,074	-10%	

事業経過・実績報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月間平均
利 用 者 数	とよさと	180	177	176	171	174	179	179	172	171	165	166	168	2,078	173
	ひこね	120	116	123	120	114	113	114	116	116	120	114	120	1,406	117
	合計	300	293	299	291	288	292	293	288	287	285	280	288	3,484	290
延べ回数	とよさと	1,030	1,068	1,033	1,061	985	1,011	1,070	952	945	886	850	932	11,823	985
	ひこね	436	452	433	466	421	411	450	410	428	404	365	398	5,074	423
	合計	1,466	1,520	1,466	1,527	1,406	1,422	1,520	1,362	1,373	1,290	1,215	1,330	16,897	1,408
よる利用者数	とよさと	41	42	42	41	41	43	41	38	36	34	32	35	466	39
	ひこね	14	11	11	12	13	13	13	13	15	14	13	14	156	13
	合計	55	53	53	53	54	56	54	51	51	48	45	49	622	52
よる延べ回数	とよさと	295	308	312	306	261	281	309	262	249	223	233	240	3,279	273
	ひこね	73	82	76	88	82	76	92	76	85	77	60	70	937	78
	合計	368	390	388	394	343	357	401	338	334	300	293	310	4,216	351

年齢別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
年齢別	10歳未満	23	1%	5	1%
	10歳代	15	1%	28	2%
	20歳代	41	2%	45	3%
	30歳代	91	4%	60	4%
	40歳代	108	5%	173	12%
	50歳代	170	8%	196	14%
	60歳代	188	9%	129	9%
	70歳代	495	24%	222	16%
	80歳代	602	29%	452	32%
	90歳~100歳代	345	17%	96	7%
計		2,078	100%	1,406	100%

地域別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
地域別	彦根市	550	26%	1,366	97%
	東近江市	24	1%	4	0.3%
	大津市	2	1%	12	1%
	豊郷町	510	24%	15	1%
	甲良町	302	15%	0	0%
	愛荘町	473	23%	9	0.7%
	多賀町	217	10%	0	0%
計		2,078	100%	1,406	100%

疾患別

	とよさと		ひこね		
	総数	割合	総数	割合	
疾患別	脳血管障害	117	6%	87	6%
	呼吸器疾患	61	3%	14	1%
	循環器疾患	325	16%	153	11%
	泌尿器疾患	75	4%	20	1%
	消化器疾患	56	2%	35	3%
	血液疾患	12	1%	12	1%
	各種癌	148	7%	33	2%
	内分泌疾患	114	5%	13	1%
	骨・筋肉疾患	138	7%	77	6%
	指定難病	63	3%	61	4%
	先天性疾患	29	1%	11	1%
	認知症系	175	8%	119	8%
	精神疾患系	662	32%	764	54%
	その他	103	5%	7	1%
計		2,078	100%	1,406	100%

介護度別

介護度別	とよさと		ひこね	
	総数	割合	総数	割合
申請中	5	1%	1	1%
要支援1	13	1%	52	10%
要支援2	60	5%	61	12%
要介護1	243	23%	131	24%
要介護2	335	31%	130	24%
要介護3	215	20%	78	15%
要介護4	102	9%	38	7%
要介護5	106	10%	38	7%
計	1,079	100%	529	100%

加算状況

加算状況	介護保険	緊急時訪問看護加算	とよさと	ひこね
		特別管理加算	1,007	489
加算状況	介護保険	退院時共同指導加算	190	41
		初回加算	23	6
		ターミナルケア加算	32	14
		在宅死者数	0	0
		24時間対応体制加算	0	0
		特別管理加算	863	831
	医療保険	退院時共同指導加算	214	49
		退院支援指導加算	21	7
		長時間加算	6	3
		ターミナルケア加算	53	0
		在宅死者数	2	2
		24時間対応体制加算	2	2
		特別管理加算	831	49
		退院時共同指導加算	21	7
		退院支援指導加算	6	3

指示書構成比

指示書構成比	院内	とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
指示書構成比	院内	1,068	51%	330	23%
	院外	1,010	49%	1,076	77%


**介護老人保健施設
パストラールとよさと**

(施設入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション)

概要

平成8年(1996)6月開設	R C	3階建	
敷地面積	1 F	管理棟／通所リハ棟	
建築面積	2 F	一般棟(竹生・沖)	
延床面積	3 F	専門棟(比良・伊吹・鈴鹿)	
	屋上	機械棟	
定員	入所 100人	一般棟 55人(竹生・沖の2グループ) 専門棟 45人(比良・伊吹・鈴鹿のさとの15人×3ユニット) (内短期入所療養介護 4人) 通所リハビリテーション 20人／日	
職員	施設長 奥田和美 介護科長 鎌野亞紀 看護師 14名 介護支援専門員 2名 事務 2名	副施設長 菅原幸一 支援相談室長 高田知希 介護職 47名 P T・O T 6名 その他職員 3名	師長 川野満寿美 支援相談員 2名 管理栄養士 3名 合計 82人

事業経過

2024(令和6)年度は、在宅強化型を安定して算定することができた。

利用状況(イ)

令和2年4月以降の利用状況は次の通り

1. 利用者数(年度別)

入所者	R2	R3	R4	R5	R6
一日平均入所者数(SS含)	86.9	88.6	90.1	93.5	92.6
うち一般棟	47	45	48	50	49
うち専門棟	37	38	38	43	41
平均年齢	86.3	86.2	85.5	86.8	87.0
男女比(男性%)	17.1	18.8	22.7	20.1	18.7
平均入所期間(日)	234	274	250	254	323

2. 要介護度別利用状況

平均介護度	R2	R3	R4	R5	R6
入 所	3.12	3.13	3.14	3.34	3.32
通 所	2.62	2.47	2.58	2.61	2.48

3. 市町別利用者の割合（年度別）

入所（ショート含）/通所 (%)

	R2		R3		R4		R5		R6	
	入所	通所								
彦根市	28	36	24	35	33	28	36	23	34	7
豊郷町	16	18	16	20	14	32	13	39	12	19
甲良町	14	22	12	19	15	15	16	16	11	8
多賀町	10	6	13	7	11	6	8	8	8	4
愛荘町	20	17	22	20	16	20	14	16	23	9
東近江市	10	0	8	0	8	0	5	0	7	0
(旧)一市七町外	2	1	3	0	1	0	4	0	5	0

職員研修

【内部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
4月5日	新入職研修	1人	BCP・高齢者虐待・身体拘束など5つの動画をみていた だき学ぶ
5月15日	BCP自然災害研修	28人	自然災害マニュアルの説明・意識づけ
5月15日	BCP感染対応研修	28人	感染対応マニュアルの説明・意識づけ
6月1日	新入職研修	1人	BCP・高齢者虐待・身体拘束など5つの動画をみていた だき学ぶ
6月19日	身体拘束廃止について	36人	身体拘束にあたる内容、身体拘束を行う場合の三原則 などについての理解を深める。
6月19日	転倒・転落について	36人	転倒・転落事故を起こさないために、ヒヤリハットの活 用、離床センサーの使用の仕方などについての理解を 深める。
6月19日	認知症について	52人	認知症とせん妄の違いを知り、それぞれに合った対応 について学ぶ 様々な種類の睡眠薬がどのような作用があるかについ て知識を深める。
8月9・13・16・20日	BCP感染訓練	70人	コロナ感染初動期訓練、マニュアルに沿っての対応。
8月5~9日	感染訓練	69人	手指消毒・手洗いについて
8月7日~9月13日	個人情報保護対策 ITセキュリティ対策研修会	60人	職員が業務上知り得た患者・利用者情報について絶対 に漏洩しないよう徹底
9月1~30日	感染研修	40人	発熱診療の実際-発熱外来のこれまでとこれから-
9月18~20日	高齢者虐待研修	170人	スピーチロックについてグループワークを行い、言い 換えの言葉について話す
10月1日	新入職研修	2人	BCP・高齢者虐待・身体拘束など5つの動画をみていた だき学ぶ
10月15日	BCP自然災害訓練	20人	災害が起きた際ラインワークス使用にて伝達訓練が速 やかに行えるか
12月	人権学習	46人	
1月29日	感染研修・訓練	20人	ノロウイルスについて・吐物処理訓練
1月	高齢者虐待研修	25人	成年後見制度についての学びを深める。
2月1日	新入職研修	1人	BCP・高齢者虐待・身体拘束など5つの動画をみていた だき学ぶ

3月5日	新入職研修	2人	BCP・高齢者虐待・身体拘束など5つの動画をみていた だき学ぶ
3月3日	ハラスマント研修	68人	パワーハラスマント通信を読んで学ぶ
3月31日	KYT研修	46人	施設内の状況にふまえて危険予知できる能力を養う
3月31日	身体拘束ゼロセミナーの 内容伝達研修	72人	身体拘束ゼロに向けて取り組みをされた老健施設の実 践事例を通して身体拘束についての学びを深める。
3月31日	感染研修	68人	手指衛生の重要性と血液液体曝露(曝露後の対応共有) について

【外部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
4月1日	令和6年度彦根地区新人社員 ふれあいフェスティバル	1人	NSCの人気授業から学ぶ仕事に役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ
5月15日	県老健協会 第1回階層別研修会	3人	多職種チーム形成・コミュニケーションについて学ぶ。 グループワーク
6月19日	滋賀県介護老人保健施設協会 令和6年度研修会	1人	事例発表Ⅰ 合同研究発表会 滋賀県介護老人保健施設協会永年表彰式
7月9日～10月17日	滋賀県認知症介護 実践リーダー研修	1人	チームリーダーとしてチームケアを実施できる体制を構築するための知識・技術の習得。
7月1日～8月31日	滋賀県認知症介護基礎研修	1人	認知症の人の理解と対応の基本
8月21日～9月11日	2024年度職員基礎研修会	1人	新人職員に向け基礎的知識の習得
8月9日	滋賀県介護老人保健施設協会 第2回階層別研修会Ⅱ	2人	ACPへの第1歩～その人らしく、あなたらしく～
8月22日	令和6年度特定健診・ 特定保健指導実践者育成研修	2人	特定保健指導の知識・質の向上の為
10月3日～11月28日 4日間	介護福祉士実習指導者研修	1人	実習指導者に対して必要な専門的知識及び教育方法を習得する。
10月4日	第22回全老健近畿ブロック 介護老人保健施設大会in京都	1人	人と人をつなぐ福祉の力～集まろう！話そう！多職種で！をテーマに症例発表会
10月22日	県老健協会 第6回階層別研修会	1人	現場で活かせる腰痛予防・ノーリフティングケアとグループワーク
11月14・15日	第35回全国介護老人 保健施設大会 岐阜	1人	他施設で取り組まれている研究発表を聞いて今後に生かす
11月21日	生産性向上推進体制について	1人	ICTを取り入れ活用している施設紹介・ICTの活用や業務改善についてのグループワーク
2月19日	甲賀地域事業所公正採用選考 人権啓発担当研修	1人	公正採用選考に取り組む社会的背景
3月19日	TQM研修	4人	今年度取り組みした10チームの1年間の取り組み発表会

利用状況(口)

入所者(含ショートステイ) 利用状況

2024年度

パストラールとよさと

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
稼働率	本年(入所・SS)	90.9	90.0	94.3	95.4	96.8	94.4	89.8	92.7	92.7	94.0	89.9	90.2
	本年(入所)	86.9	86.3	89.1	92.0	93.5	90.1	85.7	88.4	87.7	89.3	84.7	85.7
	前年(入所・SS)	91.6	93.1	93.5	93.5	95.8	89.6	92.7	93.6	96.0	96.5	94.8	90.7
月末在所者数	一般棟	48	48	49	52	51	51	51	47	50	47	46	48
	専門棟	41	39	44	42	44	39	42	43	41	40	43	39
	男	15	14	18	17	18	16	17	16	18	19	18	17
	女	74	73	75	77	77	74	76	74	73	68	71	70
	計	89	87	93	94	95	90	93	90	91	87	89	87
	内SS	3	0	3	1	2	7	3	4	5	1	5	2
入所延数		2,606	2,676	2,672	2,851	2,897	2,703	2,658	2,652	2,719	2,769	2,457	2,657
短期入所延数		120	113	156	107	103	129	125	130	156	146	150	138
予防短期延数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均介護度		3.32	3.42	3.35	3.22	3.58	3.28	3.32	3.27	3.27	3.23	3.29	3.26
在所日数	3ヶ月未満	36	38	40	43	36	28	38	37	35	31	31	36
	3~12ヶ月	30	24	31	33	35	31	24	23	25	22	26	24
	12ヶ月以上	20	21	20	19	22	26	28	27	25	19	24	23
	平均(日)	297	310	297	299	329	339	313	330	338	325	353	344
年齢別	70歳未満	2	2	1	1	1	1	1	2	3	3	1	2
	70~79歳	12	15	15	14	13	15	11	11	13	12	12	13
	80~89歳	45	29	33	37	37	31	38	38	35	36	32	36
	90歳以上	41	37	41	43	42	38	40	37	35	33	36	33
	平均	87.1	86.4	86.8	87.0	87.3	87.3	87.6	87.5	86.7	86.8	86.4	86.6
地域別	彦根市	36	35	37	39	31	31	34	31	34	33	30	34
	豊郷町	13	15	14	11	10	10	10	11	12	12	9	11
	甲良町	15	13	12	12	11	12	11	9	8	8	10	11
	多賀町	9	9	5	6	7	7	10	7	9	9	8	8
	愛荘町	18	17	25	23	21	23	25	25	27	25	23	24
	東近江市	6	7	6	7	7	8	7	9	9	7	8	7
	その他	3	4	5	6	6	7	4	5	5	6	5	5
入退所先		入所	退所										
	家庭	9	9	11	9	15	11	11	6	4	7	6	9
	社会福祉施設		1		6		2		3		1	4	
	病院(一般)			3		1	1				1	3	
	豊郷病院	3	5	7	4	4	2	3	2	2	5	8	6
	老人保健施設										3	3	
	その他	1	1	1	2	1		2	1		2		3
	計	13	16	22	21	20	17	14	11	8	8	12	22

デイケア稼働・利用状況

2024年度

パストラールとよさと

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
稼働日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	20
一日平均	16.0	14.6	14.5	15.7	14.8	15.9	16.5	15.5	14.7	14.4	14.1	14.2	15.1
// (前年度)	12.4	13.2	13.5	12.2	12.3	14.7	15.9	15.9	14.5	13.4	14.3	15.8	14.0
月平均稼働率(%)	79.8	72.9	72.5	78.4	73.8	79.5	82.5	77.5	73.3	71.8	70.6	71.0	75.3
利用実人数	デイケア	48	45	41	43	42	42	44	41	39	38	42	40
	予防デイケア	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	4	4
	男	19	18	15	14	14	14	15	14	16	16	15	15
	女	32	30	29	29	31	32	32	27	27	26	27	25
	合計	51	48	44	46	45	46	47	45	43	42	46	46
利用延人数	介護	317	290	276	327	295	280	346	295	274	255	238	267
	予防	18	16	14	18	15	22	17	15	19	18	16	17
	利用総合計	335	306	290	345	310	302	363	310	293	273	254	284
平均介護度	2.63	2.56	2.56	2.42	2.56	2.57	2.49	2.41	2.43	2.36	2.51	2.32	2.48
平均年齢	84.3	84.0	84.1	83.7	84.3	84.3	84.2	84.1	83.9	84.2	83.8	83.5	84.0
短期集中個別リハ 実人数	0	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1
// 延回数	0	4	8	8	2	0	8	9	2	0	0	0	3
認知症短期集中(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重度療養管理加算(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
入浴加算(延)	77	64	75	85	74	73	88	69	72	63	62	78	73.3
栄養スクリーニング加算	0	43	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	7
栄養アセスメント加算	45	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
口腔機能向上加算(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
提供体制加算 4	317	285	276	324	290	279	343	285	269	252	237	266	285
// 3・2・1	0	5	0	3	4	1	3	7	5	3	1	1	3
リハマネジメント加算A	20	19	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	3
リハマネジメント加算B	28	26	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	5
	---	---	41	42	42	42	43	40	38	38	39	39	34
曜日別	月	14.5	13.7	14.8	14.8	12.7	15.0	15.3	14.3	13.3	13.3	13.0	13.0
	火	17.4	15.5	16.0	18.4	17.3	18.5	18.2	16.7	14.3	13.0	11.7	13.5
	水	15.5	13.2	10.8	11.6	10.5	13.0	14.0	12.7	12.0	12.5	13.0	13.5
	木	16.0	15.4	16.0	17.5	15.8	17.0	17.6	15.2	12.0	15.5	13.6	15.7
	金	16.0	15.0	15.0	16.5	16.4	15.8	17.0	17.6	17.0	17.3	16.8	15.5
地域別	彦根市	8	8	5	7	7	7	7	7	7	7	7	15%
	豊郷町	22	22	21	19	20	21	18	17	16	17	16	14
	甲良町	7	7	7	7	7	8	7	6	7	13	8	8
	多賀町	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	9%
	愛荘町	10	8	7	9	7	7	9	9	9	8	13	9
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0



概要

ケアプラン作成・給付管理業務・介護相談や代行手続き業務・施設紹介
関係機関との連絡調整・家庭訪問・認定調査受託（介護保険調査）等

定 員 44人／介護支援専門員 1人

職 員 マックスとよさと

管理者 山口 康子

所 長 高田 奈緒

村上 真有美

堤 香菜子

マックスひこね

管理者・所長 西野 祐生

上田 紀子

三浦 麻知子

事業経過

マックスとよさとは職員4名体制、マックスひこねは職員3名体制で、各市町、医療・介護の連携の推進・地域共生社会の実現を意識して事業を継続しています。感染予防に努め、訪問や会議、入退院支援等で顔の見える関係を持続し、利用者の意向に寄り添えるように柔軟な対応を実践しました。また、ケアマネジャーの専門性を高める各種研修会への積極的参加、他法人の事業所を交えての勉強会を2回実施しています。

【年間実績】

	新規	終了	給付数
マックスとよさと	25	28	1,382
マックスひこね	38	22	1,216

【委員会】

①感染症対策委員会… 高田奈緒 西野祐生 ※介護事業部

5月7日/6月3日/7月25日/11月26日

②高齢者虐待防止検討委員会…堤香菜子 三浦麻知子 ※介護事業部

5月24日/7月26日/9月27日/11月22日/1月24日/3月21日

職員研修

- ※定期開催
- ・彦根市ケアマネジメント支援会議
 - ・ことう地域チームケア研究会
 - ・地域包括すばるNETカフェ
 - ・愛犬合同介護支援専門員研修会

<2024年～2025年>

- 4月19日/5月20日/6月21日 「滋賀県主任介護支援専門員フォローアップ研修」
- 5月21日/5月22日 「福祉用具・住宅改修基礎研修」
- 7月1日 「彦根市介護給付費適正化研修会」
- 8月20日 「成年後見人制度につなぐ他機関連携」
- 8月21日/1月14日 「管理者ミーティング」
- 9月11日/1月29日 「湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業合同交流会」
- 9月18日 「虐待事例から考える福祉現場での対応策について」
- 9月19日 「滋賀県難病医療従事者研修会」
- 9月20日 「認知症疾患医療連携協議会 事例検討会」
- 10月2日 「排尿支援員フォローアップ研修」
- 10月7日 「難病患者の理解と関わりについて」
- 10月18日 「認知症研修会」
- 11月20日 「平時からの感染対策～福祉現場での対応～」
- 12月2日/12月12日/1月16日/1月23日/1月24日/2月10日/2月26日/2月27日/3月25日
「主任介護支援専門員研修」
- 1月23日 「ハラスマントとリスクマネジメント」
- 2月17日 「介護事業に携わる専門職が身につけるべき薬の知識」
- 2月12日 「地域ケア会議推進研修会」
- 2月14日 「ヤングケアラーの現状と支援」
- 3月17日 「滋賀県介護サービス事業所・施設管理者等研修会」
- 3月13日 「看取りケアの道理から心理まで」
- 3月28日 「滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議 湖東圏域学習会・意見交換会」

【出務報告】

- ①主任介護支援専門員地域同行型実地研修

7月22日/8月5日/12月3日

- ②介護職員初任者研修

12月2日

- ③甲良町認知症カフェ

月1回を担当

⑩ 彦根市デイサービスセンター **さらら** (通所介護・介護予防通所介護)

概要

所在地	彦根市川瀬馬場町1015-1								
建物・構造	鉄骨平屋建								
敷地	3,100m ²								
実施時間	月曜日～土曜日 きらら：午前9:50～午後15:55（休日：日曜日、年末年始 12/29～1/3）								
サービス地域	彦根市（全域）・豊郷町・甲良町（一部）								
定員	1日40名（介護予防を含む）								
職員配置	所長 土川 裕人 相談員 2名 菅原めぐみ（介護 兼） 介護常勤 5名 池野明彦（介護主任） 介護非常勤 5名 看護師 1名（非常勤） 運転手 2名（非常勤） 作業療法士 1名 和氣茂美（病院 兼） 理学療法士 1名 木村香奈子（病院 兼） （2024年3月末現在）								

事業経過

施設全体での新規利用の積極的の受け入れをしてきましたが、入所、入院等の退所者も多く、30名/日の目標に対して22名目標は未達成。

10月には自主事業で市内の移動散髪業者と連携して散髪サービスを開始し、多くの利用者様が利用され喜ばれています。

また新規開拓では利用のない居宅介護支援事業所へ出向き、情報提供などを行い実際に利用に繋がるケースもありました。

利用実績(きらら)

*その他：月内の申請中の利用者

開所日数		令和6年3月末現在 登録者数										その他	計		
		介護度による区分													
		非該当	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5					
4月	26	1	0	4	3	15	15	12	8	4	0	62			
5月	27	1	0	3	2	16	14	13	8	4	0	61			
6月	25	0	0	3	3	15	17	13	6	4	0	61			
7月	27	0	0	3	2	16	15	12	5	3	0	56			
8月	27	0	0	3	2	17	16	12	7	3	0	60			
9月	25	1	0	2	3	19	16	12	5	3	0	61			
10月	27	0	0	2	3	19	16	12	5	3	0	60			
11月	26	0	0	2	3	19	17	12	3	5	0	61			
12月	24	0	0	2	2	19	17	13	5	5	0	63			
1月	24	0	0	3	3	19	15	11	3	5	0	59			
2月	24	0	0	2	3	21	15	14	2	5	0	62			
3月	26	2	0	3	4	20	14	14	3	5	0	65			
計		308	5	0	32	33	215	187	150	60	49	0	731		

1日あたりの利用者数		利用者数(延べ人数)									その他	計		
		介護度による区分												
		非該当	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	24	9	0	15	13	124	155	144	113	49	0	622		
5月	23	6	0	15	10	133	150	161	106	48	0	629		
6月	23	0	0	12	15	127	167	141	78	47	0	587		
7月	20	0	0	12	14	139	153	133	58	36	0	545		
8月	21	0	0	13	13	148	166	115	80	39	0	574		
9月	22	4	0	8	21	164	156	104	62	37	0	556		
10月	22	0	0	8	22	176	165	120	60	40	0	591		
11月	22	0	0	9	20	163	161	124	38	65	0	580		
12月	23	0	0	8	11	173	142	130	41	57	0	562		
1月	23	0	0	12	11	163	119	118	10	59	0	492		
2月	22	0	0	7	19	174	124	128	13	55	0	520		
3月	23	23	0	11	23	194	140	143	15	62	0	611		
計	268	42	0	130	192	1,878	1,798	1,561	674	594	0	6,869		

職員研修

施設外

開催日	研修名	内容	対象者
7/1	認知症介護基礎研修	認知症介護の理解と対応の基本・認知症ケアの実践上の留意点について。	1名
8/7	認知症介護実践者研修	施設実習報告会と振り返り。	1名
9/4・25	認知症介護実践者研修	認知症ケアの理念、疾患の理解、倫理と意思決定等について。	1名
10/11・30	認知症介護実践者研修	家族介護者の理解と支援、生活支援、アセスメント、QOLを高める視点について。	1名
10/17	安全運転管理者講習	県下及び管轄の交通事故について。 安全運転の心得、職場における安全運転について。	1名
11/7	認知症介護実践者研修	アセスメントとケアの実践について。	1名
12/17	認知症介護実践者研修	施設実習報告会	1名
3/7	施設管理者等研修会	同和解決の歩みと現状について。 事業所の加算取得の重要性と行動指針について。	1名

外部研修終了後に職員に伝達講習(報告会)を実施。

施設内

開催日	研修名	内容	対象者
4月	入浴服薬	入浴の目的や注意点、配慮について。 内服では介護士が出来る医療行為と服薬について。	16名
5月	経営方針と基本方針 倫理・法令遵守	倫理と法令遵守、施設の経営方針について。 不参加者は資料回覧。	16名
6月	緊急時対応	施設内及び送迎車内の吐物処理について。	16名
7月	感染予防	心肺蘇生とAEDの取り扱い訓練	16名
8月	栄養	摂食・栄養・トロミ剤について。	15名
	個人情報保護	個人情報の取り扱いと法的責任について。	15名
9月	高齢者虐待防止	スピーチロックの事例を用いて、介護事業部全体でグループ分けを行い、多職種で意見交換を行う。	15名
10月	身体拘束防止	スピーチロックと心理的虐待について。	14名
11月	事故再発防止	ヒヤリハットの活用と事故再発防止について。	14名
12月	口腔衛生	口腔機能と清潔保持について。	14名
1月	認知症	事例検討会。	14名
	高齢者虐待防止	成年後見制度について。	14名
2月	人権学習	「ジェンダーの多様な『性』」について。	14名
3月	感染予防	動画研修。ノロウイルス・食中毒の感染経路やクイズ、嘔吐の処理等について。	14名
年6回	認知症ケア事例検討会	事例をもとにアセスメント、センターでの対応について。	1回 14~16名

各研修の不参加者は資料回覧

自主事業(行事)

(行事)

開催日	事業(行事)名	内容・回数	参加者数
4/10・11・12	お花見	中庭の桜を見ながらポストカード作りや休憩に職員が抹茶を点て提供する。	1日20名程度
5/3・4	菖蒲湯	季節風呂「菖蒲湯」を行う。	1日20名程度
5/10	春季避難訓練	火災を想定した避難訓練と消化器訓練を行う。	25名
7/1~6	七夕笹飾り作り	みどり幼稚園からいただいた笹に短冊等の飾りつけを行う。	1日10名程度
7/2	みどり幼稚園交流会	みどり幼稚園児と歌や手遊びなどを一緒に行う。	19名
8/13	夏祭り	夏祭り(わなげ、射的、風鈴作り、たこやき)を楽しんでいただく。風鈴作りは12日～17日まで実施。	20名
9/16	敬老会	ボランティアさんのマジックショーと職員・利用者さんによる二人羽織を見て楽しんでいただき、昼食はお祝い膳でお祝いする。	26名
10/10	運動会	紅白に分かれて、座布団運び、玉入れ、借り物競争、応援合戦などを行う。	25名
10/15	秋季避難訓練	火災を想定しての消火・避難訓練を行い、訓練後に防災クイズ等を行う。	24名
12/13	みどり幼稚園交流会	みどり幼稚園児20名が来所し、歌を聴いたり、一緒に手遊びを行い楽しい時間を過ごす。	25名
12/19~21	冬至	季節風呂「ゆず湯」を行う。	1日20名程度
12/23~25	クリスマス会	職員の出し物を見ていただき、おやつにケーキと好きな飲み物を選んで提供する。	1日20名程度
1/6~11	新春 bingo大会	年初めの「運試し」としてbingoゲームを楽しい時間を過ごす。	1日20名程度
2/3	節分	職員が鬼となり、利用者さんが豆まきを行う。	23名
2/11	開所イベント	23周年記念行事。利用者の方々に感謝を込めてお祝い膳と紅白饅頭でお祝いする。	26名
2/19	おやつ作り	トッピングをのせたフルーチェを作って、おやつの時間に提供する。	10名
毎月1回	イベントメニュー	季節の食材や行事にちなんだ食事を提供し、視覚、聴覚、嗅覚で食事を味わっていただく。	1日25名程度
毎月	ボランティア来所	様々なボランティアさんに、定期的に来ていただき、楽器演奏や劇、紙芝居などを見て、聞いて楽しんでいただく。	1日25名程度
毎月	お誕生会	誕生日の方を利用者皆さんに色紙をプレゼントし、お祝いさせていただく。	1日25名程度

(教室・講座等)

開催日	事業(行事)名	内容・回数	参加者数
6/30	川瀬馬場地区清掃	川瀬馬場地区清掃、雨天中止	無
11/5	介護職員初任者研修実習	利用者の介護とコミュニケーションについて	1名
月4回程度	いきいき健康教室	会議室を地域の方に開放し、介護予防を目的に、体操やボール、セルバンドを使った運動など上肢・下肢の運動を行う。 現在2グループが継続して活動中。	1ヵ月 15名程度
年8回	教職員介護体験	福祉、利用者との対人関係(支援)について	年間8名

彦根市グループホーム ゆうゆう (認知症対応型共同生活介護)

概要

職 員 所長 小島 由香里
 介護職 常勤：4名
 非常勤：6名

特色・実績

要支援2、要介護1～5の認知症高齢者。介護度に拘らず、その時々の利用者の状況を勘案し、入退居判定会議の上で決定。

事業経過

令和6年度は2名の入退居がありました。

大きな事故や急変もなく、入居者9名全員が健康に過ごすことが出来ました。

年齢や体力、認知症のレベルに応じた事柄をしていただく事で、入居者一人一人が役割を持ち、達成感・やりがいを感じながら小規模な施設内でゆったり・のんびり過ごしておられます。買い物や季節に応じた外出を行い、視覚・聴覚で、肌で外気に触れる事で季節を感じていただけるようにしています。

定期的に季刊誌を発行し、家族や地域、関係機関などに配布し、施設内の様子などをお知らせしています。

また、月に1回【ご様子報告】として入居者の日頃の様子を写真と書面にて、ご家族にお伝えしています。

利用状況

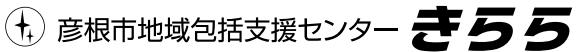
R6 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7 1月	2月	3月
9.0名	8.8名	7.8名	8.0名	7.0名	8.5名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名

職員研修

開催日	研修名	内容	対象者
5/27	令和6年度第1回勉強会 権利擁護研修	権利擁護に対する施策や制度の知識を深め、高齢者等が住み慣れた地域で、尊厳のある生活を送る為に事例を通して権利擁護に対する支援を学ぶ。	小島
5/28	高齢者虐待防止研修会	昨年、滋賀県内で起こった虐待事例を読み込み、どうすればこのような虐待が防げたのか、感情のコントロール方法について職員間で話し合い、施設内の虐待防止につなげる。	職員7名
5/28	人権研修 権利擁護研修の報告を通して学ぶ	5月27日に参加した権利擁護研修の報告。圏域内で実際に起こっている事例を伝え、人の尊厳を守る事の重要性について職員内で考え、学びを深める。	職員7名

7/23	令和6年度7月 きらら勉強会 家族をケアする 毎日の生活で家族介護を 支える	地域包括職員によるケアマネ研修。家族の思 いを傾聴し、家族の心に寄り添った支援を学 ぶ。家族の介護力をアセスメントし、それぞ れに応じた支援内容を考える。	小島
9/18	令和6年度 福祉人材育成定着促進 支援事業 第2回 虐待防止研修 ～福祉現場での対応策に ついて～	虐待防止をテーマに、事例を通して福祉現場 での虐待への対応、職場づくりなどについて 学ぶ。	小室
9/20	令和6年度 きらら圏域BCP研修会	災害発生時に備え、平時から関係者間での顔 の見える関係を作る。 災害発生時に起こり得る事態を想定し、当該 地域の現状を把握し分析できるよう学ぶ。	小島
9/18 ～ 9/20	令和6年度 第1回 高齢者虐待防止研修会	高齢者虐待の基礎的部分を確認、高齢者虐待 防止に向けてできる取り組みについて意見を 交換する場、また自分の所属している事業所 以外の状況を知る機会になる。	全職員 (9名)
9/27	令和6年度9月度 グループホーム部会 救急救命講習会	心肺蘇生やAEDの使い方など応急手当を習 得し、大切な人を、家族を、命を守るために、 救命講習を受講して知識と技術を学ぶ。	上田
9/14 ～ 9/30	令和6年度 第1回 感染対策研修	母体である豊郷病院が令和6年4月1日施行 の改定感染症法第36条3に基づく医療措置 協定の第1種・第2種協定を締結。今後も他 施設と同様に新興感染症の対応を行う事にな るため学ぶ。	全職員 (9名)
10/24	滋賀県介護福祉士 湖東ブロック研修 “脳の活性化 シナプソロジーを体験し てみましょう”	2つの事を同時に使う、左右で違う動きをす る、といった普段慣れない動きで、脳に適度 な刺激を与え活性化を図る。	上田
11/26	令和6年度11月 きらら勉強会 第2回 認知症支援研修会 ～地域で見守る 認知症支援～	きらら圏域の民生委員、介護事業所のケアマ ネが集まり、認知所について共に学び協働へ つなげられるよう、顔の見える関係作りを行 う。	小島
12/3	令和6年度 認知症介護基礎研修	認知症高齢者の尊厳を守り、生活していくう えで大切な事は誰もが認知症の世界を生きる 本人を理解する事を頭に入れ、学びを深める。	北川

1 / 6	令和6年度 介護職種の 技能実習指導員講習	介護現場で技能実習生の指導に当たる技能実習指導員等に対し、技能実習生の指導に必要な技術・知識を習得する。	小島
2/14	令和7年度2月 きらら勉強会 災害時を見据えた 自助互助公助を考える ～ケアマネジャーとして 取り組む事～	災害が起こった時に近隣の居宅介護サービス事業者や施設系のケアマネジャーとどのような連携が図れるか話し合う。	小島
2/15 ～ 3/5	2024年度 人権研修会 ～映像で学ぶジェンダー入門～多様な性	性自認、性役割的指向といったジェンダー学における性について学び、性のあり方の多様性について、事例をもとに考える。 (左期間中に、ビデオ視聴・アンケートを実施)	職員全員 (8名)
3/17 ～ 3/31	感染症対策研修 手指衛生の重要性と血液 体液暴露 暴露後の対応について	基礎的な感染対策である標準予防策の中から手指衛生と血液体液暴露の2項目についての動画を視聴する。	職員全員 (8名)

 彦根市地域包括支援センター **ささら** (担当学区：河瀬・亀山・城陽・若葉)

概要

設立	平成24年4月	業務内容	①総合相談業務
営業日	月～土		②介護予防
営業時間	8時30分～16時50分 (土曜日のみ8時30分から12時40分)		ケアマネジメント業務
利用料	無料		③包括的・継続的
担当学区	河瀬・亀山・城陽・若葉		ケアマネジメント業務
職員	所長（管理者） 社会福祉士 主任介護支援専門員 保健師	上田 康正 上田 康正 青峰 龍誓 高橋ひとみ	濱田由紀子(2024年9月まで) 坂田 健一 (2024年12月まで) 森野美由紀 (2024年5月から)

事業経過

各学区地域のサロンや見守り会議、民生委員児童委員連絡協議会へ出席し、地域状況の把握や情報交換・情報共有の場として活用し、個別ケース介入へも繋げている。若葉学区では彦根市社協と協働し住民互助の助け合いグループの立ち上げにも携わり、城陽学区では新規サロンの立ち上げや見守り会議の立ち上げのサポート。亀山学区では地域住民と共に災害について考える機会を設けている。また圏域内の介護支援専門員向けの勉強会も二か月に1回集合型で企画開催し、BCP研修を実施。災害時に助け合える地域づくりを念頭に取り組んでいます。

利用状況(実績報告)

総合相談

年間延べ回数																
相談内容 相談方法	① 介護 方法	② 医療	③ 認知症 (疑いを 含む)	④ 保険・ 福祉 サービス等	⑤ 実態 把握	⑥ 介護 保険	⑦ 福祉 用具等	⑧ 施設 入所・ 退所等	⑨ 住宅 改修	⑩ 虐待 (疑いを 含む)	⑪ 権利 擁護	⑫ 消費 生活	⑬ 金銭 管理 困難	⑭ 介護 保険外 サービス	⑮ 近隣 トラブル	⑯ 苦情
電話	4	92	43	1	63	228	20	7	5	14	1	1	3	1	3	2
来所	1	12	4	0	23	83	0	4	1	0	0	0	0	1	0	1
訪問	0	58	16	1	154	205	13	10	8	3	2	3	5	2	0	2
その他	0	0	1	0	1	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計	5	162	64	2	241	522	33	21	14	18	3	4	8	4	3	5

相談内容 相談方法	⑰ 経済的 問題	⑱ 安否 確認	⑲ 医療 機関の 入退院	⑳ 在宅 看取り	㉑ 障害 福祉	㉒ 精神 障害	㉓ ケアマネ ジメント	㉔ 生活 支援	㉕ 介護 予防	㉖ 家族 支援	㉗ 支援 拒否	㉘ 申請 手続き 支援	㉙ 他機関 への 引継ぎ	㉚ その他	年間 累計
電話	10	2	66	0	1	8	18	31	1	3	0	1	1	16	646
来所	1	0	1	1	0	1	0	2	0	2	0	0	1	2	141
訪問	2	3	32	0	2	6	12	6	0	6	0	1	21	4	577
その他	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	15
計	13	5	100	1	6	15	31	39	1	11	0	2	23	23	1,379

指定介護予防支援事業 (予防支援給付件数)

請求対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター 給付件数	163	168	169	170	172	176	176	174	172	176	172	166	2,054

職員研修

研修日	研修参加者の職種・氏名	研修内容	内部・外部研修の区分
4月23日	全職員	ケース事例検討	内部
5月16日	高橋ひとみ 森野美由紀 看護師	共生社会の実現を推進するために ～認知症基本法について～	外部(zoom)
5月16日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会 『災害時における医療・福祉支援』	外部(zoom)
5月17日	全職員	ケース事例検討	内部
5月22日	上田康正 社会福祉士	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会記念講演 『災害時の対策について』	外部(zoom)
5月23日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会記念講演 『制度改正とケアマネジメント』	外部
6月3日	全職員	ケース事例検討	内部
6月14日	青峰龍誓・森野美由紀 主任介護支援専門員・ 看護師	介護予防プラン作成研修	外部
6月21日	全職員	ケース事例検討	内部
6月26日	上田康正 社会福祉士	居住支援強化・生活困窮者自立支援法見直し説明会	外部 (YouTube)
7月1日	森野美由紀 看護師	ケアプランの効果を評価するモニタリング	外部
7月4日	全職員	ケース事例検討	内部
7月11日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会 『事例を通して考えるACP①』	外部(zoom)
7月17日	濱田由紀子 森野美由紀 社会福祉士・看護師	相談機関交流会	外部
7月18日	濱田由紀子 社会福祉士	虐待防止啓発講座	外部
7月22日	全職員	ケース事例検討	内部
7月24日	上田康正・坂田健一 社会福祉士・主任介護 支援専門員	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会合同研修 『BCPにおける訓練の視点と方法』	外部(zoom)
8月5日	全職員	ケース事例検討	内部
8月9日	全職員	感染症合同勉強会	内部
8月19日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
8月27日	全職員	ケース事例検討	内部
8月29日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)

9月2日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
9月3日	坂田健一 主任介護支援専門員	地域ケア会議推進研修会 「地域を知る・地域とつながる・地域課題を考える ～地域の中での「その人の暮らし」を支えるために～」	外部
9月3日	上田康正 社会福祉士	在宅向けBCP策定・研修・訓練の解説	外部(zoom)
9月11日	上田康正 社会福祉士	湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業 病院・介護支援専門員合同交流会	外部
9月12日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会『事例を通して考えるACP②』	外部(zoom)
9月17日	坂田健一 主任介護支援専門員	介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ	外部
9月18日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
9/18～9/19	全職員	法人介護事業部虐待防止研修	内部(zoom)
9月25日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
9月27日	坂田健一 主任介護支援専門員	介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ	外部
10月1日	坂田健一 主任介護支援専門員	介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ	外部
10月1日	上田康正 社会福祉士	わかりやすい遺言・相続のはなし	外部
10月2日	高橋ひとみ 森野美由紀 看護師	排尿支援員研修	外部
10月7日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会記念講演 『難病の基礎知識と湖東圏域の現状について』	外部
10月8日	坂田健一 主任介護支援専門員	介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ	外部
10月11日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
10月18日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員更新研修	外部(zoom)
10月31日	森野美由紀 看護師	キャラバンメイト養成研修	外部
11月19日	坂田健一 主任介護支援専門員	子育てと介護のダブルケアに関する研修会	外部
11月22日	坂田健一 主任介護支援専門員	地域ケア会議推進研修会 「地域を知る・地域とつながる・地域課題を考える ～地域の中での「その人の暮らし」を支えるために～」	外部
11月23日	上田康正 社会福祉士	在宅医療ことはじめ in しが2024	外部
11月27日	上田康正 社会福祉士	分かりやすい相続・遺言・後見のはなし	外部
11月27日	森野美由紀 看護師	急性期病院の退院支援を考える	外部
12月20日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	安全運転管理者講習	外部

1月16日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会『認知症の方への支援』	外部(zoom)
1月20日	森野美由紀 看護師	認知症事例検討会	外部
1月23日	上田康正 社会福祉士	ハラスマントとリスクマネジメント～福祉現場での対応～	外部(zoom)
1月29日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業 病院・介護支援専門員合同交流会②	外部
2月12日	坂田健一 主任介護支援専門員	地域ケア会議推進研修会 「地域を知る・地域とつながる・地域課題を考える ～地域の中での「その人の暮らし」を支えるために～」	外部
2月13日	上田康正 社会福祉士	身体拘束研修	外部(zoom)
2月17日	全職員	ケース事例検討	内部
2月22日	坂田健一 主任介護支援専門員	薬剤師とケアマネジャーの勉強会	外部
3月7日	上田康正 社会福祉士	チームによる権利擁護支援を考える	外部(zoom)
3月14日	森野美由紀 看護師	認知症サポーター養成講座ステップアップ編	外部
3月28日	上田康正 社会福祉士	滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議 湖東圏域学習・意見交換会	外部(zoom)
3月28日	上田康正 社会福祉士	虐待防止研修会	内部


甲良町デイサービスセンター けやき (通所介護、第一号通所事業)

概要

所在 地	犬上郡甲良町在士625	職 員	
建物・構造	鉄骨平屋建	管 理 者	1名
敷 地	約2,820m ²	介 護 職 員	6名 (うち1名、事務職員兼務)
延床面積	201.68m ²	看 護 職 員	2名
定 員	1日25名 (月~土)	生活相談員	1名
実施時間	午前9:20~午後16:25 (休日:日曜日、年末年始 (12/29~1/3))	環境整備員	3名 (清掃員1名、厨房業務2名)

事業経過

利用者数の改善に向けて、居宅支援事業所等へのアナウンスを行うも、新規利用の問い合わせは例年の約半数ほどにダウン。夏から秋にかけ徐々に回復の兆しは見られたものの、冬に入ると一気に入所等のニーズが増加したことで大幅な回復には届かず。

昨年の3月比で職員配置は2名（正規1名、パート1名）が異動や退職等で減少。

甲良町からの委託事業の介護予防普及啓発事業では、前年度に引き続き、堀尾師長を招いて認知症フォーラムを開催。

認知症カフェ事業は毎週木曜日に実施。カフェ利用者の送迎を行う外出支援事業も実施継続中。

利用状況

月延人数 (名)

開所 日数	各月未登録者数	介護度による区分									計
		非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4月	26	0	1	3	9	14	8	6	0	41	
5月	27	0	1	2	9	12	7	6	0	37	
6月	25	0	1	2	10	13	6	6	0	38	
7月	27	0	1	2	11	12	6	6	0	38	
8月	27	0	1	2	10	11	7	7	0	38	
9月	25	0	1	2	10	10	8	7	0	38	
10月	27	0	1	2	9	13	8	6	0	39	
11月	26	0	1	2	8	13	7	5	0	36	
12月	24	0	0	1	8	13	9	5	0	36	
1月	24	0	0	0	9	12	6	5	0	32	
2月	24	0	0	0	8	12	7	5	0	32	
3月	26	0	0	0	8	12	8	4	0	32	
計	308	0									

延人数(名)

1日あたりの利用者数	利用者数(延人数)								計	
	介護度による区分									
	非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	15.65	0	4	21	104	150	75	53	0	407
5月	15.11	0	5	15	107	158	55	68	0	408
6月	15.16	0	4	14	102	155	49	55	0	379
7月	15.51	0	4	18	119	160	53	65	0	419
8月	15.07	0	4	18	112	152	50	71	0	407
9月	16.56	0	4	16	103	149	67	75	0	414
10月	15.75	0	4	18	104	198	88	54	0	466
11月	16.30	0	1	18	80	201	76	48	0	424
12月	15.75	0	0	8	71	173	78	48	0	378
1月	14.41	0	0	0	75	163	58	50	0	346
2月	13.20	0	0	0	71	150	62	34	0	317
3月	13.96	0	0	0	89	184	65	25	0	363
計		0	30	146	1,137	1,993	776	646	0	4,728
平均	15.32									

職員研修

開催年月日	研修内容	主催者	講師
2024年4月10日	入浴研修～水虫について～	けやき研修委員会	けやき看護師
2024年6月12日	感染研修～正しい手洗いについて～	けやき研修委員会	けやき介護師
2024年9月18日～9月20日	高齢者虐待防止研修 「高齢者虐待に関する意見交換会」	高齢者虐待防止検討委員会	－
2024年10月15日	BCP通報訓練	けやき研修委員会	－
2024年12月11日	感染研修～感染症ってなに～	けやき研修委員会	けやき看護師
2024年12月20日	安全運転管理者講習	安全運転管理者協会	警察本部 交通企画課 木枝 補佐 関西福祉科学大学 木村 貴彦
2025年1月	高齢者虐待防止研修 「成年後見人制度について」	高齢者虐待防止検討委員会	－
2024年2月～3月	人権研修「ジェンダー入門」	人権教育推進委員会	－

今後の課題

- ◎サービスに繋げる為のプロモーション活動の取り組み。
- ◎安定したベッドコントロール。
- ◎人材不足を補うマンパワーの効率的活用。サービスの質の確保。
- ◎助け合える関連施設の関係性
- ◎有給休暇取得率の維持・向上
- ◎地域に向けたサステイナブルな活動の継続。


甲良町グループホーム らくらく (認知症対応型共同生活介護)
概要

所在地 甲良町在土625
 建物・構造 木造平屋建
 敷地 約2,820m²
 延床面積 275.75m²
 定員 9名
 職員 所長 山崎 京子・10名

利用状況

2024（令和6）年4月～2025（令和7）年3月31日末
 平均月間9名

事業経過

- ・2024年9月半ば頃から、入居者1名、急な体調不良により入院、また2名ADL低下により退去が相次ぎ収益に大きく響く結果となっていました。
- ・今年度は、職員の離職者は0人となっており、職場内の環境も良く、利用者の状態に応じたケアを行うことが出来ました。また、ご家族様や地域の方との交流が出来るなど、地域に根づいた事業の継続も出来ました。
- ・次年度は、多様な研修へ参加を行い、個人のレベルアップとなるよう努力したい。
- ・空床短縮に勤め、安定経営に努めます。

職員研修

開催年月日	研修会名称	参加者数
2024年9月13日	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策	全職員
2024年9月18日	高齢者虐待防止に向けての取り組み ZOOM	全職員
2024年8月21日	感染対策「発熱診療の実際」	全職員
2025年1月	成年後見制度についての学び	全職員
2025年2月5日	ジェンダー入門 多様な（性）	全職員
2025年3月7日	・管理者研修「同和問題解決への歩みと現状～差別しないから関係ない？」 ・介護事業における加算取得の重要性と具体的な行動指針	1名

今後の課題

- ☆外部研修の積極的な参加。
- ☆職員のストレスのない働きやすい環境への継続。
- ☆常に9名満床 安定経営。

認知症初期支援チーム
オレンジファイブ (愛荘町、甲良町、多賀町、豊郷町からの委託事業)

所在 地 パストールとよさと内
 設 立 平成28年4月
 チーム員 5名
 (医師1名、看護師2名、社会福祉士2名)

事業経過

活動内容

- ・認知症が疑われる方又は認知症の方に対し、自宅を訪問し、相談に応じる。医療サービスや介護サービスの利用へつなげるための支援を集中的に行う。
- ・医療サービスや介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している家族への相談支援。
- ・認知症に関する啓発活動

令和6年度実績報告

・新規ケース	16例	(相談のみ4例)
・前年度からの継続者	10例	
・終了者	21例	
・紹介経路 地域包括支援センター	14例	ケアマネージャー 2例
・新規利用目的（重複あり）		
相談支援（生活状況をみながら適切なサービスにつなぎたい）	8例	
家族支援	8例	介護サービス利用につなぎたい 6例
医療につながっていない	5例	認知症専門医につなぎたい 5例

毎月の活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問	3	7	3	7	9	12	5	6	4	11	5	6
電話	13	9	8	16	7	7	2	5	2	6	4	7
相談	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1

毎月1回チーム員会議開催（第4木曜日）

- ・今年度活動事例は22名。
- ・初動日数の平均は、12日
- ・新規利用者の中には相談のみが4名（ケースカンファレンスのみで訪問していないケース）
 認知症疾患センター・アシス受診につながったケースが5名となった。適宜情報共有している。
 全く医療受診につながっていないケースが5例あったが介護保険申請を機に受診することができたのが4例、認知症疾患センターにつながったのが1例
 介護保険、サービスにつながったケースは11例となった。

- ・終了ケースは医療、介護につながったケースが10例、入所が2例、入院2例となった。介護サービスにつながらなかったのが4例となった。
- ・次年度への継続者は5例

会議等への参加

4月18日、5月16日 豊郷町多職種会議
6月20日 多賀町地域ケア会議
7月19日 認知症施策担当者会議
8月14日 個別カンファレンス（豊郷町）
12月12日 事例検討会
令和7年
3月7日 湖東圏域認知症疾患連携協議会
3月17日 個別カンファレンス（多賀町）

啓発活動

5月21日 豊郷町民生委員児童民生委員定例会にて「認知症」研修
7月29日 多賀町認知症家族交流会
9月19・20日 アルツハイマーデイ啓発（愛荘町）
10月5日 甲良町尼子公民館にて「認知症とは？～予防について考えよう～」
11月9日 愛荘町認知症フォーラム
令和7年
1月14日 甲良町民生委員児童民生委員定例会にて「認知症」研修会

その他の活動

毎月愛荘町認知症予防カフェ参加（秦荘図書館、川久保センター）
2月14日 愛荘町 認知症カフェ参加（愛荘町 ろくろくカフェ）
3月18日 4町合同でオレンジ座談会開催（認知症本人、介護者） 参加者13名
(豊郷町 カフェおむすび)

職員研修

7月1日 チームオレンジコーディネーター研修（合同庁舎）参加
8月26日 キャラバンメイトフォローアップ研修開催（多賀町ふれあいの里）39名参加
11月26日、12月17日 認知症マフ研修参加
12月23日 認知症サポートーステップアップ研修講座～チームオレンジの概要～
(甲良町公民館) 30名参加

活動評価

今年度は認知症サポーターステップアップ研修で「チームオレンジの概要」について講座を実施した。認知症施策の概要やイメージしやすいように全国の事例を参考にしながら、「自分たちでできそうなこと」についてグループワークを実施した。住民主体のボランティア活動であり、認知症の方もチーム員として活動、決められた活動はなく作っていく、という地域作りを目指すものであるが、研修参加者30名中10名が今後活動する場合協力できる、という気持ちをもっておられることができた。今回の研修は4町合同で実施したが活動する場合は各毎が現実的であり、オレンジファイブに協力依頼があれば対応させていただく。

オレンジ座談会として認知症の方、家族の方の交流会を開催し13名参加（認知症の方3名、家族10名）今後、開催にあたっては場所の設定や初期集中支援チームが交流会を開催する意義を念頭に計画していく必要性を感じた。

III

教育研究事業の部

臨床精神医学研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

臨床精神医学研究所 報告

臨床精神医学研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

編集後記

2024（令和6）年より第11代 病院長に難波江正浩先生が就任されました。新たに中期3年計画でスタートしましたが、長期のコロナ禍以降、流動化から看護職員不足と物価高騰で原材料費・委託費・経費増をもろに受けました。

さて、当院は本年（2025年）創立100周年を迎えます。設立以来、医療の第一線で活躍し奉仕の精神を積み重ねて地域医療の発展に寄与してきた多くの先輩職員に対し敬意を表するとともに、私たちも今後とも地域住民のために更に務めてまいります。

2024（令和6）年度版Vol.24の年報を発行致しましたので、ご高覧願いたいと思います。

2025（令和7）年8月 広報委員会・広報編集チーム 山本 真弓

2024（令和6年度版） 公益財団法人 豊郷病院 年報 vol.24

発行 公益財団法人 豊郷病院
〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL(0749)35-3001 FAX(0749)35-2159

編集 公益財団法人 豊郷病院 広報委員会
印刷 近江印刷株式会社
滋賀県愛知郡愛荘町川原771-1
TEL(0749)42-8400㈹ FAX(0749)42-6700



公益財団法人 豊郷病院

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL. 0749(35)3001 FAX. 0749(35)2159
<http://www.toyosato.or.jp/>
E-mail:toyosato@toyosato.or.jp